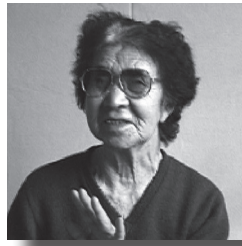


アイヌ民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

目 次

| | |
|-------------------|-----|
| はじめに | v |
| 語り手と録音について | v |
| 凡例 | vi |
| 第1話 散文の物語 | 1 |
| 白い犬の水くみ | |
| 添付 CD1-1 (20分41秒) | |
| 第2話 散文の物語 | 31 |
| 木彫りのオオカミ | |
| 添付 CD1-2 (36分23秒) | |
| 第3話 神 謡 | 87 |
| アカショウビンになったメナシの女 | |
| 添付 CD1-3 (7分38秒) | |
| 第4話 散文の物語 | 99 |
| シャチの耳輪 | |
| 添付 CD2-1 (29分42秒) | |
| 第5話 散文の物語 | 143 |
| エゾマツの女神と魔鳥 | |
| 添付 CD2-2 (35分47秒) | |

はじめに

「アイヌ民話ライブラリ」は、アイヌ民族博物館が採録し所蔵する音声資料のうち、物語をまとめたシリーズである。

添付CDには、アイヌ語沙流方言の話者上田トシ氏が語った物語5編が収録されている。これらはアイヌ民族博物館が所蔵する音声資料の一部である。その内容の活字化と対訳が印刷物に収められている。活字化と対訳は安田千夏が行い、編集は安田益穂が行った。

なお、本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。

上田トシさんのご遺族をはじめ、ご指導ご協力下さった方々に厚くお礼申し上げる。

語り手と録音について

上田トシさんは、1912年10月3日、沙流郡平取村字ペナコリ生まれ。幼いころには全くアイヌ語を話さなかったというが、周囲のアイヌ口承文芸の語り手が次々亡くなる中、1987年、12歳年上の姉木村キミさんにウエペケレ（散文の物語）を習ったのを皮切りに、川上まつ子さんら沙流方言の語り手の録音資料を聞くなどして独学し、沙流川筋の伝承活動を支える第一人者として活躍した。

1996年、北海道文化財保護功労者賞、1998年、アイヌ文化振興・研究推進機構のアイヌ文化賞を受賞。2005年7月24日死去。享年92歳。

アイヌ民族博物館では1993年から2001年にかけて、聞き取り調査や公開講座での口演等の協力を受けた。その際の録音資料約40時間分を所蔵しており、これまで順次整理・公開を行ってきた。1997年には『アイヌ民族博物館伝承記録3 上田トシのウエペケレ』を刊行し、その一部を公開した。本書はそれに続くものである。

凡例

1. 添付CDには、1～5話の音声をオーディオCD2枚に収録した。なお、一部録音状態が良くない資料がある。
2. アイヌ語の表記は、原則として奥田統己(編)(1999)『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集(CD-ROMつき)』札幌学院大学、にならった。
3. 母音字は a,e,i,o,u の5つ、子音字は p,t,c,k,s,r,m,n,w,y,h,' (声門破裂音) の12である。語頭と母音間の' は予測可能なので省略した。
4. 人称接辞は=で区切って示した。言いさして止めていると判断される箇所には…を付した。
5. 音素交替がある箇所はローマ字表記に _ (アンダーバー) で示した。
6. 参考文献は以下の通りである。([] のゴシック体は本書注釈内での略号)
 - ・[奥] 奥田統己(編)『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集(CD-ROMつき)』(札幌学院大学、1999年)
 - ・[田] 田村すず子『アイヌ語沙流方言辞典』(草風館、1996年)
 - ・[中] 中川裕『アイヌ語千歳方言辞典』(草風館、1996年)
 - ・[萱] 萱野茂『萱野茂のアイヌ語辞典』(三省堂、1996年)
 - ・[久] 久保寺逸彦(編)『アイヌ語・日本語辞典稿—久保寺逸彦 アイヌ語収録ノート調査報告書—』(北海道教育委員会／北海道文化財保護協会、1992年)
 - ・田村すず子『アイヌ語音声資料5—二風谷の昔話と歌謡・神謡—』(早稲田大学語学教育研究所、1988年)
 - ・[集大成] 萱野茂『ウエペケレ集大成』(アルドオ、1974年)
 - ・萱野茂『炎の馬』(すずさわ書店、1977年)
 - ・知里真志保『地名アイヌ語小辞典』(北海道出版企画センター、1988年、復刻3刷)
 - ・『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第8号』(北海道立民族文化研究センター、2002年)
 - ・『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』(財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、2004年)
 - ・『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』資料番号 CC800084 (北海道アイヌ民族文化研究センター)
 - ・『アイヌ民族博物館伝承記録3・昔話 上田トシのウエペケレ』(アイヌ民族博物館、1997年)
 - ・『アイヌ民族博物館開館30周年記念誌』(アイヌ民族博物館、2014年)

第1話 散文の物語

白い犬の水くみ

収録日：1996年3月25日

資料番号：35230A

添付CD：1-1（20分41秒）

第1話 散文の物語「白い犬の水くみ」¹

(白い犬が語る)

アユピヒ² アン ヒネ オカアン ペ ネ ヒケ
 a=yupihi an hine oka=an pe ne hike
 (私の)兄 い て 暮らす(私) もの だ が

私は(人間の)兄さんと暮らしていました。

アユピヒ エアラキンネ イオマブ ネ ヤ
 a=yupihi earkinne i=omap ne ya
 (私の)兄 本当に (私を)かわいがる だ とか

兄さんは本当に私をかわいがって

イエヤム ワ
 i=eyam wa
 (私を)大切にし て

大事にしてくれました。

ポ ヘネ アユピ エウン
 po hene a=yupi eun
 なおさら (私の)兄 に

私は何だか兄さんに

5 アコヤイエパタライエ コロ
 a=koyayepataraye kor
 (私)申し訳なく思い ながら

申しわけない気がして

アナン ペ ネ ワ
 an=an pe ne wa
 暮らす(私) 者 であって

いました。

ネウン カ イキアン ワ
 neun ka iki=an wa
 どう か し(私) て

どうにかして

アイヌ タ アネ ヤクン
 aynu ta a=ne yakun
 人間 にこそ (私)なる ならば

人間になりたいなあ、そしたら

アユピヒ エキムネ ワ
 a=yupihi ekimne wa
 (私の)兄 山獵に行っ て

兄さんが山へ狩りに行って

10 イワケ エトコ ウン
 iwak etoko un
 帰る 前 に

帰ってくる前に

ワッカタ ヘネ
 wakkata hene
 水汲み でも

水くみだって

アペアリアン ヘネ キ コロ アナン ペ
 apearian hene ki kor an=an pe
 火を焚く(私) でも し ながら いる(私) のに

火を焚いたりだっけするのになあ

- 1 1996年3月25日、上田トシ氏宅にて、安田千夏が収録。千葉伸彦氏が同席。上田トシ氏はこの話を姉である木村きみ氏から聞いたと語っている。ちなみに菅野茂編『ウウェペケレ集大成』所収「第7話レタラ ホロケウ アイヌ マツネ・アン 白狼が人間の妻になった」(pp.95-114)がこの話とほぼ同じ内容である。
- 2 主人公は犬なので、もちろん人間の兄が実の兄であるわけではなく、飼い主のことを親しみを込めてそう呼んでいる。

セコロ パテク ヤイヌアン コロ
 sekor patek yaynu=an kor
 と ばかり 思う(私) ながら

とそのことばかり考えて

[0:40] アナン ペ ネ コロカ
 an=an pe ne korka
 いる(私) もの だ けれど

暮らしていました。しかし

15 ネア アイヌ アネ カ ソモ キ プ ネ クス
 nea aynu a=ne ka somo ki p ne kusu
 その 人間 (私)である も しな ない もの だ から

私は人間ではないので

ネプ カ アユピ アカスイ カ
 nep ka a=yupi a=kasuy ka
 何 も (私の)兄 (私)手伝う も

何も兄さんを手伝うことが

アエアイカプ コロ アナン アイネ…
 a=eaykap kor an=an ayne…
 (私)できない で いる(私) (うちに…)

できないでいたのです。

ペ ネ ア プ シネアンタ
 pe ne a p sineanta
 もの だ っ た が あるとき

そんなあるとき

エイタサ アイヌ アネ ルスイ ヒ クス
 eytasa aynu a=ne rusuy hi kusu
 とても 人間 (私)になり たい もの だから

私は人間になりたいあまり

20 アユピ アニ ワッカタ コロ アン
 a=yupi ani wakkata kor an
 (私の)兄 それで 水汲みし て いる

兄さんが水くみに使っている

シリ アヌカラ ニヤトウシ³
 siri a=nukar niyatus
 様子 (私)見る 手桶

手桶を

アエクパ カネ ヒネ
 a=ekupa kane hine
 (私)くわえた ままで そして

くわえると

ペツ オツ タ アラパアン ヒネ …
 pet or_ ta arpa=an hine …
 川 の所 に 行く(私) して

川に行つて

ワッカ アニセ クス ヘポキキアン
 wakka a=nise kusu hepokiki=an
 水 (私)汲む ために 頭を下げる(私)

水をくもうと頭を下げました。

25 アクス アコエンプイナ ヒネ
 akusu a=koenpuyna hine
 すると (私)つんのめる して

すると、つんのめった拍子に

3 直訳すると「私の兄がそれで水くみをしている様子を私が見た手桶」。

ニヤトウシ トウラノ モマン ヒネ
 niyatus turano mom=an hine
 手桶 と一緒に 流れる(私) して

手桶もろとも川に流されて

ネ… ウコカラカラセ⁴
 ne… ukokarkarse
 その 一緒に転がる

コロコロ転がって

ニヤトウシ トウラノ
 niyatus turano
 手桶 と一緒に

手桶もろとも

カラカラセアン コロ
 karkarse=an kor
 転がる(私) ながら

コロコロ転がって

30 モマン コロカ
 mom=an korka
 流れる(私) けれど

流されてしまいました。けれど

ネ ニヤトウシ ネンカネ アオピチ ヤクン
 ne niyatus nenkane a=opici yakun
 その 手桶 どうかして (私)放す ならば

その手桶を放してしまったら

アユピ イコイキ クニ アラム ヒ クス
 a=yupi i=koyki kuni a=ramu hi kusu
 (私の)兄 (私を)叱る と (私)思う ので

兄さんにしかられると思ったので

アエクパ カネ ヒネ
 a=ekupa kane hine
 (私)くわえる ままで そして

しっかりくわえたまま

モマン アイネ
 mom=an ayne
 流れる(私) うちに

流され流されしているうちに

35 ヒナク タ アラパアン ルウエ ネ アクス
 hinak ta arpa=an ruwe ne akusu
 どこか に 行く(私) こと だったところ

どこかへたどり着くと

ポロ ピタラ アン ヒネ
 poro pitar an hine
 大きい 河原 あっ て

そこは大きな河原でした。

ネ ピタラ オツ タ ヤン…
 ne pitar or_ ta yan…
 その 河原 の所 に 上陸する

私はその河原に

オツ タ ヤナン ルウエ ネ ヒネ
 or_ ta yan=an ruwe ne _hine
 そこ に 上陸する(私) こと であって

上がりました。

4 人称接辞がない。以下何か所かで同様の特徴がみられる。

エアラキンネ シンキアン。
earkinne sinki=an.
本当に 疲れる(私)

私はヘトヘトになりながらも

40 アエヤイコブンテク コロ ネ ニヤトウシ
a=eyaykopuntek kor ne niyatus
(私)喜び ながら その手桶

その手桶に

ワッカ オマ ワ アニ クス
wakka oma wa an hi kusu
水 入っ て いる ので

水が入っていたのがうれしくて

アエトウフ アニ アカラカラセレ ワ
a=etuhu ani a=karkarsere wa
(私の)鼻 で (私)転がし て

鼻先でコロコロ転がして

ネ ニヤトウシ ワッカ アクタ ネ ヤ キ ワ
ne niyatus wakka a=kuta ne ya ki wa
その手桶 水 (私)くむ だ とかし て

手桶で水をくんだりしていました。

オラ エアラキンネ シンキアン
ora earkinne sinki=an
こんど 本当に 疲れる(私)

でも私はくたびれ果てて

45 ヒ クス オラ… コロ
hi kusu ora... kor
だから こんど… ながら

ヘセヘセアン ペ ネ クス オラ
hesehese=an pe ne kusu ora
何度も息をする(私) もの だ から こんど

ハアハア荒い息をしているうちに

オロ タ ホツケアニネ アナン。
oro ta hotke=an_hine an=an.
そこ で 寝る(私) して いる(私)

そこで寝てしまいました。

シウコカラカリアン ヒネ
siukokarkari=an hine
体を丸める(私) して

体を丸めて

ホツケアン ヒネ アナン ルウエ ネ アクス
hotke=an hine an=an ruwe ne akusu
眠る(私) して いる(私) こと だったところ

眠っていると

50 ラポツケ ネイ ワ ネ ヤ
rapokke ney wa ne ya
そのうちに どこ から だ か

そのうちどこからか

カムイ エク フム アシ シリ
kamuy ek hum as siri
神 来る 音 する 様子

神様が来る音が

ケウロトト コロ アナン アイネ… ア プ
kewrototo kor an=an ayne... a p
ゴーゴーといい ながら いる(私) した が

ゴーゴーと鳴り響きました。

- イエンカシケ ウン エクシコンナ
i=enkaske un ekuskonna
(私の)の上 で 突然
私の上で突然
- カムイ…
kamuy…
神
ゴーゴート
- 55 カムイ ケウロトト フム ネ ヤ
kamuy kewrototo hum ne ya
神 ゴーゴートという 音 だ か
神様の立てた音なのでしょうか
- アエキマテク ネ ヤ キ ヒネ
a=ekimatek ne ya ki hine
(私)驚く など し て
私はびっくりして
- オロ タ ネ エネ イキアン… アン ヒ カ
oro ta ne ene iki=an ... =an hi ka
そこ で その どう する(私) (私) の か
何がどうしたのか
- アエランペウテク ノ アナン アイネ
a=erampewtek no an=an ayne
(私)わからない で いる(私) うちに
わからずにいました。
- インカラアン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
ふと見ると
- 60 イサム タ アン レタラ セタ ヌマ⁵
i=sam ta an retar seta numa
(私の)そばに ある 白い 犬 毛
私のそばに白い犬の毛皮が
- イサム タ アン ヒネ
i=sam ta an hine
(私の)そばに あっ て
あって
- ヤイカタ アナクネ
yaykata anakne
自分 は
私は
- ピリカ ポンメノコ ネ アナン ワ
pirka ponmenoko ne an=an wa
美しい 若い女性 に なる(私) して
美しい人間の娘になっていました。
- オラ エアラキンネ アエヤイコプンテク。
ora earkinne a=eyaykopuntek.
こんど 本当に (私)喜ぶ
私は本当に喜びました。
- 65 オラ エネ アイヌ ネ アナン ルスイ ア プ、
ora ene aynu ne an=an rusuy a p,
こんど あれ程 人間 に なる(私) したかっ た のに
どんなに人間になりたかったことでしょう。

5 ヌマ numa は「毛」、毛皮はウル ur で、この後ではウル ur と言っている。意味するところは、その娘が今までまとっていた犬の毛皮。口承文芸で犬が人間の姿になる時にこうした毛皮を脱ぐという表現がしばしば見られる。

ネン カ カムイ イエランポキウエン ワ
 nen ka kamuy i=erampokiwen wa
 だれ か 神 (私に)同情し て

それを何かの神様がかわいそうに思って

アイヌ ネ イカラ ヒ ネ クニ アラム コロ
 aynu ne i=kar hi ne kuni a=ramu kor
 人間 に (私を)する ことだ と (私)思い ながら

人間にしてくれたのだと思うと

アエヤイコブンテク コロ オラ
 a=eyaykopuntek kor ora
 (私)喜び ながら こんど

私はうれしくて

ネア ニヤトウシ アアニ イネ
 nea niyatus a=ani _hine
 その 手桶 (私)持つ て

手桶と

70 セタ ウル アアニ ヒネ エカン ヒネ
 seta ur a=ani hine ek=an hine
 犬 毛皮 (私)持つ て 来る(私) して

犬の毛皮を持って

アウニ タ エカン ヒネ オラ
 a=uni ta ek=an hine ora
 (私の)家 に 来る(私) して こんど

私の家に帰って来ると

ネア ニヤトウシ アニ
 nea niyatus ani
 その 手桶 で

早速その手桶で

ワッカタン⁶ ネ ヤ キ オラ
 wakkata=an ne ya ki ora
 水くみする(私) だ とか する こんど

水くみをしました。

アペアリアン コロ
 aperi=an kor
 火を焚く(私) ながら

火をたくことも

75 アユピ アコオリパク コロ ネ コロカ
 a=yupi a=kooripak kor ne korka
 (私の)兄 (私)遠慮し ながら だ けれど

兄さんに遠慮しながらですが

ネノ イキアン コロ アナン ルウエ ネ
 neno iki=an kor an=an ruwe ne
 同様に し(私) ながら いる(私) こと だ

兄さんがやるようにやっていました。

アクス オロ タ アユピ イワク イネ
 akusu oro ta a=yupi iwak _hine
 すると そこ に (私の)兄 帰っ て

するとそこに兄が帰って来ました。

スプヤ アッ ペ ネ クス
 supuya at pe ne kusu
 煙 立つ もの だ から

煙が上がっているのを

6 水くみに行くのは家の近くの川にある水くみ場というのが通例である。

- オヤモクテ ワ ネ ノイネ
oyamokte wa ne noyne
不思議に思っ て だ らしく
- 不思議に思ったらしく
- 80 プヤラ カリ インカラ ヒネ オラ
puyar kari inkar hine ora
窓 ごしに 見 て から
- 窓ごしに様子を見てから
- アフン ヒネ オラ
ahun hine ora
家に入っ て こんど
- 家に入って来ました。
- オリパカン ペ ネ クス
oripak=an pe ne kusu
遠慮する(私) もの だ から
- 私がかしこまって
- アアン ヒネ アナン アクス
a=an hine an=an akusu
座る(私) して いる(私) したところ
- 座っていると
- ハラキシソ ペカ クシ イネ
harkiso peka kus _hine
左座 の方を 通っ て
- 左座のほうを通過して
- 85 オハラキシソ ワ ア ヒネ オラ
oharkiso wa a hine ora
左座 に 座って こんど
- 左座に座って
- エネ ハウエアニ。⁷
ene hawean _hi.
このように言った
- このように言いました。
- イコウウェペケンヌ ヒ クス
i=kouwepekennu hi kusu
(私に)尋ねる ので
- 私に尋ねたので
- ネプ カ エシナ カ
nep ka esina ka
何 も 隠し も
- 何を隠すことも
- エアイカツ ペ ネ クス
eaykap pe ne kusu
できない もの だ から
- できないので
- 90 “アユピヒ マク ネ ヒネ
“a=yupihi mak ne hine
(私の)兄 どう し て
- 「兄さんがどうして
- アナン ペ ネ ヤ アエランペウテク ノ
an=an pe ne ya a=erampewtek no
暮らす(私) もの だ か (私)わからず に
- 私と暮らしているのかわからずに

7 エネ ハウエアニ ene hawean _hi に続いて「(兄のセリフ)」となるのが普通だが、ここでは兄のセリフは省略されている。

アナン ペ ネ ヒケ オラ
 an=an pe ne hike ora
 暮らす(私) もの だ のに こんど

いたのですが

アユピ エイタサ イエヤム シリ
 a=yupi eytasa i=eyam siri
 (私の)兄 とても (私を)大切にすること

兄さんがとても私を大切にしてくれるので

アユピ アコオリパク コロ アナン ヒ クス
 a=yupi a=kooripak kor an=an hi kusu
 (私の)兄 (私)遠慮し ながら いる(私) ので

兄さんに申しわけなくて

95 ネウン カ イキアン ワ
 neun ka iki=an wa
 どう か する(私) して

どうにかして

アイヌ タ アネ ヤクン
 aynu ta a=ne yakun
 人間 に (私)なる なら

人間になりたいなあ、そうしたら

アユピヒ エトクン⁸
 a=yupihi etok un
 (私の)兄 前 に

兄さんが帰って来る前に

ワッカタ ネ ヤ アペアリ ネ ヤ
 wakkata ne ya aperi ne ya
 水くみ だ とか 火を焚く だ とか

水くみでも火の番でも

キ コロ アナン ペ セコロ
 ki kor an=an pe sekoro
 し ながら いる(私) のに と

するのになあと

100 ヤイヌアン コロ モシマ アナクネ
 yaynu=an kor mosma anakne
 思う(私) して ほかに は

思っていました。ほかには

ネプ カ ヤイヌ カ ソモ キ ノ
 nep ka yaynu ka somo ki no
 何 も 思い も しない で

何も思わずに

ネ アイヌ ネ アナン ルスイ ヒ パテク
 ne aynu ne an=an rusuy hi patek
 その 人間 に なる(私) したい ことばかり

人間になりたいとばかり

アヤイヌ コロ アナン アイネ… ア プ… クス
 a=yaynu kor an=an ayne... a p... kusu
 (私)思い ながら いる(私) (したあげく…た が…) ので

考えていました。だから

ワッカタ ポカ アキ セコロ ヤイヌアン ワ
 wakkata poka a=ki sekoro yaynu=an wa
 水くみ でも (私)すると 思う(私) して

水くみだけでもしようと思って

8 アユピヒ エトクン a=yupihi etok un は直訳だと「私の兄の前に」。冒頭と同じ箇所アユピヒ エキムネ ワ イワク エクン a=yupihi ekimne wa iwak etok un 「兄さんが山に狩りに行って帰って来る前に」だったのと同じ意味だろう。

- 105 アユピヒ コロ
a=yupihi kor
(私の)兄 の
- ニヤトウシ アエクパ カネ ヒネ
niyatus a=ekupa kane hine
手桶 (私)くわえた ままで そして
- ペツ オツ タ サナン ルウエ ネ アクス
pet or_ ta san=anruwe ne akusu
川 の所 に 出る(私) こと だっ たところ
- アコエンプイナ イネ
a=koenpuyna _hine
(私)つんのめっ て
- ア… ウコカラカラセアン コロ モマン イネ
a... ukokarkarse=an kor mom=an_hine
一緒に転がる(私) ながら 流れる(私) して
- 110 ピタラ オツ タ ヤナン ワ オラ
pitar or_ ta yan=an wa ora
河原 の所 に 上陸する(私) して こんど
- オロ タ シンキアン ペ ネ クス
oro ta sinki=an pe ne kusu
そこ で 疲れる(私) もの だ から
- ホッケアン ワ アナン アクス
hotke=an wa an=an akusu
眠る(私) して いる(私) したところ
- カムイ エク フム シリケウロトト アイネ
kamuy ek hum sirkeurototo ayne
神 来る 音 ゴーゴーという うちに
- イエンカスン
i=enkas un
(私の)上空 で
- 115 シリヤシコサヌ ヒ… エウン…
siryaskosanu hi... eun...
バリバリという こと に
- アエキマテク コロ モサン ルウエ ネ アクス
a=ekimatek kor mos=an ruwe ne akusu
(私)驚き ながら 目覚める(私) こと だっ たところ
- エネ ポンメノコ ネ アナン ワ オラ
ene ponmenoko ne an=an wa ora
こんな 若い娘 に なる(私) して こんど
- イサム タ タア セタ ウル アン ワ
i=sam ta taa seta ur an wa
(私の)そばに この 犬 毛皮 あっ て
- 兄さんの
- 手桶をくわえて
- 川に行ったのですが
- つんのめった拍子に
- コロコロ転がりながら流され
- 河原に上がりました。
- 私はヘトヘトになってそこで
- 眠っていました。すると
- 神様が来る音がゴーゴーと響き渡って
- 私の上で
- バリバリと物が裂けるような音がしました。
- 驚いて目を覚ますと
- このような娘になっていて
- 私の傍らに犬の毛皮がありました。

セタ ウル カ アアニ カネ ワ
 seta ur ka a=ani kane wa
 犬 毛皮 も (私)持ち も して

その犬の毛皮を持って

120 イワカン ルウエ ネ。
 iwak=an ruwe ne.
 帰る(私) の です

帰って来たのです。

アユピヒ アコオリパツ コロ… コロカ
 a=yupihi a=kooripak kor… korka
 (私の)兄 (私)遠慮する (ながら) けれど

兄さんに叱られるのが怖かったけど

アナン ルウエ ネ”
 an=an ruwe ne”
 いる(私) の です

こうしていたのです」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) の だっ たところ

と私が言うと

エアラキンネ アユピヒ イコプンテツ コロ
 earkinne a=yupihi i=kopuntek kor
 本当に (私の)兄 (私を)喜び ながら

兄さんは本当に喜んで

125 オンカミ ア オンカミ ア ルウエ ネ⁹
 onkami a onkami a ruwe ne
 何度も拝礼をする の です

何度も拝礼をしました。

ヒネ オラ
 hine ora
 して こんど

そして

アユピ エネ ハウエアニ。
 a=yupi ene hawean_hi.
 (私の)兄 こう 言った

兄さんはこのように言いました。

[7:11] “ナア エポニ タ
 “ naa e=pon _hi ta
 まだ (お前)小さい とき に

「まだおまえが小さいころ

エキムネアン ルウエ ネ アクス
 ekimne=an ruwe ne akusu
 山獺に行く(私) こと だっ たところ

私が山に狩りに行ったときのことだ。

130 アコロ エキムネ ル エトコ タ
 a=kor ekimne ru etoko ta
 (私の)の 山獺に行く 道 の先 に

私の行く道の先に

エウヌフ ネ クニ アラム ホロケウ カムイ
 e=unuhu ne kuni a=ramu horkew kamuy
 (お前の)母 だ と (私)思う オオカミ 神

おまえの母親らしいオオカミ神が

9 相手を重んじる時に男性が行う所作。この場合はこの娘に拝礼をすると共に、人間の姿にしてくれた神に感謝するという意味が含まれるのだろう。

エトウラ カネ ヒネ アン ヒネ
 e=tura kane hine an hine
 (お前)連れ も して い て

おまえを連れていて

アラパアン シリ イヌカラ アクス
 arpa=an siri i=nukar akusu
 行く(私) 様子 (私を)見た ところ

私が行くのを見ると

イヘコテ イヘネノ イヘネノ¹⁰
 i=hekote i=heneno i=heneno
 (私の方)に (私の) ???

私のほうに???

135 ペコロ イキ コロ
 pekor iki kor
 のように し ながら

のようにながら

イヘコテ サン ヒネ
 i=hekote san hine
 (私の方)に 出 て

私の方に来て

エトウラ カネ ヒネ オラ
 e=tura kane hine ora
 (お前を)連れ も して こんど

おまえを連れてきたかと思うと

エホツパ テク イネ
 e=hoppa tek _hine
 (お前を)置く さっと して

さっとおまえを置いて行くと

ナニ ニタイ オロ オシマ テク イネ イサム
 nani nitay or osma tek _hine isam
 すぐ 林 の所 に入る さっと して しまう

すぐに森の中に入ってしまった。

140 ヒ クス オラ
 hi kusu ora
 だから こんど

そこで

ナニ ネブ カ カムイ
 nani nep ka kamuy
 すぐ 何 か 神

きっと何かの神が

イチカシヌカラ ネ ワ イコレ ヒ ネ クニ
 i=cikasnukar ne wa i=kore hi ne kuni
 (私に)授ける であって (私に)くれる ことだ と

私に授け物をしてくれたのだと

アラム ワ スイ ナニ
 a=ramu wa suy nani
 (私)思っ て また すぐ

思っ

アウブソロオマレ ワ エカン ワ
 a=upsoroomare wa ek=an wa
 (私)懐に入れ て 来(私) て

懐におまえを入れて帰って来て

10 不明。

145 テ パクノ アエレス ヒネ…
te pakno a=e=resu hine…
ここ まで (私がお前を)育て て

今までおまえを育てていたのだ。

コロカ ネプ カ ウェン ケウトウム アコロ ワ
korka nep ka wen kewtum a=kor wa
けれど 何 か 悪い 心 (私)持つ て

しかし何も悪い考えで

イキアニ カ ソモ ネ。 オラ… コロカ
iki=an_hi ka somone. ora... korka
する(私) こと も ない こんど けれど

したことではない。それどころか

カムイ イチカシヌ … チカシヌカラ ヒ ネ クニ
kamuy i=cikasnu... cikasnukar hi ne kuni
神 (私に)授ける 授かり物をする ことだ と

神様からの授かり物だと

アラム ワ クス
a=ramu wa kusu
(私)思う ので

思ったので

150 イタンキ アニ アエコイプニ カ
itanki ani a=e=koypuni ka
お椀 で (私があなたに)食事を出す も

お椀でおまえにえさをやる

アエコオリパク ワ クス
a=e=kooripak wa kusu
(私がお前に)はばかり ので

のものはばかられたので

パッチ⁽¹¹⁾ アフライエ ア アフライエ ワ
patci a=huraye a a=huraye wa
鉢 (私)何度も洗っ て

宝物の鉢を何度も洗って

ネア パッチ アニ
nea patci ani
その 鉢 で

その鉢で

アエコイプニ コロ アナン ルウェ ネ”
a=e=koypuni kor an=an ruwe ne”
(私がお前に)食事を出し ながら いる(私) の です

おまえにえさをやっていたのだ」

155 (兄が語る)

セコン ネ アクス ネ ポンメノコ
sekor_ne akusu ne ponmenoko
と 言っ たところ その 若い娘

と言いました。するとその娘は

“ネ パッチ アニ
“ne patci ani
その 鉢 で

「その鉢で

11 イタンキ itanki は普段使いの食器なのに対し、パッチ patci は実用にもする塗りを施した宝物の一種で、儀式などで神への供物を入れるのにも使われる。

アユピ イコイプニ ヒ
a=yupi i=koyupuni hi
(私の)兄 (私に)食事を出す こと

兄さんが私に食べさせてくれたことで

ポ ヘネ アユピヒ アコヤイコ…
po hene a=yupihi akoyayko…
なおさら (私の)兄

なおさら兄さんに

160 ヤイエパタライエアン コロ アナン ルウエ ネ ア プ”
yayepataraye=an kor an=an ruwe ne a p”
遠慮する(私) ながら いる(私) こと だった のに

申しわけなく思っていたのに」

セコロ ネ ポンメノコ カ ハウエアン コロカ
sekor ne ponmenoko ka hawean korka
と その 若い娘 も 言う けれど

とその娘が言ったのですが

“カムイ イチカシヌカラ アキ ワ
“kamuy i=cikasnukar a=ki wa
神 (私に)授ける (人)し て

「神様からの授かり物

ネ クニ アラム ワ
ne kuni a=ramu wa
だ と (私)思っ て

だと思って

アエピリカレス コロ アナン ルウエ ネ ア プ
a=e=pirkaresu kor an=an ruwe ne a p
(私がお前を)大事に育て ながら いる(私) こと だった が

私はおまえを大事に育てていたのだが

165 カムイ アイヌ ネ エアン ルスイ ワ… クス
kamuy aynu ne e=an rusuy wa... kusu
神 人間 に (お前)なり たく て だから

おまえが人間になりたがったので

カムイ エエランポキウエン ワ
kamuy e=erampokiwen wa
神 (お前)哀れん で

神様がおまえを哀れんで

アイヌ ネ エカラ ヒ ネ ナンコロ”
aynu ne e=kar hi ne nankor”
人間 に (お前を)した の だ ろう

人間にしたのだろう」

(娘が語る)

セコロ ハウエアン コロ アユピヒ
sekor hawean kor a=yupihi
と 言い ながら (私の)兄

と言って、兄さんは

オンカミ ア オンカミ ア ルウエ ネ ヒネ
onkami a onkami a ruwe ne hine
何度も拝礼をする の であって

何度も拝礼をして

170 オラノ アユピヒ トウラノ アナン ルウエ ネ。
orano a=yupihi turano an=an ruwe ne.
それから (私の)兄 と一緒に 暮らす(私) の です

それから兄さんと一緒に暮らしました。

アイヌ ネ アナン ヒ オロワノ アナクネ
 aynu ne an=an hi orowano anakne
 人間 に なる(私) 時 から は

人間になってからは

アユピ エキムネ コロ オカケ タ
 a=yupi ekimne kor okake ta
 (私の)兄 山獵に行く と その後 で

兄さんが山獵に行った後で

スケアン ネ ヤ ワッカタン
 suke=an ne ya wakkata=an
 炊事する(私) だ とか 水くみする(私)

炊事や水くみ

アペアリアン ネ ヤ キ コロ
 apeari=an ne ya ki kor
 火を焚く(私) だ とかし ながら

火の番もしながら

175 アユピ アカスイ コロ アナン ルウエ ネ ワ
 a=yupi a=kasuy kor an=an ruwe ne wa
 (私の)兄 (私)手伝い ながら 暮らす(私) こと であって

兄さんを手伝って暮らしたので

ポ ヘネ アユピヒ
 po hene a=yupihi
 なおさら (私の)兄

なおさら兄さんは

イコプンテク ア イコプンテク ア コロ
 i=kopuntek a i=kopuntek a kor
 (私に)何度も喜び ながら

喜んで喜んで

アナン アイネ
 an=an ayne
 暮らす(私) うちに

暮らしていました。やがて

タネ ポンメノコ シリポ ネ
 tane ponmenoko sirpo ne
 もう 若い娘 容姿 に

今は私もすっかり女らしい一人前の娘に

180 アナン ルウエ ネ アクス
 an=an ruwe ne akusu
 いる(私) こと だっ たところ

成長しました。

ラポッケ オラ シネアンタ
 rapokke ora sineanta
 そのうちに こんど ある時

そんなあるとき

ウエンタラプアン ルウエ ネ アクス
 wentarap=an ruwe ne akusu
 夢を見る(私) こと だっ たところ

私は夢を見ました。

ロルンプヤラ カリ
 rorunpuyar kari
 神窓 ごしに

神窓ごしに

カムイ ネ クス コラチ アン メノコ
 kamuy ne kusu koraci an menoko
 神 だ から らしく いる 女性

神にふさわしい姿をした女性

- 185 レタラ コソンテ ウトムチウレ カムイ メノコ
 retar kosonte utomciwre kamuy menoko 白い着物を身にまとった女神が¹²
 白い 上等の着物 を身につける 神 女性
- ロルンプヤラ タ アン ヒネ
 rorunpuyar ta an hine 神窓のところにいて
 神窓 に い て
- エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi. このように言いました。
 このように言った
- “タン アマツネポホ
 “tan a=matnepoho 「これ私の娘よ
 これ (私の)娘
- イタカン チキ エイヌ カトウ アナク
 itak=an ciki e=inu katu anak 私が言うことをよく
 言う(私) したら (お前)聞く 事情 は
- 190 エネ アニ。
 ene an _hi. 聞きなさい。
 こうである
- ホロケウ セコロ アイェ ヤツカ
 horkew sekor a=ye yakka オオカミととっても
 オオカミ と (人)言っ ても
- トウブ… シネプ トウブ パテク
 tup... sinep tup patek 1つ2つだけ
 2つ 1つ 2つ ばかり
- オカ ヒ カ ソモ ネ。
 oka hi ka somo ne. いるのではないのです。
 いる ことも ない のだ
- ホロケウ セコロ アイェ カ
 horkew sekor a=ye ka オオカミと言われる中でも
 オオカミ と (人)言う も
- 195 イヨッタ パセ カムイ ネ ホロケウ
 iyotta pase kamuy ne horkew 一番偉い神であるオオカミが
 一番 尊い 神 である オオカミ
- エオナハ ネ… ネ ヒネ
 e=onaha ne... ne hine おまえの父であって
 (お前の)父 である であって
- トゥラノ アナン ルウェ ネ ア プ
 turano an=an ruwe ne a p 私は一緒に暮らしていました。
 一緒に 暮らす(私)の だった が

12 口承文芸ではオオカミ神はしばしば白い着物を着て夢に現れる。絶滅したエゾオオカミの毛色は褐色系であったらしいが、どうやらオオカミ神につながるイメージカラーは白であるらしい。

タン トウラノ エアン オツカイポ オナハ ウタラ
 tan turano e=an okkaypo onaha utar
 この 一緒に (お前)いる 若い男 の父 たち

おまえと一緒に暮らしている若者の父親たちは

エアラキンネ ホロケウ ノミ
 earkinne horkew nomi
 本当に オオカミ を祭る

オオカミを祭って

200 ピリカ サケ アニ ピリカ イナウ アニ
 pirka sake ani pirka inaw ani
 良い 酒 で 良い 木幣 で

上等の酒、上等の木幣で

ホロケウ ノミ コロ アン ペ ネ ア クス
 horkew nomi kor an pe ne a kusu
 オオカミ を祭り ながら いる もの だった ので

オオカミを丁重に祭っていたので

エアラキンネ ネ…
 earkinne ne…
 本当に その

本当に

エオナハ ネ ホロケウ カムイ
 e=onaha ne horkew kamuy
 (お前の)父 である オオカミ 神

おまえの父であるオオカミの神は

エヤイコブンテク
 eyaykopuntek
 それを喜ぶ

それを喜び

205 ヤイライケ ヒ イエ コロ アン ペ ネ ア プ、
 yayrayke hi ye kor an pe ne a p,
 感謝する こと 言い ながら いる もの だった が

感謝の言葉を言っていたものでした。

パ オヤン ヒネ
 pa oyan hine
 伝染病 上陸し して

ところが伝染病がはやって

タン トウラノ エアン オツカイヨ
 tan turano e=an okkayo
 この 一緒に (お前)いる 男性の

おまえと一緒に暮らす若者の

オナハ ウヌフ パ オヤン ヒネ
 onaha unuhu pa oyan hine
 父 母 伝染病 上陸し て

父や母が伝染病で

イサム オカ タ
 isam oka ta
 死んだ 後 に

死んでしまった後に

210 マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か

どうしたことか

シネン ネ シクヌ ワ アン ヒ
 sinen ne siknu wa an hi
 ひとり で 生き て いる こと

息子だけがひとりで生きているのを

エオナハ ヌカラ ワ オラノ
e=onaha nukar wa orano
(お前の)父 見 て こんど

おまえの父(偉いオオカミの神)が見て

エネ ニシパ ウタラ
'ene nispa utar
あのように 旦那さん たち

『あんなに

アコヤイライケ ニシパ ウタラ
a=koyayrayke nispa utar
(私)感謝する 旦那さん たち

私が感謝していた旦那さんたち

215 ネ ア プ オラ
ne a p ora
だっ た のに こんど

だったのに

ネプ カ アコヤヤッタサ カ ソモ キ ノ
nep ka a=koyayattasa ka somoki no
何 も (私)恩返しをし も せず に

何も恩返しもできずに

アナン クス
an=an kusu
いる(私) ので

いるので

シネ マツネポ タクフ
sine matnepo takuf
ひとり 娘 だけ

ひとりきりのわが娘

アコン ルウエ ネ コロカ
a=kor_ ruwe ne korka
(私)持つ の だ けれど

ではあるが

220 ネ オツカイポ… オツカヨ トウラ… オツ タ
ne okkaypo... okkayo tura... or_ ta
その 若い男 男性 と一緒に そこ に

その若者のところに

エアラパ ワ
e=arpa wa
(お前)行っ て

おまえが行って

トウラノ エアン ヤクン
turano e=an yakun
一緒に (お前)暮らす ならば

一緒に暮らしなさい。

ホロケウ エネ クス
horkew e=ne kusu
オオカミ (お前)である ので

おまえはオオカミなので

カムイ ヘネ ユク ヘネ エライケ ワ
kamuy hene yuk hene e=rayke wa
クマ でも シカ でも (お前)殺し て

クマでもシカでもとって

225 タン トウラノ エアン オツカヨ エコレ ヤクン
tan turano e=an okkayo e=kore yakun
この 一緒に (お前)暮らす 男性 (お前)やる ならば

この若者にあげたら

ポカ アコヤヤッタサ ヒ クス ネ ナ
 poka a=koyayattasa hi kus ne na'
 せめて (私)恩返しする こと だろう よ

せめてもの恩返しになるだろう』

セコロ エオナハ ハウエアン ワクス… ア プ
 sekor e=onaha hawean wakusu... a p
 と (お前の)父 言っ た が

とおまえの父が言ったのです。ですが

オラノ エネ アイヌ ネ
 orano ene aynu ne
 それから このように 人間 に

こうしておまえが人間に

エアン ルスイ ヒ… コロ アン ヒ
 e=an rusuy hi... kor an hi
 (お前)なり たがっ て いる こと

なりたがっているのを

230 エオナハ エヌカラ コロ アン ア プ
 e=onaha e=nukar kor an a p
 (お前の)父 (お前)見 て い た が

おまえの父が見ていたのです

エネ… エワツカタ クス エアラパ クス
 ene... e=wakkata kusu e=arpa kusu
 このように (お前)水くみする ために (お前)行く ので

おまえが水くみに行って

エコエンプイナ ワ モム… エモム シリ
 e=koenpuyna wa mom... e=mom siri
 (お前)つんのめっ て (お前)流れる 様子

つんのめって川に流されるのを

エオナハ ヌカラ クス オラ
 e=onaha nukar kusu ora
 (お前の)父 見る ので こんど

おまえの父が見て

エアラキンネ エエランポキウエン イ
 earkinne e=erampokiwen _hi
 本当に (お前)かわいそうに思う こと

本当にかわいそうだと

235 イエ ア イエ ア コロ
 ye a ye a kor
 何度も言い ながら

何度も言って

ネウン カ イキ ワ
 neun ka iki wa
 どうに か し て

どうにかして

アイヌ ネ アラパ… アラパ ワ
 aynu ne arpa... arpa wa
 人間 として 行く 行っ て

行って

アイヌ ネ エカラカラ セコロ
 aynu ne e=karkar sekor
 人間 に (お前)する と

おまえを人間にしてやりたいと

エオナハ ハウエアン ヒネ
 e=onaha hawean hine
 (お前の)父 言っ て

おまえの父(偉いオオカミの神)が言うので

- 240 オラ エカニネ
 ora ek=an_hine
 こんど 来る(私) して
 私がやって来て
- アイヌ メノコ ネ アエカラ ワ
 aynu menokone a=e=kar wa
 人間 女性 に (私がお前を)して
 おまえを人間の娘の姿に変えて
- アイヌ ネ エアン ルウエ ネ クス
 aynu ne e=an ruwe ne kusu
 人間 に (お前)なる の だ から
 あげたのです。
- テ ワノ カ
 te wano ka
 ここ から も
 これからも…
- タン エユピヒ パロ エオイキ コロ
 tan e=yupihi paro e=oyki kor
 この (お前の)兄 (お前)養い ながら
 今までおまえはこの兄を養って
- 245 テ パクノ エアン ア コロカ
 te pakno e=an a korka
 これまで (お前)い た けれど
 いたのですが
- タネ タン ニシパ マチヒ
 tane tan nispa macihi
 今はもうこの 旦那さん の妻
 もうこの旦那さんの妻
- ネ エアン ワ ネ ヤクン オラ
 ne e=an wa ne yakun ora
 に (お前)なって である ならば こんど
 になりなさい。そして
- トゥ ポ レ ポ エチウココロ ヤク オラ
 tu po re po eci=ukokor yak ora
 2 児 3 児 (お前たち)持つ なら こんど
 おまえたちが2、3人子供を持ったら
- カムイ オルン アエウク クシ ネ ナ。
 kamuy or un a=e=uk kus ne na.
 神 の所 に (私がお前を)奪う つもり だ よ
 おまえを神の国へ呼び寄せるつもりです。
- 250 ニシパ ピリカノ コヤヨウペカレ¹³
 nispa pirkanō koyayowpekare
 旦那さん よく 気に入られる
 旦那さんに気に入られるように
- コプリ… コヤヨウペカレ
 kopuri… koyayowpekare
 気に入られるようにする
 に気に入られるように
- コプリアッテ¹⁴ ワ… ヤク ピリカ。
 kopuriatte wa… yak pirka.
 にふるまう? して… すれば いい
 ふるまいなさい。

13 この後しばらく来客の声がかぶっていて、話者も気にしながら話しているようすがうかがえる。

14 コプリアッテ ko-puri-atte 《～に・ふるまい・～を増やす》？

オラ トウ ポ レ ポ エコロ ヤク オラ
 ora tu po re po e=kor yak ora
 こんど 2 児 3 児 (お前)持つなら こんど

そして2、3人の子供を持ったら

マツカチ ネ ヒケ エシテクアニレ ワ
 matkaci ne hike e=sitek'anire wa
 女の子 である ほう (お前)手を引かせ て

女の子のほうの手をおまえに引かせて

255 カムイ オルン アエウク クス ネ ナ。
 kamuy or un a=e=uk kusu ne na.
 神 の所に (私がお前を)奪う つもり だ よ

神の国におまえを呼び寄せるつもりです。

セコロ… ネ ナ。
 sekor... ne na.
 と だ よ

オラ エイサム ヤツカ
 ora e=isam yakka
 こんど (お前)死ん でも

おまえがいなくなっても

オカケ タ アイヌ メノコ エク ワ
 okake ta aynu menoko ek wa
 その後 に 人間 女性 来 て

その後で人間の女性が来て

タン オツカイポ スイ トウラノ アン ヤクン
 tan okkaypo suy turano an yakun
 この 若い男 また 一緒に 暮らす ならば

この若者とまた一緒になって

260 エウン カ トウ ポ レ ポ コロ ヤクン オラ
 eun ka tu po re po kor yakun ora
 そこへ も 2 児 3 児 を持つ ならば こんど

そこでも2、3人子供を持ったら

カムイ オルン タ… アイヌ ネ…
 kamuy or un ta aynu ne
 神 の所にこそ 人間 として

神の国に、おまえが人間として

トウラノ エアン オツカヨ カ アウク ワ オラ
 turano e=an okkayo ka a=uk wa ora
 一緒に (お前)いる 男性 も (私)呼ん で こんど

連れ添っていた男性も呼び寄せて

カムイ オツ タ シノ ウコロ
 kamuy or ta sino ukor
 神 の所 で 本当の 結婚

神の国で本当の結婚を

シノ ウコロ エチキ クシ ネ ナ。
 sino ukor eci=ki kus ne na.
 本当の 結婚 (お前達)する はず だ よ

することになるでしょう。

265 ピリカノ エユピヒ コプリアツテ
 pirikano e=yupih kopuriatte
 よく (お前の)兄 にふるまう?

おまえの兄によく尽くし

ヤク ピリカ ナ”
 yak pirka na”
 と いい よ

なさい」

セコロ アン ウェンタラプ アキ ルウエ ネ ヒネ
 sekor an wentarap a=ki ruwe ne hine という夢を見ました。
 と いう 夢を見ること (私)する の であって

オラ クンネイワ アイェ アクス
 ora kunneywa a=ye akusu 朝、私が言うと
 こんど 朝に (私)言っ たところ

アユピヒ カ ネノ ウェンタラプ ルウエ ネ
 a=yupihi ka neno wentarap ruwe ne 兄さんもその夢を見たのだ
 (私の)兄 も 同じ 夢を見た の だ

270 ヤク イェ コロ オラノ
 yak ye kor orano と言いながら
 と 言い ながら こんど

オンカミ ア オンカミ ア。
 onkami a onkami a. 何度も拝礼をしました。
 何度も拝礼をする

“アイヌ アネ イ ワ オラ
 “aynu a=ne _hi wa ora 「私は人間になったからといって
 人間 (私)なる 時 から こんど

カムイ メノコ マツ ネ アコロ
 kamuy menoko mat ne a=kor 神の娘を妻にもらう
 神 女性 妻 に (私)持つ

セコロ アイェ ヒ カ
 sekor a=ye hi ka というのも
 と (私)言う ことも

275 アコオリパク コロカ
 a=kooripak korka 恐れ多いことですが
 (私)恐れ多い けれど

カムイ イェ イタク ネ クス
 kamuy ye itak ne kusu 神が言うことなので
 神 言う 言葉 だ から

ヤクン ウムレク ネ アナン クス ネ ワ”
 yakun umurek ne an=an kusune wa” ならば夫婦になりましょう」
 ならば 夫婦 に なる(私) つもり だ よ

セコン ネ ヒネ オラ
 sekor_ ne hine ora と言って
 と 言っ て こんど

オロワノ トウラノ アナン イネ
 orowano turano an=an _hine それからは連れ添って暮らしました。
 それから 一緒に 暮らす(私達) して

280 アユピヒ ネ ヤク アイェ コロ
 a=yupihi ne yak a=ye kor 兄さんを「兄さん」と言って
 (私の)兄 だ と (私)言い ながら

アナン ペ ネ ア コロカ
 an=an pe ne a korka
 いる(私) もの だっ た けれど

いましたが

トゥラノ アナン
 turano an=an
 一緒に 暮らす(私)

連れ添って

ウムレク ネ アナン ヒ オラノ
 umurek ne an=an hi orano
 夫婦 に なる(私) 時 から

夫婦として暮らすようになってからは

ポ ヘネ イエヤム ネ ヤ
 po hene i=eyam ne ya
 なおさら (私)大事にする だ とか

なおさら私を大事にしました。

285 ナ ネン ネン アン ネプキ アキ
 na nen nen an nepki a=ki
 まだ いろいろ ある 仕事 (私)する

私をもっといろいろな仕事をしようと

クス ネ ヤッカ イココパン ワ
 kusu ne yakka i=kokopan wa
 つもり で も (私を)断っ て

しても、しなくていいと言って

ネプ カ アカラ カ ソモ キ ノ
 nep ka a=kar ka somo ki no
 何 も (私)し も しない で

何も私はせずに

スケ ネ ヤ キ… パテク アキ コロ
 suke ne ya ki... patek a=ki kor
 炊事 だ とか ばかり (私)し ながら

炊事などだけをして

チセ オツ タ パテク アナン アイネ
 cise or_ ta patek an=an ayne
 家 の 所にばかり いる(私) うちに

家にばかりいました。

290 ラポッケ オラ ホンコロアン ルウエ ネ ヒネ
 rapokke ora honkor=an ruwe ne hine
 そのうちに こんど 妊娠する(私) の であっ て

そのうちに私が妊娠して

ヌワパン ルウエ ネ アクス
 nuwap=an ruwe ne akusu
 お産する(私) の だっ たところ

お産をしたところ

ピリカ オツカヨ ポイゾン アコロ ワ
 pirka okkayo poyson a=kor wa
 良い 男 子 (私)持つ て

かわいい男の子が生まれました。

オラノ ポ ヘネ ネ ポイゾン トウラノ
 orano po hene ne poyson turano
 こんど なおさら その 子供 と一緒に

すると兄さんはなおさらその子と一緒に

イコイヨマップ アユピ イキ コロ
 i=koiyomap a=yupi iki kor
 (私を)かわいがる (私の)兄 し ながら

私をかわいがって

- 295 オカアン アイネ
oka=an ayne
暮らす(私) うちに
ラポッケ オラ スイ
rapokke ora suy
そのうちに こんど また
オシ… マツカチ アコロ ワ ポ ヘネ
os... matkaci a=kor wa po hene
後 女の子 (私)持っ て 子 でも
アウコオマプ コロ オカアン ラポッケ オラ
a=ukoomap kor oka=an rapokke ora
(私)共にかわいがり ながら 暮らす(私) うちに こんど
マツカチ トウプ アコロ シネ オッカヨ
matkaci tup a=kor sine okkayo
女の子 2人 (私)持つ 1人 男
- 300 ポイソン アコロ カネ
poyson a=kor kane
子供 (私)持ち ながら
ラポッケ オラ
rapokke ora
そのうちに こんど
- (オオカミの娘 [=妻]のセリフ¹⁵⁾
“ ポン シイエイエ アキ ヒ アナクネ
“pon siyeye a=ki hi anakne
小さい 病気 (私)するときは
タネ カムイ オルン
tane kamuy or un
もう 神 の所 にいる
カムイ アオナハ アウヌフ
kamuy a=onaha a=unuhu
神 (私の)父 (私の)母
- 305 カムイ オルン イシコエクテ ルスイ ワ…
kamuy or un i=sikoekte rusuy wa…
神 の所 に (私を)来させ たく て
クス ネ ナンコロ クス
kusu ne nankor kusu
つもり だ ろう から
- 暮らしました。
やがてまた
女の子ができて、なおさら
一緒にかわいがって暮らすうちに
女の子を2人、男の子を1人
授かりました。
やがて
もう神の国にいる
オオカミの神の父母が
神の国へ私を来させたい
のでしょうから

15 以下は「 」でくくって妻が夫に対して言ったセリフのように(直接話法で)訳したが、エ e=、エチ eci=が必要な箇所にもそれらがなく、話者の意識としては間接話法で語っているのかもしれない。

イサマン ヤツカ
isam=an yakka
死ぬ(私) しても

私が死んでも

アコロ アン… ニシパ
a=kor an... nispa
(私)の 旦那さん

旦那さんは

ナニ アイヌ メノコ ヤイコフナラ ワ
nani aynu menoko yaykohunara wa
すぐ 人間 女性 自分で探し て

すぐに人間の娘を探して

310 トウラノ アン ワ
turano an wa
一緒に 暮らし て

一緒に暮らして下さい。

アポ ウタラ ネ ヤツカ
a=po utar ne yakka
(私)の子たち で も

私の子供たちも

ピリカノ コ…ノ エヤム コプリアツテ
pirkano ko...no eyam kopuriatte
良く 大切にする ふるまう?

大切に

イオシ エク メノコ エウン カ
i=os ek menoko eun ka
(私)の後 来る 女性 に も

私の後に来た女性にも

ポコン ナンコロ アクス
pokor_ nankor akusu
子を持つ だろう から

子供ができるでしょうから

315 ネ ポホ ウタラ ネ ヤツカ
ne poho utar ne yakka
その 子供 たち で も

その子供とも

ピリカノ コヤヨウペカレ クニ
pirkano koyayowpekare kuni
良く 仲良くする ように

仲良くするように

カシパオツテ オラ ネイ パクノ
kaspotte ora ney pakno
言い聞かせる こんど いつ までも

言い聞かせて、いつまで

エチオカ ヤツカ
eci=oka yakka
(お前達)暮らし ても

あなたたちが暮らしても

…いまゆったカムイ… ホロケウ、
…いまゆった kamuy... horkew、

320 ホロケウ カムイ リクン カント ウン
'horkew kamuy rikun kanto un
オオカミ 神 天の 国 にいる

『オオカミの神、上天の

ホロケウ カムイ ホロケウ エカシ
horkew kamuy horkew ekasi
 オオカミ 神 オオカミ おじいさん

オオカミの神、オオカミの祖父に

アノミ ナ
a=nomi na'
 (私)祭る よ

祈ります』

セコロ エチハウエオカ コロ
sekor eci=haweoka kor
 と (お前達)言い ながら

とあなたたちが言って

その リクン カント ウン ホロケウ カムイ
 その **rikun kanto un horkew kamuy**
 高い 天 の オオカミ 神

その上天のオオカミの神に

325 イナウ アニ サケ アニ ネイ パクノ
inaw ani sake ani ney pakno
 木幣 で 酒 で いつ までも

木幣と酒でいつまでも

ノミ クニ カ
nomi kuni ka
 祭る ように も

祈るように

ピリカノ ポホ ウタラ エウン
pirkano poho utar eun
 良く 子供 たち に

よく子供たちに

ネ ヤッカ カシパオツテ オラ
ne yakka kaspaotte ora
 で も 言い聞かせる こんど

言い聞かせて下さい。

イサマン ヤッカ
isam=an yakka
 死ぬ(私) しても

私が死んでも

330 ホロケウ… リクン カント ウン…
horkew... rikun kanto un...
 オオカミ 高みの 天 にいる

ネ アコン… トウラノ アナン ニシパ¹⁶ カ
ne a=kor... turano an=an nispa ka
 その (私)の 一緒に 暮らす(私) 旦那さん も

旦那さんも

カムイ オルン
kamuy or un
 神 の所 の

神の国

リクン カント ウン ホロケウ カムイ エウン
rikun kanto un horkew kamuy eun
 高みの 天 の オオカミ 神 へ

上天のオオカミの神のところに

16 アコロ ニシパ a=kor nispa 「私の旦那さん」と言いかけて、トウラノ アナン ニシパ turano an=an nispa 「私が一緒にいる旦那さん」と言い直している。旦那さん本人に向かって言っているセリフなのでこの表現は不自然だが、聞き手の理解を助けるために言ったものか。

アラパアン ナンコロ クス
 arpa=an nankor kusu
 行く(私たち) だろう から

行くでしょうから

335 シンリッ オルン アナクネ
 sinrit or un anakne
 先祖 の所 に は

先祖のところに

ネ シンヌラツパパ ソモ キ ヤツカ¹⁷
 ne sinnurappapa somoki yakka
 その 先祖供養 しない でも

先祖供養をしないで

ピリカ ナ”
 pirka na”
 良い よ

いいのですよ」

(人間の夫が語る)

セコロ ネ カムイ カツケマツ
 sekor ne kamuy katkemat
 と その 神 淑女

とその神の淑女が

ハウエアン コロ モコロ ルウエ ネ ヒネ オラ
 hawean kor mokor ruwe ne hine ora
 言い ながら 死ぬ の です そして こんど

言って死んで行きました。

340 オラノ ネ… エネ トウラノ アナン フミ
 orano ne... ene turano an=an humi
 そして その こうして 一緒に 暮らす(私) 感じ

そしてあんないい妻と一緒に暮らせて

ピリカ カツケマツ ネ ア プ セコロ
 pirka katkemat ne a p sekor
 良い 妻 だった のにと

幸せだったのになあと

ネ アホツパ オツカヨ¹⁸ ラム ア コロカ
 ne a=hoppa okkayo ramu a korka
 その (人)残して去る 男性 思っ た けれど

私は思いましたが

カムイ イェ イタク ネ クス
 kamuy ye itak ne kusu
 神 言う 言葉 だ から

神が言う言葉ですから

エネネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
 enene hi ka isam pe ne kusu
 どうする こと も ない もの だ から

どうしようもないので

345 ネノ アナン ラポツケ
 neno an=an rapokke
 同じく 暮らす(私) うちに

そのように暮らしていました。

17 神の国は先祖の国(あの世)とは別なので、何らかの事情で神の国へ行った人に対しては、一般的な先祖供養をしても供物も祈りも届かない。その場合はここでいうホロケウ ノミ horkew nomi (オオカミ祭祀)のように、伝説に基づいて一族の守り神に対して特別な儀礼を行う。

18 4行前のネ カムイ メノコ ne kamuy menoko 「その神の娘」と、このアホツパ オツカヨ a=hoppa okkayo 「残された男性」は、どちらも第三者的な表現だが、だとすれば誰が話者なのかわかりにくくなっている。

オラ スイ タネ ピリカ メノコ エキネ
 ora suy tane pirka menoko ek_hine
 こんど また 間もなく美しい 女性 来 て

そのうちまた美しい女性がやって来て

トゥラノ アナン ラポッケ
 turano an=an rapokke
 一緒に 暮らす(私) うちに

一緒に暮らすうちに

エウン… ネ メノコ エウン カ
 eun... ne menoko eun ka
 そこに その 女性 に も

その女性にも

トゥ ポ レ ポ アコロ。
 tu po re po a=kor.
 2 児 3 児 (私)持つ

2人、3人子供ができました。

350 ホシキ アマチヒ エウン カ アコロ ポホ…
 hoski a=macihi eun ka a=kor poho…
 先 (私の)妻 に も (私)持つ 子供

先妻にできた

アポホ ウタラ カ ルプネ シリ カ
 a=poho utar ka rupne siri ka
 (私の)子供 たち も 大きくなる 様子 も

子供たちも大きくなった様子を

アヌカン ラポッケ オラ スイ
 a=nukar_rapokke ora suy
 (私)見る うちに こんど また

私は見るうちに、やがて

ヤイカタ カ シイエイエアン ヒ アナクネ
 yaykata ka siyeye=an hi anakne
 自分 も 病気になる(私) 時 は

私も病気をして

リクン カント ウン
 rikun kanto un
 高みの 天 に

上天の神の国に

355 アラパアン ヒ ネ ナンコロ クス
 arpa=an hi ne nankor kusu
 行く(私) 時 だ ろう から

行くようなので

“ホロケウ カムイ ホロケウ エカシ
 “horkew kamuy horkew ekasi
 オオカミ 神 オオカミ おじいさん

「オオカミの神、オオカミの祖父を

アノミ ナ”
 a=nomi na”
 (私)祭る よ

祭るのだぞ」

セコロ エチハウエオカパ コロ
 sekor eci=haweokapa kor
 と (お前たちに)何度も言い ながら

と子供たちに何度も言って

“エチシンヌラツパカムイノミ ワ
 “eci=sinnurappa-kamuynomi wa
 (お前たち)先祖供養の儀式をし て

「おまえたちが先祖供養の儀式をして

360 イコレ ヤクン カムイ オツ タ
 i=kore yakun kamuy or_ ta
 (私)くれる ならば 神 の所 で

くれたなら、神の世界で

アカムイネレ ワ アナン クシ ネ ナ。
 a=kamuynere wa an=an kus ne na.
 (私)神格を高め て いる(私) はず だ よ

私は神としての位を高められるのだ。

シンリッ オルン アナクネ イヌラツパ
 sinrit or un anakne i=nurappa
 先祖 の所 に は (私を)供養する

先祖のところには私を供養を

ソモ キ ヤツカ ピリカ ナ”
 somo ki yakka pirka na”
 しない でも いい よ

しなくていいのだぞ」

(語り手が語る)

セコロ ネ オツカヨ ハウエアン コロ
 sekor ne okayo hawean kor
 と その 男性 言い ながら

とその男性は言いながら

365 モシリ ホツパ ヒ… ワ イサム オカ タ
 mosir hoppa hi... wa isam oka ta
 大地 を去る こと して しまう 後 で

亡くなった後で

ネ アホツパ オツカイポ ウタラ アナクネ
 ne a=hoppa okaypo utar anakne
 その (人)後に残した 男性 たち は

残された息子たちは

ネ ホロケウ カムイ
 ne horkew kamuy
 その オオカミ 神

そのオオカミの神に

ノミパ コロ オカ ロク アイネ
 nomipa kor oka rok ayne
 何度も祭り ながら 暮らし た あげく

祈りつつ暮らして、やがて

ウコオンネパ ワ イサム ルウエ ネ セコロ。
 ukoonnepa wa isam ruwe ne sekor.
 皆が年を取っ て しまった の だ と

年を取ってしまったんだとさ。

第2話 散文の物語

木彫りのオオカミ

収録日：1999年9月29日

資料番号：35298A

添付CD：1-2（36分23秒）

第2話 散文の物語「木彫りのオオカミ」¹⁾

(石狩の若者が語る)

アオナハ エタカスレ イオマフ ヒネ
 a=onaha etakasure i=omap hine
 (私の)父 誰よりも (私を)かわいがって

父は私をととてもかわいがって

オカアン ペ ネ ヒケ オラ
 oka=an pe ne hike ora
 暮らす(私) もの だった が こんど

いました。

アオナハ エキムネ コロ
 a=onaha ekimne kor
 (私の)父 山猟に行く と

父が山へ狩りに行く時は

アウレウヌ²⁾ ワ エキムネアン コロ オラ
 a=ureunu wa ekimne=an kor ora
 (私)ついて行っ て 山猟に行く(私) して こんど

私もついて行って

5 ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 yuk ne ciki kamuy ne ciki
 シカ で も クマ で も

シカでもクマでも

ライケ コロ オラ シケルラアン
 rayke kor ora sikerura=an
 とる と こんど 荷物を運ぶ(私)

父がとると

シケアン ネ ヤ ネ ヤ
 sike=an ne ya ne ya
 荷物を運ぶ(私) だ とか だ とか

私が荷物を運んだり

ネン ネン アオナハ アカスイ コロ
 nen nen a=onaha a=kasuy kor
 いる いる (私の)父 (私)手伝い ながら

いろいろと父を手伝って

アナン ワ オラ
 an=an wa ora
 いる(私) して こんど

いました。

10 ネプ ネ ヤッカ アオナハ イエパカシヌ
 nep ne yakka a=onaha i=epakasnu
 何 で も (私の)父 (私に)教える

父は何でも私に教えました。

… ネ クス ポ ヘネ
 … ne kusu po hene
 だ から なおさら

それでなおさら

1 調査年月日は1999年9月29日、調査地は上田トシ氏の自宅、調査者は本田優子氏で、別調査で訪れた藤村久和氏が同席されている。萱野茂著『ウエベケレ集大成』所収「第10話 ニ・ボン・ホロケウ イ・エ・ブンキネ 木彫りの狼がわたしを助けてくれた」(pp.165-204)とほぼ同じ内容である。また門別町で採録された松島トミ氏による類話が『北海道立アイヌ民族文化研究センター紀要第8号』で大谷洋一氏により報告されている。「狼の木彫りを持つ女を救った男のウエベケレ」。

2 不詳だが、アウレウヌ a=ureunu は、同じ話者が当館資料 (No.35299) でセタ アウレウヌ seta a=ureunu 「犬を私が連れて」という文脈で用いた例がある。ウレ ure (～の足)・ウヌ unu (～を～につける) で「について行く」か。

アオナハ イヨモンコッテ^B ワ
 a=onaha i=omonkotte wa
 (私の)父 (私を)大事にし て

父は私を大事にして

イヨマフ コロ オカアン アイネ
 i=yomap kor oka=an ayne
 (私を)かわいがり ながら 暮らす(私) うちに

がっていました。

タネ アコポロ ヒ オラノ
 tane a=koporo hi orano
 もう (私)大きくなる 時 から

もう少し私が成長して

15 アオナハ コロ ク シンナ
 a=onaha kor ku sinna
 (私の)父 の 弓 と別に

父の弓とは別に

ヤイカタ アコロ ク シンナ アカラ コロ
 yaykata a=kor ku sinna a=kar kor
 自分で (私)持つ 弓 別に (私)作る と

自分で弓を作るようになると

アオナハ クイエヘ アツカリ
 a=onaha kuyehe akkari
 (私の)父 の弓 以上に

かえって父の弓以上に

アコロ ク エウン ポ ヘネ ピリカ
 a=kor ku eun po hene pirka
 (私の)の 弓 に なおさら 良い

私の弓ではよく

カムイ オシマ カ キ コロ
 kamuy osma ka ki kor
 クマ 当たり も すると

クマがとれて

20 オラノ ポ ヘネ アオナハ
 orano po hene a=onaha
 こんど なおさら (私の)父

もう父は

エヤイコブンテク コロ
 eyaykopuntek kor
 喜び ながら

大喜びで

“アツ タクピ アコロ ペ、
 “ar_ takupi a=kor pe,
 一人 だけ (私)持つ 者

「たったひとりのわが子

シネプ タクプ アコロ ペ アポホ ネ ア プ、
 sinep takup a=kor pe a=poho ne a p,
 ひとつ だけ (私)持つ 者 (私の)息子 だっ た が

一粒種のわが子だったが

エネ カムイ チカシヌカラ”
 ene kamuy cikasnukar”
 このように 神から 授かり物をする

何という神からの授かり物だろう」

3 オモンコッテ【o-mon-kotte】大事にして仕事をさせない、過保護にする：ひとり娘やひとり息子を甘えさせる場合など。[萱]
 ／ iomonkotte 叱る。 Iomakur somo ~ [久 332]

25 セコロ アオナハ ハウエアン コロ
 sekor a=onaha hawean kor
 と (私の)父 言い ながら

と父は言っ

エアラキンネ イエヤイコブンテク コロ
 earkinne i=eyaykopuntek kor
 ほんとうに (私に)喜び ながら

本当に私をほめてくれて

オカアン ペ ネ ア イ クス オラ
 oka=an pe ne a _hi kusu ora
 暮らす(私) もの だった ので こんど

いました。そこで

“アオナハ ネイ パクノ トウラノ
 “a=onaha ney pakno turano
 (私の)父 いつ までも 一緒に

「父さん、いつまでも一緒に

エキムネアン ソモ キ ヤツカ
 ekimne=an somoki yakka
 山獵に行く(私達) しない でも

狩りに行かなくても

30 プイネ エキムネアン ヤツカ
 puyne ekimne=an yakka
 ひとりで 山獵に行く(私) しても

私ひとりで行っても

ピリカ クス
 pirka kusu
 いい ので

大丈夫だから

アオナハ アナクネ
 a=onaha anakne
 (私の)父 は

父さんは

テ ワノ チセ オツ タ アン ワ
 te wanocise or_ ta an wa
 これ から 家 の所 に い て

これからは家において

チセ タ チン…ウサ オカイ ペ サツケ ネ ヤ
 cise ta cin usa okay pe satke ne ya
 家 で 皮張り 色々 ある もの 干す だ とか

家で皮張りとか、肉を干すとか

35 ナ ネン ネン モンライケ ヤク ピリカ”
 na nen nen monrayke yak pirka”
 まだ いろ いろ 仕事する と いい

そういう仕事をしてください」

セコロ アイエ プ ネ クス
 sekor a=ye p ne kusu
 と (私)言う ものだ から

と言いました。

オラ アオナハ アナクネ エキムネ
 ora a=onaha anakne ekimne
 こんど (私の)父 は 山獵に行き

それで父は山獵には

カ ソモ キ ノ
 ka somo ki no
 も せず に

行かずに

プイネ エキムネアン コロ オラノ
 puyne ekimne=an kor orano
 ひとりで 山獵に行く(私) と それから

私ひとりで行って

40 トウツコ レレコ エキムネアン コロ
 tutko rerko ekimne=an kor
 2日 3日 山獵に行く(私) と

2、3日

キムン… エキムネアン コロ
 kim un... ekimne=an kor
 山 に 山獵に行く(私) と

山に狩りに行っては

オラ スイ トウツコ レレコ
 ora suy tutko rerko
 こんど また 2日 3日

また2、3日

ペトルン チェプコイキアン ネ ヤ
 pet or un cepkoyki=an ne ya
 川 の所 に 魚とりに行く(私) だ とか

川で魚をとったり

キ コロ アナン ペ ネ クス
 ki kor an=an pe ne kusu
 し て 暮らす(私) もの だ から

して暮らしたので

45 ネプ ネ ヤッカ アエシリキラプ カ
 nep ne yakka a=esirkirap ka
 何 で も (私)苦勞する も

私たちは何不自由なく

ソモ キ ノ オカアン ペ ネ ア プ
 somo ki no oka=an pe ne a p
 せず に 暮らす(私) もの だ っ た が

暮らしていました。

シネアンタ マク ネ ワ ネ ヤ⁴
 sineanta mak ne wa ne ya
 ある時 どう し て だ か

ある時、どうしたわけだか

イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ ヒネ
 Iskar_ turasi arpa=an rusuy hine
 石狩川 を遡って 行き(私) たく て

石狩川をさかのぼって行きたくなりました。

アラパアン カ アエラミシカリ プ ネ ア プ
 arpa=an ka a=eramiskari p ne a p
 行く(私) も (私)経験がない もの だ っ た が

行ったこともないのに

50 イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ
 Iskar_ turasi arpa=an rusuy
 石狩川 を遡って 行く(私) したい

石狩川を上って行きたく

ヒ クス オラ
 hi kusu ora
 ので こんど

なったので

4 唐突な行動に見えるが、アイヌの物語中で本人の意思に関係なく無性に何かをしたくなるという描写は何らかの神がそうさせているからで、そのいきさつは後に明らかになる。

イカヨブ タクプ アセ カネ ヒネ
 ikayop takup a=se kane hine
 矢筒 だけ (私)背負い も して

矢筒だけを背負って

チプオアン ヒネ
 cip'o=an hine
 舟に乗る(私) して

舟に乗って

チプ アエラリウ ヒネ アラパアン イネ
 cip a=erariw hine arpa=an _hine
 舟 (私)こい で 行く(私) して

舟をこいで行きました。

55 チェプ カ ポロンノ
 cep ka poronno
 魚 も たくさん

魚もたくさん

イシカン ネ クス オカ ヤツカ
 Iskar_ ne kusuoka yakka
 石狩川 だ から いる が

石狩川にはいるのですが

チェプ カ アライケ クニ カ
 cep ka a=rayke kuni ka
 魚 も (私)とろう と も

魚をとろうとも

アラム カ ソモ キ ノ
 a=ramu ka somo ki no
 (私)思う も せず に

思わずに

イシカツ トウラシ
 Iskar_ turasi
 石狩川 を遡って

石狩川をさかのぼって

60 ラリウアン ヒネ アラパアン アイネ
 rariw=an hine arpa=an ayne
 舟をこぐ(私) して 行く(私) うちに

舟をこいで行って行って

… アクス トオプ アラパアン コロ
 ... akusu toop arpa=an kor
 したところ ずっと 行く(私) と

ずっと遠くまで行ったところ

コタン アン ノイネ シラン ルウエ
 kotan an noyne siran ruwe
 村 ある らしい 様子がある こと

村があるらしい様子が

シエトクン アヌカラ。
 sietok un a=nukar.
 前方 に (私)見る

前のほうに道が見えました。

“ アプカサン カ エラミシカリ プ
 “ apkas=an ka eramiskari p
 歩く(私) も したことがない のに

「来たこともないし

65 ネア コタン アン ヒ カ
 nea kotan an hi ka
 あの 村 ある ことも

こんな村があることも

エラミシカリ。 イネアプ”
 eramiskari. ineap”
 知らない なんとまあ

知らなかったのに、どうしたことだろう」

セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 sekor yaynu=an hi kusu
 と 思う(私) ので

と思いました。そして

ネウン カ ネイ タ カ
 neun ka ney ta ka
 どこ か いつ か

いずれどこかで

シニアン ヘネ レウシアン ヘネ
 sini=an hene rewsu=an hene
 休む(私) でも 泊る(私) でも

休んだり泊まったり

70 キ ヤクン アエプ
 ki yakun aep
 し たら 食べ物

するのなら食料に

セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 sekor yaynu=an hi kusu
 と 思う(私) ので

と思ったので

チェプ トウプ レプ アライケ ヒネ
 cep tup rep a=rayke hine
 魚 2つ 3つ (私)とっ て

魚を2、3匹とって

チプ オロ アオマレ カネ ヒネ
 cip oro a=omare kane hine
 舟 の中 (私)入れる も して

舟に積んで

アラパアン ヒネ… クス
 arpa=an hine... kusu
 行く(私) して なので

いきました。

75 コタン アン ヒネ
 kotan an hine
 村 あっ て

村があって

ピリカ ペタル アニクス
 pirka petaru an _hi kusu
 良い 水くみ道 ある ので

川から村へ通じる良い道があったので

ネ ペタル タ チプヤンケアン ヒネ オラ
 ne petaru ta cipyanke=an hine ora
 その 水くみ道 に 舟をあげる(私) して こんど

そこに舟をあげて

ネア チェプ アシタプコモモ カネ ヒネ
 nea cep a=sitapakomomo kane hine
 その 魚 (私)肩にかけ も して

その魚を肩にひっかけて

コタントウラシアン ルウエ ネ。
 kotanturasi=an ruwe ne.
 村に沿って上手に行く(私) の です

村の上手に向かって歩いて行きました。

- 80 … ネ アクス
... ne akusu
だっ たところ
すると
- コタン ノシキ タ コタンコロクル
kotan noski ta kotankorkur
村 真ん中 に 村おさ
村の真ん中に、村おさの家
- ネ ノイネ ネ クニ アラム
ne noyne ne kuni a=ramu
である らしい だ と (私)思う
と思われる
- シポロ チセ アン ヒ クス
siporo cise an hi kusu
とても大きな 家 ある ので
とても大きな家がありました。
- ネ コタン ノシキ タ トモ ウンノ
ne kotan noski ta tomo unno
その 村 真ん中 に 向かって
そっちへ
- 85 アラパアン ルウエ ネ アクス… ヒネ
arpa=an ruwe ne akusu... hine
行く(私) こと だっ たところ して
行って
- インカラアン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
みると
- フシコノ アナクネ
huskono anakne
とても古いの は
(祭壇に)古いものは
- ユク サパ ネ ヤ
yuk sapa ne ya
獲物 頭 だ とか
獲物の頭骨や
- カムイ サパ ウン ニ⁵ ネ ヤ
kamuy sapa un ni ne ya
クマ 頭 置く 木 だ とか
クマの頭骨をのせた棒が
- 90 ポン ニタイ ネ アシ ワ⁶
pon nitay ne as wa
小さい 林 として 立っ て
小さい林のように立って
- アン ルウエ ネ… ネ コロカ
an ruwe ne... ne korka
いる の だ だ けれど
います

5 イヨマンテ iyomante (クマの霊送りの儀式)の際に、クマの頭骨を二股の木の先にのせ、家の東側の祭壇に立てる。これをこの地方ではユクサパウンニ yuk-sapa-un-ni (獲物・頭・入れる・木)という。

6 家の東側にヌサ nusa (祭壇)があって、儀式の際にまつられたイナウ inaw (木幣)やユクサパウンニ yuksapaunni (獲物の頭骨を収める木)が立ち並んでいる。獲物に恵まれ、儀式も盛んに行っていたので祭壇が「小さな林のように」なっているのだが、古いものばかりで新しいものがないということは、最近は何もしておらず儀式もしていない、つまり男手が機能していないことを表している。

アシンノ アナクネ ネプ カ
 asinno anakne nep ka
 真新しいの は 何 も

新しいものは何も

アシリ カムイ サパ カ ネプ カ
 asir kamuy sapa ka nep ka
 新しい クマ 頭 も 何 も

新しいクマの頭骨も何も

イサム ルウエ アオヤモクテ カ キ。
 isam ruwe a=oyamokte ka ki.
 ない こと (私)不思議に思う も する

ないのを不思議に思いました。

95 チセ ソイ カ エイタサ ピリカ ルウエ
 cise soy ka eytasa pirka ruwe
 家 外 も あまり 良い こと

家の外もあまりきれいでは

カ ソモ キ⁷ ルウエ アオヤモクテ コロ
 ka somoki ruwe a=oyamokte kor
 も ない こと (私)不思議に思い ながら

ないのを不思議に思いながら

チセ ソイ タ アラパアン ヒネ
 cise soy ta arpa=an hine
 家 外 に 行く(私) して

家の外まで行って

シムシシカアン⁸ ルウエ ネ アクス
 simusiska=an ruwe ne akusu
 咳払いをする(私) こと だっ たところ

咳払いをしました。すると

オロ タ タネ スクパ ピリカ ルプネマツ
 oro ta tane sukup pirka rupnemat
 そこ に もう 年とった 美しい 年配の女性

そこに年配の美しい女性が

100 ソイエネ ヒネ イヌカラ オラ
 soyene hine i=nukar ora
 外に出 て (私)を見る こんど

出て来て、私を見た

アヌカレ クニ… ルウエ ネ ヤツカ⁹
 a=nukare kuni... ruwe ne yakka
 (私)見せる と こと で も

のですが

ネプ カ エシリキラッ ペ ネ ノイネ
 nep ka esirkirap pe ne noyne
 何 か で苦労する もの である らしく

何か心配事があるようで

シクラブ エムコ コオトウクットウクツケ¹⁰ カネ アン
 sikrap emko kootukuttukutke kane an
 まつ毛 半分 埋まっ て いる

まつ毛の半分が埋まるほどまぶたがはれた

7 女性も働いていないことを表している。理由は以下の記述に。

8 来訪を告げる合図で、現在のノックか「ごめんください」にあたるもの。

9 この行は直訳すると「私は女性に『自分の姿』を見せよう…なのですが」のようになるが、言いかけてやめたもので、前の行から「イヌカラ ルウエ ネ ヤツカ i=nukar ruwe ne yakka (私を見たのですが)」と続く解釈した。

10 コオトウクツケ ko-otukutke 埋まる。[萱] と言おうとしたか

- ルプネマツ ソイネ ヒネ
rupnemat soyne hine
年配の女性 外に出 て
- 年配の女性が外に出て来て
- 105 イヌカラ ヒネ オラ スイ アフン ヒネ
i=nukar hine ora suy ahun hine
(私を)見 て こんど また 入っ て
- 私を見てまた家に入り
- “ソイ タ シケトクワ¹¹ アエラミシカリ
“soy ta siketokwa a=eramiskari
外 に 見覚えが (私)全くない
- 「外に見たこともない
- オッカヨ アン ルウェ ネ”
okkayo an ruwe ne”
男性 いる の です
- 男性がいます」
- セコロ ハウエアン… ハウエアサクス
sekor hawean... haweas akusu
と 言う 声が聞こえ たところ
- と言う声がしました。すると
- “ネノ オカアン カトウ ウエン ヤツカ
“nenoka=an katu wen yakka
こんな 暮らす(私) 有様 悪く ても
- 「このように暮らしぶりは悪いが
- 110 ソイ タ エク クル ネ ヤクン アフンケ”
soy ta ek kur ne yakun ahunke”
外 に 来る 人 だ ったら 入れろ
- 外に来た人ならばお入れしなさい」
- セコロ ハワシ ハウエ アサクス オラ
sekor hawas hawe as akusu ora
と 言う 声 し たところ こんど
- と言っているのが聞こえました。
- イアフンケ クス イェ ヒ クス
i=ahunke kusu ye hi kusu
(私を)入れる と 言う ので
- 私を入れるように言われて
- スイ ソイエネ ヒネ
suy soyene hine
また 外に出る して
- (また女性が外に出て来て)
- ムンヌパ ソ アヌ フム アシ ア プ オラ
munnupa so anu hum as a p ora
掃除をする ゴザ を敷く 音 し た が こんど
- 掃除やゴザを敷く音がしていましたが
- 115 ソイエネ ヒネ
soyene hine
外に出る して
- 外に出て来て
- イアフンケ クス イェ クス
i=ahunke kusu ye kusu
(私を)入れる と 言う ので
- 私に入るように言うので

11 シケトクナワ siketoknawa と言おうとしたのだろう。

オリパカン ヒネ
oripak=an hine
遠慮をする(私) して

かしこまって

アフナン ルウエ ネ アクス… ヒネ…
ahun=an ruwe ne akusu... hine...
家に入る(私) こと だっ たところ して

家に入ると

アクス オンネクル カ アン。
akusu onnekur ka an.
すると 老紳士 も いる

老人がいました。

120 シノ ニシパ ネ ルウエ
sino nispa ne ruwe
本当の 長者 である こと

その真の長者ぶりに

アオクンヌレ カ キ コロ
a=okunnure ka ki kor
(私)ひどく驚く も し ながら

気おされながら

イシクレイエパレアン¹² コロ インカラアン。
isikreyepare=an kor inkar=an.
目をはわせる(私) て 見る(私)

遠慮がちに目をはわせ

チセ オンナイ カ アヌカラ カ イキ コロ
cise onnay ka a=nukar ka iki kor
家 の中 も (私)を見る も し て

家の中も見て

アナン ルウエ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) の だっ た が

いると

125 ネ オンネクル イエランカラプ。
ne onnekur i=erankarap.
その 老紳士 (私に)挨拶をする

その老人は私に挨拶をしました。

アエランカラプ カ キ ルウエ ネ イネ
a=erankarap ka ki ruwe ne hine
(私)挨拶をする も する の であっ て

私も挨拶を返しました。

オンネクル カ ネプ カ エシリキラッ ペ
onnekur ka nep ka esirkirap pe
老紳士 も 何 か 苦労する もの

老人も何か悩み事が

ネ ノイネ オカ ルウエ アオヤモクテ コロ
ne noyne oka ruwe a=oyamokte kor
である らしく いる こと (私)不思議に思っ て

ある様子で、私は怪訝に思って

アナン ルウエ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) の だっ た が

いました。

12 家の中をジロジロ見回すのは無作法とされているので、遠慮をして伏し目がちに目を這わせたという表現。

- 130 タネ シットケシ カ キ プ ネ クス…
tane sittokes ka ki p ne kus…
もう 日が暮れる も する ものだ から
もう日が暮れる
- ヒ クス
hi kusu
ので
ので
- ネ アコロ ワ… ネア チェプ アサンケ ヒネ
ne a=kor wa... nea cep a=sanke hine
その (私)の 例の 魚 (私)出し て
持って来た例の魚を出して
- ネ ルプネマツ ウン
ne rupnemat un
あの 年配の女性 に
その年配の女性に
- “ スパ ワ イコレ ヤク ピリカ ”
“ supa wa i=kore yak pirka ”
料理し て (私)にくれ たら いい
「料理してください」
- 135 セコロ ハウエアナン コロ アサンケ
sekor hawean=an kor a=sanke
と 言う(私) ながら (私)出す
と言って出したところ
- ルウエ ネ アクス ネア ルプネマツ
ruwe ne akusu nea rupnemat
の だっ たところ あの 年配の女性
その年配の女性は
- ヤシケ ア ヤシケ ア
yaske a yaske a
何度も手も洗う
手をよく洗い
- エウオンネ ア エウオンネ ア ヒネ
ewonne a ewonne a hine
何度も顔を洗っ て
顔をよく洗って
- ネア チェプ スパ ルウエ ネ ヒネ
nea cep supa ruwe ne hine
あの 魚 煮る の です そして
その魚を料理しました。
- 140 スケ オカ アン ワ
suke oka an wa
煮る 後 になっ て
料理が終わって
- イペアン クス ネ アクス
ipe=an kusu ne akusu
食事をし(私) ようと したところ
食事しようとしたところ
- ネア オンネクル エネ ハウエアニ。
nea onnekur ene hawean _hi.
あの 老紳士 このように言った
その老人はこう言いました。
- (話は少し戻る)¹³

13 以下のくだりを言い忘れたので少し話を戻したもの。この前にも言い忘れて話を少し戻した箇所が複数ある。

コロ インカラン ルウェ ネ アクス
 kor inkar=an ruwe ne akusu
 ながら 見る(私) の だっ たところ

見ると

チセ オンナイ タ アシッ… ペウレ トウンブ
 cise onnay ta asir... pewre tumpu
 家 の中 に 新しい 若い 寝床

家の中に新しい若夫婦の寝床が

145 アン ルウェ アオヤモクテ コロ
 an ruwe a=oyamokte kor
 ある こと (私)不思議に思っ て

あるのを不思議に思って

アナン ルウェ ネ ア プ
 an=an ruwe ne a p
 いる(私) の だっ た が

いたのですが

ネア オンネクル
 nea onnekur
 あの 老紳士

その老人が

“アポホ ホプニ ワ… ホプニ”
 “a=poho hopuni wa... hopuni”
 (私の)息子 起き て 起きろ

「息子よ、起きなさい」

セコロ
 sekor
 と

と

150 “ウタシパ ペウレ オッカヨ
 “ utaspa pewre okkayo
 お互い 若い 男性

「若者同士

ウコイタク ヤク ピリカ ナ、ホプニ”
 ukoytak yak pirka na, hopuni”
 互いに話す と いい よ 起きろ

話をしたらいい。起きなさい」

セコロ ハウエアン ルウェ ネ アクス オラ
 sekor hawean ruwe ne akusu ora
 と 言う こと だっ たところ こんど

と言ったところ

ネ アシッ トウンブ オロ ワ ネ… オッカヨ
 ne asir_ tumpu oro wa ne... okkayo
 あの 新しい 寝床 の所 から その 男性

その新しい寝床から男性

ピリカ ワ オケレ オッカヨ¹⁴ エク イネ
 pirka wa okere okkayo ek _hine
 それはそれは美しい 男性 来 て

とても美しい男性が出てきて

155 アペサム タ ア ヒネ イエランカラブ。
 apesam ta a hine i=erankarap.
 炉端 に 座っ て (私に)挨拶をする

炉端に座って私に挨拶をし

14 この家は男手がないのではなく、若い男性がいたのであった。にも関わらず男の仕事は何もしていないということは、この男性の身の上になんかが起きていると推察される。

アエランカラブ カ アキ ルウエ ネ
 a=erankarap ka a=ki ruwe ne
 (私)挨拶をする も (私)する の です

私も挨拶を返しました。

ヒネ オラ イペ カ キ ヒネ
 hine ora ipe ka ki hine
 そして こんど 食事 も し て

そして皆も食事をし

イペアン オカ アン イネ
 ipe=an oka an _hine
 食事を(私)の後 になっ て

私も食事をした後に

ウウエネウサラアン クニネ イケ カ
 uwenewsar=an kunine _hike ka
 よもやま話をする(私) しよう に も

皆でよもやま話をしようとしても

160 エイタサ アイエ ア イタク タサ イタク
 eytasa a=ye a itak tasa itak
 あまり (私)言っ た 言葉 返す 言葉

男性はあまり私の話に返事を

カ ソモ キ ノ アン アイネ オラ
 ka somoki no an ayne ora
 も しない で いる あげく こんど

することもなくて

スイ ナニ ネア トウンブ オロ
 suy nani nea tumpu oro
 また すぐに あの 寝床 に

またすぐにあの寝床に

アフン シリ イキ…
 ahun siri iki…
 入る 様子 する

アフン ヒ クス オラ
 ahun hi kusu ora
 入る ので こんど

入ってしまったので

165 ネ オンネクツ トウラノ ウウエネウサラアン
 ne onnekur_ turano uwenewsar=an
 あの 老紳士 と一緒に よもやま話をする(私)

老人とよもやま話を

コロ アナン アイネ
 kor an=an ayne
 ながら いる(私) うちに

して、やがて

ネ オンネクル カ ホツケ ヒ クス
 ne onnekur ka hotke hi kusu
 あの 老紳士 も 寝る ので

その老人も眠ったので

ヤイカタ カ ホツケアン…
 yaykata ka hotke=an…
 自分 も 寝る(私)

私も眠ろうと

アペサム タ ホツケアン ルウエ ネ ア プ
 apesam ta hotke=an ruwe ne a p
 炉端 で 寝る(私) こと だっ た が

炉端で横になったのですが

170 モコロ カ アコヤイクス コロ アナナイネ
 mokor ka a=koyaykus kor an=an ayne
 寝る も (私)できない で いる(私) したあげく

眠れないでいました。

タネ シットウムペケレ エハンケ アクス
 tane sittumupeker ehanke akusu
 もう 夜明け に近くなっ たところ

やがて夜明けが近くなると

オラノ ネ イシカツ トウラシ アラパアン ルスイ
 orano ne Iskar_ turasi arpa=an rusuy
 それから あの 石狩川 をさかのぼって 行く(私) したい

石狩川をさかのぼって行ってみたくになりました。

シレラミシカリ カ アン ペ
 sireramiskari ka an pe
 行ったことのない も ある もの

行ったこともないのに

ヒナク ウン エネ アラパアン ルスイ ヒ アン
 hinak un ene arpa=an rusuy hi an
 どこ に このように 行く(私) したい の だなあ

私はどこに行きたいというのだろう

175 セコロ ヤイヌアン コロ ネ コロカ エネ…
 sekor yaynu=an kor ne korka ene…
 と 思う(私) ながら だ けれど このように

と思いましたが

ネウン ネ ヤッカ アラパアン ルスイ ヒ クス
 neun ne yakka arpa=an rusuy hi kusu
 どう で も 行く(私) したい ので

どうしても行ってみたいので

ナニナニ ペットウラシ
 naninani petturasi
 すぐに 川をさかのぼる

すぐにそのまま川上のほうへ

イカヨブ タクブ アセ カネ ヒネ
 ikayop takup a=se kane hine
 矢筒 だけ (私)背負う も して

矢筒だけを背負って

ネ ペツ トウラシ アラパアン ヒネ… アクス
 ne pet turasi arpa=an hine... akusu
 その 川 をさかのぼって 行く(私) して したところ

その川をさかのぼって

180 ペテトク タ アラパアン ルウェ ネ アクス
 petetok ta arpa=an ruwe ne akusu
 川の上流 に 行く(私) こと だっ たところ

川のずっと奥へと行ったところ

ネ ペトルン ピリカ ポロ ナイ
 ne pet or un pirka poro nay
 その 川 の所 に 美しい 大きい 川

その川にきれいな大きい沢が

サン コロ アン イケ オラ
 san kor an _hike ora
 出 て いる が こんど

流れ込んでいて

ペットウラシ ソモ アラパアン ノ…
 petturasi somo arpa=an no…
 川をさかのぼら ず 行く(私) して

(今までの)川をさかのぼらずに

ソモ キ ノ
somo ki no
せず に

185 ネ ナイ トウラシ アラパアン ルスイ。
ne nay turasi arpa=an rusuy.
その 川 をさかのぼって 行く(私) したい

沢をさかのぼってみたくりました。

もう ピリカ ポロ ナイ ネ プ ネ クス
もう pirka poro nay ne p ne kusu
美しい 大きい 川 な の だ から

きれいな大きい沢なので

ピタラ ネ ヤツカ
pitar ne yakka
河原 で も

河原も

ピリカ ピタラ カ アン ヒネ オラ
pirka pitar ka an hine ora
良い 河原 も あっ て こんど

きれいな河原があつて

ナニ ネ ナイ トウラシ アラパアン ヒネ
nani ne nay turasi arpa=an hine
すぐに その 川 をさかのぼって 行く(私) して

すぐにその沢をさかのぼって

190 ナイ エトク タ アラパアン ルウエ ネ アクス
nay etok ta arpa=an ruwe ne akusu
川 の上流 に 行く(私) こと だっ たところ

沢の水源まで行って

インカラアン アクス
inkar=an akusu
見る(私) したところ

みると

ネ ナイ エトク タ
ne nay etok ta
その 川 の先 に

その沢の水源の

パラ… パラコツ オツ タ
para... parakot or_ ta
広い 広い窪地 の所 に

広い窪地に

チセ アン シリ イキ
cise an siri iki
家 ある 様子 する

家が建っていました。

195 エネ アン ウシケ タ チセ アン クニ
ene an uske ta cise an kuni
こんな 場所 に 家 ある と

このような場所に家があるとは

アラム カ ソモ キ ノ アン ウシケ タ
a=ramu ka somo ki no an uske ta
(私)思い も せず に ある 場所 に

思いもよらない場所に

チセ アシ ワ アン。
cise as wa an.
家 建っ て いる

家が建っていました。

ピリカ ポン チセ
 pirka pon cise
 良い 小さい 家

きれいな小さい家が

アシ ワ アン ルウエ ネ ワ
 as wa an ruwe ne wa
 建っ て いる の であっ て

建っていて

200 ネン カ アイヌ アン ルウエ ネ クニ
 nen ka aynu an ruwe ne kuni
 誰 か 人 いる の だ と

誰か人がいるだろうと

アラム カ キ コロ
 a=ramu ka ki kor
 (私)思い も し ながら

思いながら

ナニナニ アラパアン イネ
 naninani arpa=an _hine
 すぐに 行く(私) して

すぐにそのまま行って

パラコツ トウラシ
 parakot turasi
 広い窪地 に沿って上手へ

広い窪地を進んで

アラパアン ルウエ ネ アクス
 arpa=an ruwe ne akusu
 行く(私) の だっ たところ

行くと

205 ネ チセ オロ ワ ワッカタ オカ カ アン。
 ne cise oro wa wakkata oka ka an.
 その 家 の所 から 水くみした 跡 も ある

その家から沢へ水くみに出た跡がありました。

オラ ネ ワッカ アタ ウシケ…
 ora ne wakka a=ta uske…
 こんど その 水 (人)くむ 場所

そしてその水くみ場

ネ ウシケ タ
 ne uske ta
 その 場所 に

の所に

ピリカ ポン ヌタプ アン ヒケ
 pirka pon nutap an hike
 良い 小さい 野原 ある のに

きれいな小さい野原があるのに

オラ ネ ポン ヌタプ オツ タ
 ora ne pon nutap or_ ta
 こんど その 小さい 野原 の所 に

その小さい野原に

210 セタ ル シッチニナニナ ルウエ¹⁵
 seta ru sitcininanina ruwe
 犬 道 踏み荒らす 跡

犬が踏み荒らしたような跡があつて

15 シッチニナニナ sir-ci-nina-nina あたりをごちゃごちゃにする [萱]

アオヤモクテ カ…
a=oyamokte ka…
(私)不思議に思い も

不思議に思いました。

セタ アン ペ ネ ヤクン
seta an pe ne yakun
犬 いる の だっ たら

犬がいるのなら

イエミク カ キ ナンコロ ペ
i=emik ka ki nankor pe
(私に)吠える も する だろう が

私に吠えるだろうに

セタ イエミク カ ソモ キ コロ
seta i=emik ka somo ki kor
犬 (私に)吠える も しない と

犬に吠えられることもありません。

215 エケシンネ⁽¹⁶⁾ シルワンテアン カ
ekesinne siruwante=an ka
方々を 見渡す(私) も

あたりを見渡す

キ コ… アクス
ki ko… akusu
し たところ

と

チセ ソイ タ ポン テンネプ
cise soy ta pon tennep
家 の外 に 小さい 赤ん坊

家の外で赤ん坊が

テツテレケ⁽¹⁷⁾ コロ シノツ コロ アン シリ
tetterke kor sinot kor an siri
よちよち歩き ながら 遊ん で いる 様子

よちよち歩いて遊んでいる様子が

シエトクン アヌカラ コロ
sietok un a=nukar kor
前方 に (私)見る ながら

目の前に見えました。

220 アラパアン ルウエ ネ アクス
arpa=an ruwe ne akusu
行く(私) の だっ たところ

私が行くと

ネ テンネプ イヌカラ アクス
ne tennep i=nukar akusu
その 赤ん坊 (私を)見 たところ

その赤ん坊は私を見て

チセ オンナイ アフン シリ イキ。
cise onnay ahun siri iki.
家 の中 入る 様子 する

家の中に入っていききました。

ナニ アラパアン ヒネ
nani arpa=an hine
すぐ 行く(私) して

すぐに私は

16 エケシンネ シルワンテ ekeshinne siruwante 方々に目を配って見る [久 180]

17 テツテレケ tetterke 赤ん坊がヨチヨチ歩く(跳ぶような走るような歩き方なのでこう言う)。[田]

チセ ソイ タ アラパアン ヒネ
cise soy ta arpa=an hine
家 の外 に 行く(私) して

家の前に行って

225 シムシシカアン カ キ ヒネ
simusiska=an ka ki hine
咳払いをする(私) も し て

咳払いをして

オラ アフナン ルウエ ネ アクス
ora ahun=an ruwe ne akusu
こんど 入る(私) こと だっ たところ

家に入ると

チセ オンナイ タ オシソウン ネ クニ
cise onnay ta osisoun ne kuni
家 の中 に 右座 だ と

家の中の右座のほうと

アラム ウシケ タ
a=ramu uske ta
(私)思う 場所 に

思う場所に

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ ネ ヤ
pirka wa okere pon menoko ne ya
それはそれは美しい 若い 女性 だ か

大変美しい若い女性が

230 パシ テツテレケ コロ アン ア ポイソン
pas tetterke kor an a poyson
走る よちよち歩き ながら い た 子供

よちよち歩いていた子供を

テムニコロ タ キシマ カネ アン ヒネ
temnikor ta kisma kane an hine
腕の中の に つかみ ながら い て

腕に抱きながら

チシ コロ アン ヒ クス
cis kor an hi kusu
泣き ながら いる ので

泣いていました。

オロ タ アフナン ヒネ… アエランカラブ
oro ta ahun=an hine... a=erankarap
そこ に 入る(私) して (私)挨拶をする

そこに私が入って挨拶すると

アクス イエランカラブ カ キ ヒネ
akusu i=erankarap ka ki hine
すると (私に)挨拶し も し て

私に挨拶をしつつも

235 オラ チシ コロ アン ヒネ オラ
ora cis kor an hine ora
こんど 泣い て い て こんど

泣いていて

オトピ ウコウサライエ ワ インカラン
otopi ukousaraye wa inkar=an
髪 一緒に分け て 見る(私)

髪をかき分けた拍子に顔が見えました。

アヌカン ルウエ
a=nukar_ruwe
(私)見る こと

見ると

ソンノ ピリカ ワ オケレ
 sonno pirka wa okere
 本当に それはそれは美しい

それはそれは美しい

オアラ ポン スクプ メノコ
 oar pon sukup menoko
 全く 若い 大人の 女性

若い大人の女性

240 ネ ヒネ… アン ルウエ ネ ヒネ
 ne hine... an ruwe ne hine
 であって いる こと であって

でした。

エアラキンネ アオクンヌレ カ キ ヒ クス
 earkinne a=okunnure ka ki hi kusu
 本当に (私)驚き も する ので

本当に驚きました。

オラ アコロ イカヨプ オロ ワ
 ora a=kor ikayop oro wa
 こんど (私)の 矢筒 の所 から

そして私は矢筒から

アエプ アサンケ ヒネ
 aep a=sanke hine
 食べ物 (私)出し て

食料を出して

“エ… スパ ワ
 “e... supa wa
 あなた 煮る よ

「料理して下さい。

245 マク ネ ヒネ エネ エアン ルウエ アン?
 mak ne hine ene e=an ruwe an?
 どう し て このように (お前)いる の か

一体どうしてあなたはここにいるのですか？

トウミ サウオツ ペ カ オカ
 tumi sawot pe ka oka
 戦い から逃げる 者 も いる

世の中には戦火から逃れる者もいれば

ケム サウオツ ペ カ オカイ ペ ネ イケ¹⁸
 kem sawot pe ka okay pe ne_hike
 飢饉 から逃げる 者 も いる もの だ が

飢饉から逃れる者もいますが

トウミ サウオツ ヘ
 tumi sawot he
 戦い から逃げる か

あなたは戦争か

ケム サウオツ ヘ ネプ ヘ エキ ワ
 kem sawot he nep he e=ki wa
 飢饉 から逃げる か 何 か (お前)し て

飢饉か

250 ヘマンタ エエイケスイ ヘ キ ヒネ
 hemanta e=eikesuy he ki hine
 何 (お前)逃げる か し て

何から逃れて

18 おもに散文説話中で相手の素情を確かめる時に出て来る常套表現。

エネ エアン ルウェ アン?"
ene e=an ruwe an?"
このように (お前)いる の か

ここでこうしているのですか？」

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら

と言って

アエプ アサンケ ヒネ… クス オラ
aep a=sanke hine... kusu ora
食べ物 (私)出し て ので こんど

私が食料を出すと

ヤシケ ア ヤシケ ア
yaske a yaske a
何度も手を洗う

女性は手をよく洗い

255 エウオンネ ア エウオンネ ア ヒネ
ewonne a ewonne a hine
何度も顔を洗っ て

顔をよく洗って

スパ ヒネ
supa hine
炊事し て

料理をして

イイペレ ヒ イコイプニ ワ
i=ipere hi i=koypuni wa
(私に)食べさせる こと (私に)出し て

私に出してくれたので

イペアン カ キ ヒネ オラ
ipe=an ka ki hine ora
食事する(私) も し て こんど

食事をしました。

ヤイカタ カ イペ ヤク ピリカ
yaykata ka ipe yak pirka
自分 も 食事すると いい

自分でもお食べなさい

260 セコロ アイエ アクス
sekor a=ye akusu
と (私)言っ たところ

と言うと

ヤイカタ カ イペ、
yaykata ka ipe,
自分 も 食事する

女性も

チシ コロ ネ コロカ イペ カ キ、
cis kor ne korka ipe ka ki,
泣き ながら だ が 食事 も し

涙ながらに食事をして

ネ ポイソン カ イペレ カ キ
ne poyson ka ipere ka ki
その 子供 も 食べさせ も する

その子供にも食べさせました。

ヒネ オラ
hine ora
そして こんど

そして

265 “マク ネ ヒネ エネ アン ルウエ ネ ヤ?”
 “mak ne hine ene an ruwe ne ya?”
 どう し て このように いる の ですか

「一体どうしてこうしているのですか？」

セコロ スイ アコウウエペケンヌ
 sekor suy a=kouwepekennu
 と また (私)尋ねる

と私はもう一度尋ねました。

ルウエ ネ アクス オラ
 ruwe ne akusu ora
 こと だっ たところ こんど

すると

チシ コロ ネ コロカ エネ ハウエアニ。
 cis kor ne korka ene hawean _hi.
 泣き ながら だ けれど こう 言った

涙ながらに話したことはこうでした。

“アユピ、
 “a=yupi,
 (私の)兄

「兄さんが

270 ポン アユピ ポロ アユピ アン ヒネ
 pon a=yupi poro a=yupi an hine
 小さい (私の)兄 大きい (私の)兄 い て

2人いて

イシカラ タ アナン ペ ネ ア プ
 Iskar ta an=an pe ne a p
 石狩 で 暮らす(私)者 だっ た が

石狩で暮らしていたのですが

イシカラ エムコ ウン ニシパ オロ ワ
 Iskar emko un nispa oro wa
 石狩川 の上流 の 長者 の所 から

石狩の上流¹⁹の裕福な人のところに

アイエトウン ヒネ オラ エカン ヒネ
 a=i=etun hine ora ek=an hine
 (人が私を)娶っ て こんど 来る(私) して

嫁にもらわれていって

アナン ルウエ ネ ア プ、
 an=an ruwe ne a p,
 暮らす(私)の だっ た が

暮らしていました。

275 エアラキンネ アシウト ニシパ ネ ヤツカ
 earkinne a=siwto nispa ne yakka
 本当に (私の)義父 さん で も

本当に義父も

アウナラペ シウト ネ ヤツカ
 a=unarpe siwto ne yakka
 (私の)義母 で も

義母も

イエヤム ネ ヤ… ワ
 i=eyam ne ya... wa
 (私を)大切にす だ とか して

私を大切に

19 後にこの村は「石狩川の中流」にあると語られている。ホントモ hontomo (～の中流) と言い間違えたものか、または「主人公の村から見て上流」という意味で言ったものか。

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somoki no
 何 (私)苦勞する も せず に

何不自由なく

アエコテ ニシパ ネ ヤツカ イ… ヤツカ
 a=_hekote nispa ne yakka i... yakka
 (私の)連れ添う 旦那さん で も

主人も

280 イエヤム ネ ヤ
 i=eyam ne ya
 (私を)大切にする だ とか

私を大切にしてください

ナ ネン ネン ネ クス
 na nen nen ne kusu
 まだ いる いる だ から

何ごとにも

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somoki no
 何 (私)苦勞し も せず に

不自由なく

アナン ペ ネ コロカ
 an=an pe ne korka
 暮らす(私) もの だ けれど

暮らしていましたが

オラ ケシト アン コロ
 ora kesto an kor
 こんど 毎日毎日

毎日毎日

285 ネプ カ アカラ カ ソモ キ ヤク
 nep ka a=kar ka somoki yak
 何 も (私)し も しない と

何もしないのも

ウェン セコロ ヤイヌアン ペ ネ クス
 wen sekor yaynu=an pe ne kusu
 悪い と 思う(私) もの だ から

悪いと思ったので

ニナコエキムネアン ランケ コロ
 ninakoekimne=an ranke kor
 薪とりに山へ行く(私) 何度も ながら

いつも薪とりに山へ行っていました

アナン ラポッケ
 an=an rapokke
 暮らす(私) うちに

いました。そのうちに

ホンコロアン カ キ ワ
 honkor=an ka ki wa
 妊娠する(私) も し て

子を身ごもったので

290 ポ ヘネ アイコオマプ。
 po hene a=i=koomap.
 なおさら (人が私を)かわいがる

なおさら私はかわいがられました。

アシウト ネ ヤツカ
 a=siwto ne yakka
 (私の)義父 で も

義父も

アコン ニシパ ネ ヤツカ
a=kor_ nispa ne yakka
(私)の 夫 で も

主人も

イヨマフ コロ オカアン ペ ネ ア フ、
i=yomap kor oka=an pe ne a p,
(私を)かわいがって 暮らす(私) もの だっ た が

私をかわいがってくれていたのですが

ニナアン パテク キ コロ
nina=an patek ki kor
薪をとる(私) ばかり し て

薪とりだけは私がして

295 アナン ペ ネ ア フ
an=an pe ne a p
暮らす(私) もの だっ た が

いました。

シネアンタ
sineanta
ある時

ある時

アシウト ニシパ エネ ハウエアニ。
a=siwto nispa ene hawean _hi.
(私)の義父 さん このように言った

義父がこのように言いました。

アコン ニシパ カ
a=kor_ nispa ka
(私)の 夫 も

主人も

エキムネ ワ イサム クス オカケ タ
ekimne wa isam kusu okake ta
山獺に行っ て しまう ので その後 で

山に行っていなくなった後で

300 アコシマチ エネ ワ ケシト アン コロ
'a=kosmaci e=ne wa kesto an kor
(私)の嫁 (お前)であっ て 毎日毎日

『嫁よ。毎日毎日

エニナ コロ パテク アン クス
e=nina kor patek an kusu
(お前)薪とっ て ばかり いる ので

薪とりばかりしているので

エニナ ウシ アエパカシヌ クス ネ ナ。
e=nina usi a=epakasnu kusu ne na.
(お前)薪とり する所 (私)教える つもり だ よ

薪とりをする場所を教えてあげよう。

エキムネアン ナ
ekimne=an na'
山に行く(私たち) よ

山に行こう』

セコロ ハウエアニ コロ
sekor hawean kor
と 言う ながら

と言って

305 イシレン ヒ クス アトウラ ヒネ
i=siren hi kusu a=tura hine
(私を)誘う ので (私)つい て

私を誘うので、ついて

エキムネアン ルウエ ネ アクス
 ekimne=an ruwe ne akusu
 山に行く(私たち) こと だっ たところ

山に行くこと

オラ ネ オロ ネ ヒ カ
 ora ne oro ne hi ka
 こんど どの 場所 な の か

どこだか

アエランペウテク ウシケ ペカ
 a=erampewtek uske peka
 (私)わからない 場所 に

わからない場所に

イトウラ ヒネ アラキアン ヒネ
 i=tura hine arki=an hine
 (私を)連れ て 来る(私) して

連れられて来て

310 テ タ ネ アラキアン ルウエ ネ ア プ
 te ta ne arki=an ruwe ne a p
 ここ に 来る(私) の だっ た が

ここに来たのですが

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った

義父はこのように言いました。

ニナ ウシ ピリカ ウシ
 'nina usi pirka usi
 薪とり するに 良い 場所

『薪とりにいい場所を

アヌカラ ワ エカン クス ネ ナ。
 a=nukar wa ek=an kus ne na.
 (私)見 て 来る(私) つもり だ よ

見て来よう。

テ タ シニ ワ アン
 te ta sini wa an'
 ここで 休ん で いる

ここで休んでいなさい』

315 セコロ ハウエアアン コロ ソイエネ ア プ
 sekor hawean kor soyene a p
 と 言っ て 出かけ た が

と言って外に出ていったのに

オラノ エク ルウエ カ イサム オラノ
 orano ek ruwe ka isam orano
 それから 来る こと も ない こんど

帰って来ませんでした。

アエキマテク ワ オラノ
 a=ekimatek wa orano
 (私)に驚い て こんど

私は驚いて

ソイ タ ソイエネアン ワ オラノ
 soy ta soyene=an wa orano
 外 に 出る(私) して こんど

外に出て

- アアチャ アアチャ⁽²⁰⁾ セコロ ハウエアナン コロ
 'a=aca a=aca' sekor hawean=an kor 『お義父さん、お義父さん』と言って
 (私の)おじさん (私の)おじさん と 言う(私) ながら
- 320 ライパラパラカン コロ ホトウイパアン
 rayparaparak=an kor hotuypa=an さんざん泣き叫んでも
 ひどく大泣きする(私) ながら 呼ぶ(私)
- ヤッカ ネプ ハウ カ イサム。
 yakka nep haw ka isam. 何の声もしません。
 しても 何 声 も ない
- オラノ ホシピアン クニ カ
 orano hosipi=an kuni ka 帰ろうにも
 それから 帰る(私) しよう も
- ネオロ ネ ヒ カ アエランペウテク ノ
 neoro ne hi ka a=erampewtek no そこがどこかもわからずに
 どこ な の か (私)わからない で
- エネ アナン ルウエ ネ ア プ
 ene an=an ruwe ne a p こうしてここで暮らしているのです。
 このように 暮らす(私) こと だった が
- 325 オラノ マク カネ ヒネ
 orano mak kane hine そしてどうしたことか
 それから どう か して
- シリクンネ
 sirkunne 夜
 夜
- モコロ ウタラ オカアン ラポク
 mokor utar oka=an rapok 人が寝静まるころに
 眠る 人たち いる(人) あいだ
- ネ クニ アラム コロ オラノ
 ne kuni a=ramu kor orano になると
 だ と (私)思う と それから
- オキムネ キムンペ ハウ ペレレケ⁽²¹⁾ コロ
 okimne kimunpe haw pererke kor 山からクマの音が闇を裂いて
 山から クマ 声 破れ ながら
- 330 サン コロ オラノ
 san kor orano おりて来て
 下る と こんど
- ネ ペレレケ ハウ キムンペ ハウ
 ne pererke haw kimunpe haw その破れる 声 クマ 声

20 義父をシウト アチャポ siwto acapo という場合がある。ここでは呼びかけとして短く表現したものか。

21 ペレレケ pererke ビリビリと裂ける [久 672]、ペレケ perke 破れる、割れる [田]、ハウカンペレレセ hawkanpererse 声が割れるようになる (意味未詳) [奥]

チュコカリカリ²² コロ アナン ペ ネ ア プ
 cukokarikari kor an=an pe ne a p
 くるくる巻き ながら いる(私) もの だっ た が

とどろいていたのに

オラ マッ カネ ヒネ
 ora mak kane hine
 こんど どう した ことか

どうしたことが

セタ カ イサム ペ オラ
 seta ka isam pe ora
 犬 も いない のに こんど

犬も飼っていないのに

335 エクシコンナ セタ ソヨシマ ワ
 ekuskonna seta soyosma wa
 突然 犬 外に飛び出し て

突然犬が外に飛び出して

オラノ シネ セタ ハウ キムンペ ハウ
 orano sine seta haw kimunpe haw
 それから 一匹 犬 声 クマ 声

一匹の犬の声とクマの声が

チュコカリカリ コロ
 cukokarikari kor
 くるくると巻き ながら

からみあって

ケサンチカラ アン コロ
 kes ancikar an kor
 毎 晩 になる と

毎日夜になると

セタ ハウ キムンペ ハウ
 seta haw kimunpe haw
 犬 声 クマ 声

犬の声とクマの声を

340 アヌ コロ アナン ルウエ ネ ワ
 a=nu kor an=an ruwe ne wa
 (私)聞きながら いる(私) こと であって

聞いていました。

ヘンパラ アン コロ
 hempara an kor
 いつ になる と

私はいつ

マク イキアン ペ アネ ルウエ アン セコロ
 mak iki=an pe a=ne ruwe an sekor
 どう する(私) 者 (私)な の か と

どうなるのだろうか

ヤイヌアン コロ オラノ
 yaynu=an kor orano
 思う(私) と それから

思っていると

アコロ ソン ラポッケ ヌワパン
 a=kor son rapokke nuwap=an
 (私)の 息子 そのうちに 出産する(私)

やがて私はお産をして息子が生まれ

22 チュコカリカリ ci-ukokarikari (くるくると巻く)。クマの声が繰り返して響いて来たの意か。5行後で語られる同単語は犬とクマの声がからみあい、吠えながら戦っている様子を表している。

345 カ キ ワ タア アコツ テンネブ
 ka ki wa taa a=kor_ tennep
 も し て このように (私)の 赤ん坊

たので、こうして赤ん坊と

トゥラノ アナン ワ オラ
 turano an=an wa ora
 と一緒に 暮らす(私)して こんど

一緒に暮らしていました。

ヘンパラ アン コロ
 hempara an kor
 いつ になる と

いつか

マク イキアン ヘ キ
 mak iki=an he ki
 どう する(私) か する

何かが起こって

アイライケ ヘ キ プ アン
 a=i=rayke he ki p an
 (人が私を)殺す か するの か

殺されてしまうのではないか

350 セコロ ヤイヌアン コロ オラノ
 sekor yaynu=an kor orano
 と 思う(私) ながら こんど

と違って

チサン コロ パテク
 cis=an kor patek
 泣く(私) して ばかり

泣いてばかり

アナン ルウエ ネ ア プ
 an=an ruwe ne a p
 いる(私) の だった が

いたのですが

ヒナク ワ エク ニシパ
 hinak wa ek nispa
 どこ から 来る 旦那さん

どこからか旦那さんが

イオシコニ ルウエ アン”
 i=oskoni ruwe an”
 (私を)追いかける こと だなあ

私を探しに来てくれたのですね」

355 セコロ ハウエアン、
 sekor hawean,
 と 言う

と

チシ コロ ハウエアン ルウエ ネ ワ
 cis kor hawean ruwe ne wa
 泣き ながら 言う の であって

涙ながらに言うので

エアラキンネ アオクンヌレ。
 earkinne a=okunnure.
 本当に (私)驚く

本当に驚きました。

ウ克蘭 ネ レウシアン ニシパ ウタラ
 ukuran ne rewsu=an nispa utar
 昨夜 その 泊る(私) 長者 たち

夕べ泊まった村おさの家の

コシマチヒ ヘネ ソモ ネ セコロ
 kosmacihi hene somo ne sekor
 嫁 でも ない か と

嫁ではないのかと

360 ヤイヌアン コロ オラ
 yaynu=an kor ora
 思う(私) ながら こんど

思いながら

イペアン カ キ オカ アン ペ ネ クス
 ipe=an ka ki oka an pe ne kusu
 食事する(私) も する 後 になる もの だ から

食事も終わったので

レウシアン クス ネ セコロ
 rewsian kusu ne sekor
 泊る(私) つもりだ と

今夜は泊りますと

ハウエアナン ヒネ アナン ルウエ ネ
 hawean=an hine an=an ruwe ne
 言う(私) して いる(私) の です

言ってそこに泊まりました。

アクス ソンノ カ
 akusu sonno ka
 すると 本当に も

すると、本当に

365 ホツケ… モコラン カ ソモ キ ノ
 hotke... mokor=an ka somo ki no
 寝る 眠る(私) も しない で

眠らないで

アナン ルウエ ネ アクス
 an=an ruwe ne akusu
 いる(私) の だっ たところ

いたところ

トウナシ ホツケ ウタラ アナクネ
 tunas hotke utar anakne
 早く 寝る 人たち は

早く寝つける人たちは

ホツケ ラポッケ
 hotke rapokke
 寝る 間に

眠っている間に

オキムネ キムンペ ハウ
 okimne kimunpe haw
 山から クマ 声

山のほうからクマの声が

370 ハウカンペレレケ²³ コロ
 hawkanpererke kor
 声が割れるようになり ながら

割れるように響いて

サン ハウ アシ コロ アナン ラポッケ
 san haw as kor an=an rapokke
 下る 声 し て いる(私) そのうちに

下りて来る声がしていたと思ったら

23 ハウカンペレレセ hawkanpererse 声が割れるようになる (意味未詳) [奥]

エクシコンナ チセ シッケウ ワ
 ekuskonna cise sikkew wa
 突然 家 の隅 から

突然家の隅から

ネ ペコロ セタ ミク コロ
 ne pekor seta mik kor
 それ らしい 犬 吠え ながら

それらしい犬が吠えながら

ソヨシマ ヒネ オラノ
 soyosma hine orano
 外へ飛び出し て それから

外に飛び出して

375 セタ ネ ヤ ネ キムンペ ハウ ネ ヤ
 seta ne ya ne kimunpe haw ne ya
 犬 だ とか その クマ 声 だとか

犬の声とクマの声が

ハウエヘ チュコカリカリ コロ
 hawehe cukokarikari kor
 その声 くるくると巻き ながら

からみ合いながら

アネピッタ オカアン アイネ
 anepitta oka=an ayne
 一晩中 いる(私) したあげく

夜どおしそれが続いて、やがて

タネ シットウムペケレ ラポク ネ アクス
 tane sittumupeker rapok ne akusu
 もう あたりが明るくなる 間 になっ たところ

もう夜が明けるころになって

オラ ネ キムンペ ハウ カ イサム、
 ora ne kimunpe haw ka isam,
 こんど その クマ 声 も ない

そのクマの声はやみ

380 セタ ハウ カ イサム ルウエ ネ ヒケ オラ
 seta haw ka isam ruwe ne hike ora
 犬 声 も なくなる の だ が こんど

犬の声もしなくなりました。

イヨクンヌレアン ヒ クス
 iyokunnure=an hi kusu
 驚く(私) だから

私は驚きました。

イカヨプ アイ ク や アコツ テク ヒネ
 ikayop ay ku や a=kor_ tek hine
 矢筒 矢 弓 や (私)持つ さっとして

矢筒に弓矢をさっと持って

ソイエネアン ヒネ
 soyene=an hine
 外に出る(私) して

外に出て

ナニ ネ キムンペ ルウエヘ
 nani ne kimunpe ruwehe
 すぐ その クマ の跡

すぐクマの足跡を

385 アオペシ ヒネ エキムネアン。
 a=opes hine ekimne=an.
 (私)沿っ て 山に行く(私)

追って山に行きました。

アラパアン ルウエ ネ アクス
 arpa=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だっ たところ

すると

アラパアン ホントモ タ ネ… ホロケウ ノカ
 arpa=an hontomo ta ne... horkew noka
 行く(私) 途中 に その オオカミ 人形

オオカミの人形

ネ ニポ ネ ホロケウ ノカ ネ アカラ ペ²⁴
 ne nipo ne horkew noka ne a=kar pe
 その 木彫り の オオカミ 人形 に (人)作る もの

オオカミの木彫りが

アラパアン ホントモ タ
 arpa=an hontomo ta
 行く(私) 途中 に

途中に

390 トウルセ ワ アン ヒ クス
 turse wa an hi kusu
 落ち て ある ので

落ちていました。

アウク ヒネ
 a=uk hine
 (私)取っ て

それを拾って

アコオンカミ ア アコオンカミ ア コロ オラ
 a=koonkami a a=koonkami a kor ora
 (私)何度も拝礼し ながら こんど

何度も拝礼してから

アウプソロオマレ ヒネ オラ
 a=upsor'omare hine ora
 (私)懐に入れ て こんど

自分の懐に入れて

ナニ ネ キムンペ カムイ ルウエヘ
 nani ne kimunpe kamuy ruwehe
 すぐ その クマ 神 の跡

すぐさままたクマの足跡を

395 アオペシ イネ
 a=opes _hine
 (私)に沿っ て

追って

アラパアン ルウエ ネ アクス
 arpa=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だっ たところ

行きました。

キム タ アラパアン ルウエ ネ アクス
 kim ta arpa=an ruwe ne akusu
 山 に 行く(私) こと だっ たところ

山まで行ったところ

24 ホロケウ ノカ (オオカミの人形) と言ったあと、ゆっくりと説明するように言い換えている。ネ ne (その) ニポ ni-po (木・指小辞) ネ ne (である／になる) ホロケウ horkew (オオカミ) ノカ noka (形) ネ ne (として) アカラ a=kar (人が・～を作る) ペ pe(もの)。=木で作ったオオカミの人形、オオカミの木彫り。アイヌ文化では、こうした偶像には魂が宿るという考え方がある。この話でもこの木彫りのオオカミに魂が宿り、重要な役割を果たしていることは察しがつく。

- エハムトゥラ²⁵ チクニ ホラク ワ アン
 ehamura cikuni horak wa an
 そこに葉のつく 木 倒れ て いる
 葉のついた木が倒れていて
- チョロポッケ ウン
 corpokke un
 その下 に
 その下に
- 400 アフン ルウエヘ アン ヒ クス
 ahun ruwehe an hi kusu
 入る 跡 ある ので
 クマが逃げ込んだ足跡があったので
- ナニ ネア エホラク チクニ ネ クス
 nani nea ehorak cikuni ne kusu
 すぐ その 倒れ 木 だ から
 すぐその倒木の上を
- ネ ニ チクニ トウラシ²⁶ アラパアン ヒネ
 ne ni cikuni turasi arpa=an hine
 その 木 木 に沿って上に 行く(私) して
 根元のほうから歩いて
- オロ タ ネ カムイ
 oro ta ne kamuy
 そこ に そのクマ
 クマが
- アン ルウエ ネ ノイネ アン ウシケ
 an ruwe ne noyne an uske
 いる こと である らしく ある 場所
 いそうな場所を
- 405 ニ オポソ アヌカラ ヒ クス オラ
 ni oposo a=nukar hi kusu ora
 木 を透かして(私)見る ので こんど
 枝のすき間ごしに見当をつけて
- アイ ク や アサンケ ヒネ
 ay ku や a=sanke hine
 矢 弓 や (私)出し て
 弓矢を出し
- アシリコチョッチャ ルウエ ネ アクス
 a=sirkocotca ruwe ne akusu
 (私)強く射る こと だっ たところ
 矢をヒョウと射たところ
- ネア アコロ 矢 オムツテク²⁷ シリ
 nea a=kor 矢 omuttek siri
 その (私)の 矢 埋まる 様子
 私の矢がズブリと命中したのが
- アヌカラ カ キ ヒネ オラ ラポッケ
 a=nukar ka ki hine ora rapokke
 (私)見 も し て こんど そのうちに
 見え、やがて

25 エハムトゥラ e-ham-tura ～に・葉・を伴う。

26 チクニ トウラシ cikuni turasi 「木に沿って(上へ)」といった場合には、根元からこずえ方向へ移動することを表す。倒木の上を根元からこずえ方向に歩いた。

27 オムツテク omut-tek 埋まる [萱]。omkutke ノンデシマウ、ズブリト中ニ入ル。retar-airap koomkutke 白羽の矢がズブリと中に入る。[久 609]

- 410 ネ カムイ オカ… オクアラパレ²⁸ ハウ
 ne kamuy oka... ok'arpare haw
 その クマ 息をひきとる 声
 そのクマが息をひきとる声を
- アヌ ヒ クス オラ
 a=nu hi kusu ora
 (私)聞く だから こんど
 聞きました。そして
- ラナン ヒネ ネ ニ チヨロポク タ
 ran=an hine ne ni corpok ta
 下りる(私) して その 木 の下 に
 木から下りて、その木の下に
- アフナン ヒネ インカラアン ルウエ ネ アクス
 ahun=an hine inkar=an ruwe ne akusu
 入る(私) して 見る(私) こと だっ たところ
 もぐり込んで見ると
- カムイ ネ ヤッカ ソレクス²⁹
 kamuy ne yakka sorekusu
 クマ で も それこそ
 クマ神、それも一見して
- 415 シパセ カムイ ネ ヒ
 sipase kamuy ne hi
 とても偉い 神 だ と
 本当に偉い神であることが
- アエラムアン ノ アン カムイ
 a=eramuan no an kamuy
 (私)わかっ て ある クマ
 わかるクマが
- スマウネ ヒネ アン ヒ クス
 sumawne hine an hi kusu
 獲物になっ て いる ので
 死んでいたの
- オロ タ アラパアン…
 oro ta arpa=an...
 そこ に 行く(私)
 そこに私は行って
- サマ タ アラパアン ヒネ
 sama ta arpa=an hine
 そば に 行く(私) して
 傍らに行って
- 420 アコオンカミ カ キ ルウエ ネ
 a=koonkami ka ki ruwe ne
 (私)拝礼し も する の である
 拝礼をし
- ヒネ オラ イタカン イケ
 hine ora itak=an _hike
 そして こんど 言う(私) して
 こう言いました。
- “マク カトウ ネ ヒネ
 “mak katu ne hine
 どんな 事情 であっ て
 「どうしたわけで

28 オクアラパレ ok'arpare と聞こえる。オーララパレ or-arpa-re 息をひきとる。[萱] / オーララパレ orarapare (息をひきとる時のうめき声→息をひきとる) [集大成 p.186]

29 ソレクス sore-kusu (それ [日本語]・こそ)。それこそ(程度のすごいことを言うとき、それを導くためにその表現の前に置かれる語の一つ)。[田]

エネ カムイ ネットパ アン ルウエ ネ ヤ
 ene kamuy netopa an ruwe ne ya
 こんな クマ 体 ある の だ か

このようにクマ神のなきがらがあるのか

アエラミシカリ クス
 a=eramiskari kusu
 (私)わからない ので

わかりません。

425 ウェンタラプ ヘネ アニ³⁰
 wentarap hene ani
 夢 でも で

夢にでも

イエパカシヌ ソモ キ ヤク アナクネ
 i=epakasnu somoki yak anakne
 (私に)教える しない と は

教えてくださらないことには

エネ ネ ヒ カ アエランペウテク
 ene ne hi ka a=erampewtek
 どう な の か (私)わからない

どうにもわからない

クス ネ ナ。
 kusu ne na.
 します よ

のです。

ウェンタラプ アニ イエパカシヌ
 wentarap ani i=epakasnu
 夢 で (私に)教える

夢で私に教えて

430 ヤク ピリカ ワ”
 yak pirka wa”
 と いい よ

ください」

オラ カムイニスクアン ヒネ
 ora kamuynisuk=an hine
 こんど 神に頼む(私) して

と神に頼んで

“ サマ タ セコロ³¹ カムイ オハ カムイ³²
 “ samata sekor kamuy oha kamuy
 傍ら に このような? 神 留守番の 神

「傍らのこの神、留守を守る木幣

30 人間とクマは直接は会話できない。そこで、人から神へは主に「祈り」を通してメッセージを伝えるが、神から人へのメッセージは、多くの場合、夢を通して知らされる。この物語でも、主人公の身の回りで不思議なことが続いたので、それについて神意をただしたもの。また、クマを山で仕留めた場合、通常ならクマ神を神の国へ送るための何らかの儀式を行うが、それが人を襲ったような悪いクマであれば、二度とこの世へ姿を現さないように罰を受けて地獄へ落とされる。この場面ではまだその判断がつかないので、仮に話し相手の神を立てて一時的な対応を任せ、神に事情を聞いた上で判断を下すこととした。

31 用法が不明。セコロ アン カムイ sekor an kamuy 「かかる神」[久 766] と同じか。

32 オハ カムイ oha kamuy 「留守番の神」とは、文字通りその場を一時的に離れなければならない時に留守番を頼む木幣。狩りのほか、旅や出征などで家を空ける時にも立てることがある。チセコロカムイ cisekorkamuy (家の守り神) などとほぼ同じ形をしているが、チセコロカムイ cisekorkamuy が家の主人が亡くなるまで長期に祭る神であるのに対し、オハ カムイ oha kamuy は留守中という短期に祭る神。この場面では一旦クマ神を猟場に置いて離れるので、話し相手としてその場で作って立てた。[集大成] ではネウサラカムイ newsar kamuy 「話し相手の神」と呼んでいる。人を呼んできて後から獲物を運ぶ。与えた役目によって呼び名も変わる。チニスッカムイ cinisuk kamuy (人が頼む神) と呼ばれる木幣の一種と思われる。

ウウエネウサラ ワ オカ ヤク ピリカ。
 uwenewsar wa oka yak pirka.
 よもやま話をし て いる と いい

と話をしてみてください。

エネ イキアニ カ エランペウテク
 ene iki=an _hi ka erampewtek
 どう する(私) べきかも わからない

どうしていいかわからない

435 クス ネ ナ。
 kusu ne na.
 します よ

のです」

セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら

と私は言って

カムイニスクアン³³ ヒネ
 kamuynisuk=an hine
 神に頼む(私) して

神の木幣を作って

サマ タ アアヌ ヒネ アアシ ヒネ
 sama ta a=anu hine a=asi hine
 そば に (私)置いて (私)立て て

傍らに立て

オラ エカン ヒネ
 ora ek=an hine
 こんど 来る(私) して

それから帰って来て

440 ネ ポン メノコ ウニ タ エカン ヒネ
 ne pon menoko uni ta ek=an hine
 その 若い 娘 の家 に 来る(私) して

その女性の家に戻りました。

オラ ネ ニポ ネ ホロケウ ノカ
 ora ne nipo ne horkew noka
 こんど その 木彫り の オオカミ 人形

例の木彫りのオオカミを

ネア ポン メノコ アコレ アクス ウク ヒネ
 nea pon menoko a=kore akusu uk hine
 その 若い 娘 (私)与え たところ 取っ て

女性に渡すと、その女性は受け取って

ウプソロ オマレ カ キ ルウエ ネ ヒネ オラ
 upsor omare ka ki ruwe ne hine ora
 懐 に入れ も するの だ そして こんど

懐に入れました。

“ タネ ホシピアン カ
 “tane hosipi=an ka
 もう 戻る(私) も

「もう家に帰るのも

445 タネ シットケシ クス
 tane sittokes kusu
 もう 日が暮れる ので

暗くなったので

33 カムイニスクアン kamuynisuk=an 話し相手の神を作ることをさしている。

| | | |
|-----|---|-----------------|
| | スイ レウシアン クス ネ” suy rewsian kusu ne” また 泊る(私) します | また泊まります」 |
| | セコロ ハウエアナン コロ sekor hawean=an kor と 言う(私) ながら | と私は言って |
| | レウシアン ヒネ rewsian hine 泊る(私) して | そこに泊まりました。 |
| | メノコ スケ ワ menoko suke wa 女性 炊事し て | 女性が料理をして |
| 450 | イペアン カ キ ヒネ オラ ipe=an ka ki hine ora 食事する(私) も し て こんど | 食事をし |
| | レウシアン ルウエ ネ クス rewsian ruwe ne kusu 泊る(私) こと だ から | 泊まって |
| | ホツケアン ?? ワ hotke=an ?? wa 寝る(私) して | 眠ると |
| | ウエンタラプアン ルウエ ネ アクス wentarap=an ruwe ne akusu 夢を見る(私) こと だっ たところ | 夢を見ました。 |
| | カムイ ネ クス コラチ アン kamuy ne kusu koraci an 神 だ から らしく ある | 神にふさわしい姿をした |
| 455 | オアラ ³⁴ オツカイポ アン ヒネ oar okkaypo an hine 全く 若い男性 い て | 立派な若者がいて |
| | エネ ハウエアニ。 ene hawean_hi. このように言った | このように言いました。 |
| | “タン オツカイポ イタカン チキ “tan okkaypo itak=an ciki これ 若い男性 言う(私) したら | 「これ若いお方、私の言うことを |
| | エイヌ カトウ アナク エネ アニ。 e=inu katu anak ene an_hi. (お前)聞く 事情 は こうである | お聞きください。 |

34 オアラ スケブ オツカイポ oar skup okkaypo (立派な若者) と言おうとしたものか。

ヌプリ コロ カムイ セコロ アイェ ヤツカ
 nupuri kor kamuy sekor a=ye yakka
 山 の 神 と (人)言っ ても

山を治めるクマ神と言っても

460 アオナハ イヨッタ シパセ カムイ ネ ワ
 a=onaha iyotta sipase kamuy ne wa
 (私の)父 一番 尊い 神 であっ て

父は一番偉い神で

アポホ アネ ヒネ アナン。
 a=poho a=ne hine an=an.
 (私)息子 (私)であっ て いる(私)

私はその息子です。

アユピヒ カ アン アサ カ アン ヒネ
 a=yupihi ka an a=sa ka an hine
 (私の)兄 も いる (私の)姉 も い て

兄も姉もいて

イヨッタ ポン ペ ネ ワ
 iyotta pon pe ne wa
 一番 若い もの であっ て

一番年下が

アナン ペ ネ ア プ
 an=an pe ne a p
 いる(私) もの だっ た が

私でした。

465 マク ネ ワ ネ ヤ ポンラム ワノ
 mak ne wa ne ya ponram wano
 どう し て だ か 小さい時 から

一体どうしてか、幼いころから

タン ポン メノコ アエヤイカツカラ⁶⁵
 tan pon menoko a=eyaykatkar
 この 若い 娘 (私)好きになる

この娘のことが好きで

カムイ オツ タ アナン ワ
 kamuy or_ ta an=an wa
 神 の所 で 暮らす(私)して

私は神の国にいて

カムイ オロ ワ アヌカラ ヤツカ
 kamuy oro wa a=nukar yakka
 神 の所 から(私)見る が

そこから見ていましたが

アエヤイカツカラ。
 a=eyaykatkar.
 (私)好きになる

恋しくて

470 ネウン カ アカラ ワ トウラノ アナン
 neun ka a=kar wa turano an=an
 どうに か (私)し て 一緒に 暮らす(私)

何とかして一緒になりたい

クス ネ セコロ アン ペ パテク ヤイヌ
 kusu ne sekor an pe patek yaynu
 しよう と いう こと ばかり 思う

とばかり思って

ネ ヤ アン コロ アナン ペ ネ ア プ
 ne ya an kor an=an pe ne a p
 だ とかい ながら いる(私) もの だった が

いたのでした。

ラポッケ オラ イシカラ ホントム ウン
 rapokke ora Iskar hontom un
 そのうちに こんど 石狩川 中流 に

やがて石狩川の中流³⁶に

イコ… コシマツ ネ アン ヒ アヌカラ ヤツカ
 iko... kosmat ne an hi a=nukar yakka
 嫁 に なる こと (私)見て も

嫁に行ったのを見てからも

475 ネウン ネ ヤツカ ネ メノコ
 neun ne yakka ne menoko
 どう で も その 女性

何とかしてその娘が

アコン ルスイ ワ オラノ
 a=kor_rusuy wa orano
 (私)持ち たく て それから

欲しくて

エネ ケサンチカラ アン コロ アコロ…
 ene kes ancikar an kor akor…
 このように 毎 晩 になる と

毎晩

アコイワク³⁷ ヒ ネ ヤツカ
 a=koiwak hi ne yakka
 (私)通う こと で も

私が娘のもとへ通えるように

ネ イシウトホ ネ ヤツカ
 ne isiwtoho ne yakka
 その しゅうと で も

娘の義父に

480 アヤイヌレ アニ テ タ エク ワ
 a=yaynure ani te ta ek wa
 (私)思わせる それで ここに 来 て

暗示をかけてここに来させ

チセカラ カ キ ヒネ
 cisekar ka ki hine
 家作り も し て

家を作らせ

オロ タ ネ コシマチ ルラ ルウエ ネ プ
 oro ta ne kosmaci rura ruwe ne p
 そこ で その 嫁 を連れ出す の だ が

そこに嫁を連れ出させて

オラノ アコイワク
 orano a=koiwak
 それから (私)通う

通ったのです。

36 事件の起きた村が石狩川の中流にあるとここで語られ、以下の語りでもそれは一貫している。物語の前段で主人公が「川をさかのぼって行き村を訪問した」とあるので、主人公の村は石狩川の下流域にあるということになる。

37 コイワク koiwak 訪ねる. hoku ~ 夫訪ひをする. mat ~. [久] / (~へ) 通う. ホクコイワク=男の所へ通う. マッコイワク=女の所へ通う. [萱] / ~へ仕事を終えて帰る [奥]。本文中のケサンチカラ アン コロ アコイワク ヒ kes ancikar an kor a=koiwak hi は、「毎晩私が通う場所」の意味。

ネ シウトホ ネ ヤツカ
ne siwtho ne yakka
その しゅうと で も

義父が

485 ネプ カ ウエイサンペコロ ワ
nep ka weysampekor wa
何 も 悪い心を持って て

何か悪い心を持って

コシマチ ルラ ヒ カ ソモ ネ。
kosmaci rura hi ka somo ne.
嫁 連れ出すことも しない

嫁を連れ出したのではありません。

アヤイヌレ アニ
a=yaynure ani
(私)思わせる で

私が暗示をかけて

コシマチヒ キモルラ ルウェ ネ コロカ
kosmacihi kimorura ruwe ne korka
嫁 山に連れて行く の だ けれど

嫁を山に連れて来させたのです。しかし

オラノ ケシ アンチカラ アン コロ
orano kes ancikar an kor
それから 毎 晩 になる と

それから毎晩

490 アコイワク ヤツカ
a=koiwak yakka
(私)通っ ても

私は通いましたが

ネプ カ サク ペ ネ クナク アラム ア プ
nep ka sak pe ne kunak a=ramu a p
何 も ない もの だ と (私)思っ た が

何もないと思っていたのですが

エネ ニポ ネ ホロケウ
ene nipo ne horkew
こう 木彫り の オオカミ

このように木彫りのオオカミに

シエブンキレ³⁸ コロ カネ
siepunkire kor kane
自分を守らせ ながら

守らせて

アン ペ ネ アアン ヒネ オラノ
an pe ne aan hine orano
いる の だ ったのだ そして こんど

いたのです。そして

495 ケシ アンチカラ アン コロ
kes ancikar an kor
毎 晩 になる と

毎晩

サナン コロ イエミク ワ
san=an kor i=emik wa
下る(私) と (私に)吠え て

私が下りていくと吠えて

38 シエブンキネ siepunkinere (自分を守らせる) と言おうとしたのであろう。

ネ メノコ サマ タ アコイワク ア コロカ
 ne menoko sama ta a=koiwak a korka
 その 女性 のそば に (私)通っ た けれど

その娘のもとに通っても

サマ タ アラパアン カ エアイカプ ノ
 sama ta arpa=an ka eaykap no
 そば に 行く(私) も できない で

そばに近づくこともできずに

ネ セタ イエミク ワ
 ne seta i=emik wa
 その 犬 (私に)吠え て

その犬が私に吠えて

500 アエシリキラプ コロ アナン
 a=esirkirap kor an=an
 (私)苦勞し て いる(私)

困っていたのです。

ラポッケ オラ
 rapokke ora
 そのうちに こんど

そうこうするうちに

アイヌ メノコ アコイワク ヒ
 aynu menoko a=koiwak hi
 人間 女性 (私)通う こと

人間の女性の所に通っていることを

アオナ ウタラ エラムオカ ワ オラノ
 a=ona utar eramuoka wa orano
 (私の)父 たち それがわかつ て それから

父たちに知られ

イコパシロタ ネ ヤ イキツキク ネ ヤ
 i=kopasrota ne ya i=kikkik ne ya
 (私を)ののしる だ とか (私を)殴る だ とか

私は叱られるやら叩かれるやら

505 アウニ タ ホシピアン ヤッカ
 a=uni ta hosipi=an yakka
 (私の)家 に 帰る(私) しても

家に帰っても

イペアン カ エアイカプ ノ
 ipe=an ka eaykap no
 食事する(私) も できない で

私は食事もできずに

アオナ ウタラ イコイキ ワ
 a=ona utar i=koyki wa
 (私の)父 たち (私)いじめる して

父たちに責められて

イペ ポカ… ヤッカ アエシリキラプ コロ
 ipe poka... yakka a=esirkirap kor
 食事 さえ も (私)苦勞し て

食事もできずに

アナン ルウエ ネ コロカ
 an=an ruwe ne korka
 いる(私) の だ けれど

いたのですが

510 ネウン ネ ヤッカ ネ タン メノコ
 neun ne yakka ne tan menoko
 どう で も その この 女性

何とかしてこの娘が

アコン ルスイ ペ ネ クス
 a=kor_ rusuy pe ne kusu
 (私)持ち たい もの だ から

欲しくて

アエヤイラムカラ³⁹ カ ソモ キ ノ
 a=eyayramikar ka somo ki no
 (私)あきらめ も しな い で

あきらめられずに

アナン ルウエ ネ ア プ
 an=an ruwe ne a p
 いる(私) の だ っ た が

いたのです。なのに

エネ エエク ワ エアン ヤ カ
 ene e=ek wa e=an ya ka
 こう (お前)来 て (お前)いる か も

こうしてあなたが来ているとも

515 アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)知らない で

知らず

カムイ イコイパク ペ ネ クス… ヤ カ
 kamuy i=koypak pe ne kusu... ya ka
 神 (私を)罰する もの だ から か も

神から罰を受けるとも

アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)知らない で

知らずに

スイ タヌクラン アナクネ セコロ
 suy tanukuran anakne sekor
 また 今夜 こそは と

また今夜こそはと

ヤイヌアン コロ サナン ア プ
 yaynu=an kor san=an a p
 思う(私) ながら 下っ(私) た のに

思って山を下りたら

520 エネ エアン ヒネ
 ene e=an hine
 こう (お前)い て

こうしてあなたがいて

イシリコチヨツチャ ワ
 i=sirkocotca wa
 (私を)強く射 て

あなたにこてんぱんに討たれて

オラ カムイ オツ タ
 ora kamuy or_ ta
 こんど 神 の所 に

神のところに

アラパアン ルウエ ネ コロカ
 arpa=an ruwe ne korka
 行く(私) の だ けれど

帰ったのですが

39 エヤイラムカラ eyayramkar…をあきらめる。[田] / エヤイラムキツカラ e-yay-ramu-kik-kar 諦める [萱/奥]

- アオナ ウタラ イコイキ ワ
a=ona utar i=koyki wa
(私の)父 たち (私を)いじめ て
父たちは私を責めて
- 525 アオナ ウタラ サマ タ カ オロ タ カ
a=ona utar samata ka oro ta ka
(私の)父 たち のそば に も そこ に も
父たちに近寄ることも
- アフナン カ エアイカプ ノ
ahun=an ka eaykap no
入る(私) も できない で
家に入れてもらうこともできずに
- アイコイキ ワ アナン ルウェ ネ クス
a=i=koyki wa an=an ruwe ne kusu
(人が私を)いじめ て いる(私) の だ から
いるのです。
- タネ… ネウン ネ ヤツカ
tane... neun ne yakka
今はもう どう で も
今はどうしても
- タネ アナクネ ネ メノコ
tane anakne ne menoko
今 は その 女性
この女性が
- 530 アコオンルプシ ペ ネ ア コロカ
a=koonrupus pe ne a korka
(私)非常に欲しがる もの だった けれど
欲しいというわけではなく
- タネ アエヤイラミカラ クス
tane a=eyayramikar kusu
もう (私)あきらめる ので
もうあきらめたので
- カムイ オルン
kamuy or un
神 の所 に
(神の国に)
- アコロ マラット カ エコロ ワ
a=kor maratto ka e=kor wa
(私)の 頭骨 も (お前)持って
私の頭をあなたは持って⁴⁰
- コタン オルン エサン ワ
kotan or un e=san wa
村 の所 に (お前)下り て
村に下りて
- 535 カムイ オルン アオナ ウタラ エウン
kamuy or un a=ona utar eun
神 の所 に (私の)父 たち へ
クマ神の父たちのもとへ
- イサム エソンコクシテ ワ イコレ
i=sam e=sonkokuste wa i=kore
(私の)そば (お前)話を通し て (私)にくれる
行けるように口添えして

40 ぎょっとする表現だが、要は悪いクマとして罰するのではなく、クマの霊送りの儀式を執り行って、祭壇に頭骨を祭ってくだ
さい、ということ。

ヤク ピリカ ナ。
yak pirka na.
と 良い よ

ください。

タネ アナクネ ネ メノコ
tane anakne ne menoko
今 は その 女性

もうこの女性のことは

アエヤイラミカラ クス ネ ナ”
a=eyayramikar kusu ne na”
(私)あきらめ ます よ

あきらめます」

540 セコロ ハウエアン ウェンタラプ アキ ヒネ
sekor hawean wentarap a=ki hine
と 言う 夢見 (私)し て

と言った夢を見ました。

エアラキンネ ネ カムイ ネ ヤツカ
earkinne ne kamuy ne yakka
本当に その クマ で も

本当にそのクマ神も

アケムヌ カ キ ヒネ オラ
a=kemnu ka ki hine ora
(私)同情し も し て こんど

かわいそうだと思いました。

レウシ アナン ヒネ オラ イシムネ
rewsi an=an hine ora isimne
泊る いる(私) して こんど 翌日

一晩泊まって翌日

ネア ポン メノコ アトウラ オラ
nea pon menoko a=tura ora
その 若い 娘 (私)連れる こんど

その女性を連れて

545 ネ ポンペ アナクネ アカイ カネ ヒネ
ne ponpe anakne a=kay kane hine
その 小さい子 は (私)背負ったままで

その子供は私がおぶって

アトウラ ヒネ サパン ルウエ ネ ヒネ
a=tura hine sap=an ruwe ne hine
(私)連れ て 下る(私) の です そして

一緒に山を下りました。

ペツペシ サパン ヒネ
petpes sap=an hine
川に沿って 下る(私) して

川に沿って下って行って

タネ コタン カランケアン ルウエ ネ アクス
tane kotankaranke=an ruwe ne akusu
もう 村が近くなる(私) こと だっ たところ

やがて村が近づくと

ナニ ホシキノ ネア ポン メノコ
nani hosokino nea pon menoko
すぐに 先に あの 若い 女性

真っ先にその女性が

550 ホユプテツテク ヒネ サン ヒネ
hoyuptettek hine san hine
さっさと走っ て 下っ て

駆け下りて行きました。

オシ サブ… サナン ルウエ ネ アクス
 os sap... san=an ruwe ne akusu
 その後 下る 下る(私) こと だったところ

後から私が出て行くと

ネ ウニ タ アフン ワ オラノ
 ne uni ta ahun wa orano
 その家 に 入っ て それから

その家に女性が入って

ネ イシウトホ ウタラ ネ ヤ
 ne isiwtoho utar ne ya
 その しゅうと たち で も

義父母や

ネ オツカイポ トウラノ
 ne okkaypo turano
 その 若い男性 と一緒に

夫と一緒に

555 ウコパラパラクパ ハウ
 ukoparaparakpa haw
 互いに大泣きする 声

涙ながらに再会を喜ぶ声が

シエトク ウン アヌ コロ
 sietok un a=nu kor
 自分の行く手 に (私)聞き ながら

家の外にも聞こえました。

パツカイアン カネ ヒネ
 pakkay=an kane hine
 背負う(私) したままで

私が子供をおんぶして

アフナン ルウエ ネ アクス
 ahun=an ruwe ne akusu
 家に入る(私) こと だったところ

入っていくと

オラノ ネ オンネ ウタラ ネ ヤツカ
 orano ne onne utar ne yakka
 それから その 老人 たち で も

その老父母も

560 オツカイポ ウタン ネ ヤツカ
 okkaypo utar_ ne yakka
 若い男性 たち で も

息子も

イエヤイコブンテク
 i=eyaykopuntek
 (私を)喜ぶ

喜んで

パツカイアン カネ プ ネ クス
 pakkay=an kane p ne kusu
 背負う(私) まま もの だ から

私がおぶっていた

ネ ポイソン ネ ヤツカ ウコラライパ コロ
 ne poyson ne yakka ukoraraypa kor
 その 小さい子 で も 皆でなで ながら

子供を抱き寄せて

ウコパラパラクパ ルウエ ネ
 ukoparaparakpa ruwe ne
 皆で大泣きする の です

みんなで泣いていました。

565 ヒネ オラ エアシリ

hine ora easir

そして こんど 改めて

やがて私はこう言いました。

“ タプネ タプネ ネ ワ キムンカムイ
“tapne tapne ne wa kimunkamuy

かくかく しかじか で クマ神

「このようなわけで、クマの神が

ネ メノコ カテオマレ ワ
ne menoko kateomare wa

あの 女性 を好きになっ て

この娘を好きになり

キム タ その イシウトネ ニシパ
kim ta その isiwtone nispa

山 に その しゅうと さん

義父にあたる旦那さんが

キモルラ ワ…ネ ア コロカ
kimorura wa ne a korka

山に連れ て だっ た けれど

山に連れ出したのですが

570 ネ シウトホ ネ ヤツカ

ne siwtoho ne yakka

その しゅうと で も

そのお義父さんが

ウェン ケウトウム コロ ワ カ ソモ ネ。
wen kewtum kor wa ka somo ne.

悪い 心 持っ て も いない

悪だくみをしたわけではありません。

カムイ オロワ
kamuy orowa

神 から

クマに

エネ アヤイヌレ ワクス
ene a=yaynure wakusu

このように (人)思わせられた ので

操られて

キモルラ ヒ ネ クス
kimorura hi ne kusu

山に連れ出す の だ から

山に連れ出したので

575 ネ シウトホ ネ ヤツカ

ne siwtoho ne yakka

その しゅうと で も

お義父さんを

イテキ エチウエンノイエパ ソモ⁽⁴¹⁾ キ
iteki eci=wennyepa somo ki

決して (あなたたち)悪く言う しない

決して責めないで

ヤク ピリカ ナ”
yak pirka na”

と いい よ

あげてください」

41 イテキ iteki (～するな) と言ってからソモ somo (～しない) と否定辞を重ねることは普通しないが、ここではつい言ってしまったのだろう。

セコロ ネ ヤ ウェンタラプ オツ タ
 sekor ne ya wentarap or_ ta
 と だ とか 夢 の中 で

と言って、夢で

カムイ イェ ワ アヌ プ ネ クス
 kamuy ye wa a=nu p ne kusu
 クマ 言っ て (私)聞く ものだ から

クマ神から聞いたことを

580 タプネ タプネ ネ イ アイェ ワ オラノ
 tapne tapne ne _hi a=ye wa orano
 このようなわけ だ こと (私)言っ て こんど

説明しました。

ネ シウトホ ネ ヤッカ ヤイコパシロタ ワ
 ne siwtho ne yakka yaykopasrota wa
 その しゅうと で も 自分を叱っ て

その義父も反省して

“エネ タプネ アラム プ
 “ene tapne a=ramu p
 このように (私)思う のに

「心ならずも

アコシマチ ネ ア プ
 a=kosmaci ne a p
 (私の)嫁 だっ た のに

私の嫁だというのに

エネ アカラ ペ アネ。
 ene a=kar pe a=ne.
 こう (私)する もの (私)だ

とんでもないことをしてしまった。

585 アキモルラ ワ オラノ オウタシパ ワ
 a=kimorura wa orano outaspa wa
 (私)山へ連れ出し て それから 置き去りにし て

山に連れ出し置き去りにして

ウコシリキラプアン コロ オカアン ヤク
 ukosirkirap=an kor oka=an yak
 互いに苦勞をする(人) ながら 暮らす(人) と

苦勞させていたのを

アエラミシカリ ワ アン イ アン”
 a=eramiskari wa an _hi an”
 (私)知らない で いる こと ある

知らずにいたとはなあ」

セコロ ハウエアン コロ
 sekor hawean kor
 と 言い ながら

と言って

ネ シウトホ ネ ヤッカ
 ne siwtho ne yakka
 その のしゅうと で も

義父は

590 ヤイコパシロタ ネ ヤ キ コロ オラ
 yaykopasrota ne ya ki kor ora
 自分を叱る など し ながら こんど

自分を戒めました。

コタン オルン ウタラ カ
 kotan or un utar ka
 村 の所 の 人たち も

村人たちも

アラキパ ワ オラノ ウオウコ…
arkipa wa orano uouko…
来 て それから

来て

ネ メノコ ケウエホムス ネ ヤ
ne menoko kewehomsu ne ya
その 女性 の無事を喜ぶ など

その女性の無事を喜んで

イコヤイライケ ヒ ネ ヤ
i=koyayrayke hi ne ya
(私)に感謝する ことだ とか

私に感謝の言葉を

595 イエ ロク イエ ロクパ コロ オラ
ye rok ye rokpa kor ora
何度も言い ながら こんど

口々に言いました。

タプネ カネ
tapne kane
こうであっ て

「このようなわけで

ネ カムイ コタン オルン アサンケ
ne kamuy kotan or un a=sanke
あの クマ 村 の所に (私)下ろす

そのクマを村に下ろす

クス ネ ヒ アイエ プ ネ クス
kusu ne hi a=ye p ne kusu
つもり だ と (私)言う ものだ から

つもりです」と私が言うと

コタン コロ ウタラ イトウラ ヒネ オラ
kotan kor utar i=tura hine ora
村 の 人たち (私)伴っ て こんど

村人たちが同行してくれて

600 イシムネ インネ ウタツ トウラノ
isimne inne utar_ turano
翌日 大勢 人たち と一緒に

翌日、大勢で

キム タ パイエアン ヒネ
kim ta paye=an hine
山 に 行く(私) して

山に行き

ネ カムイ アリ ワ
ne kamuy a=ri wa
あの クマ (私)解体して

そのクマを解体して

コタン コロ ウタラ オピッタ セ ワ
kotan kor utar opitta se wa
村 の 人たち みんな 背負っ て

村人総出で背負い

オラ ヤイカタ アナクネ
ora yaykata anakne
こんど 自分 は

自分でも

605 ネア カムイ サパ オルシクル マラット
nea kamuy sapa oruskur maratto
あの クマ の頭 毛皮のついた 頭骨

クマの頭、毛皮のついた頭を

ヤイカタ アセ カネ ヒネ
yaykata a=se kane hine
自分で (私)背負い も して

背負って

コタン オルン サパン
kotan or un sap=an
村 の所に 下る(私)

村へ下りました。

ヒネ オラ エアシリ
hine ora easir
して こんど 本当に

そうして

コタン オルン ウタラ エウカスイ ワ
kotan or un utar eukasuy wa
村 の所 の 人たち と助け合っ て

村人たちと手分けして

610 イナウ ネ ヤ サケ ネ ヤ アカラ ワ
inaw ne ya sake ne ya a=kar wa
木幣 だ とか 酒 だ とか (私)作っ て

木幣や酒を作ってクマ送りの準備をしました。

“ネ カムイ ネ ヤツカ アツパケ タ
“ne kamuy ne yakka atpake ta
その クマ で も 初め に

「そのクマ神も初めこそ

メノコ コオンルプシ ワ
menoko koonrupus wa
女性 を好きになっ て

人間の女性を好きになった

シリキラプ ア コロカ
sirkirap a korka
苦労し た けれど

困り者でしたが

ヤイカタ ウエン ヒ イェ ア ヒ
yaykata wen hi ye a hi
自分 悪い こと 言っ た こと

自分が悪かったと言っていて

615 アエランポキウエン ワ
a=erampokiwen wa
(私)気の毒に思っ て

かわいそうなので

ネ カムイ ネ ヤツカ
ne kamuy ne yakka
その クマ で も

そのクマ神も

オナハ ウタラ エウン ネ ヤツカ
onaha utar eun ne yakka
その父 たち に で も

父神たちのところで

イテキ コイキ ノ⁴² ポ… キ ヤク ピリカ。
iteki koyki no po... ki yak pirka.
決して いじめず に すると 良い

決していじめられないようにしてください。

42 人の役に立って祭られることで神格を高める。逆の場合は神の世界で他の神々から非難され、軽んじられて神の末席に追いやられる。

カムイ ネ ヤツカ
kamuy ne yakka
神 で も

神でも

620 アイヌ ネ ヤツカ アン ペ
aynu ne yakka an pe
人間 で も ある もの

人間でも

ウコヤイカツカラ ペ ネ ナ。
ukoyaykatkar pe ne na.
互いに恋をする もの だ よ

恋はするものです。

テ ワノ アナクネ ネ イポネ
te wano anakne ne ipone
これ から は その 息子である

これからは

アイヌ メノコ コオンルプシ ア
aynu menoko koonrupus a
人間 女性 に恋をし た

人間の娘を好きになった

カムイ ネ ヤツカ
kamuy ne yakka
クマ で も

クマの神様も

625 カムイ ネ クス カムイ メノコ
kamuy ne kusu kamuy menoko
クマ だ から クマ 女性

クマ神なのでクマ神の女性と

エウタンネ ヤク ピリカ ナ”
eutanne yak pirka na”
と結婚する と 良い よ

結婚してください」

セコロ アン ペ アイェ コロ
sekor an pe a=ye kor
と いう こと (私) 言い ながら

と私は言って

カムイノミアン ペ ネ クス
kamuynomi=an pe ne kusu
神に祈る(私) もの だ から

神に祈ったので

エアラキンネ ネ オカ ウタラ
earkinne ne oka utar
本当に その いる 人たち

その場にいた人たちは

630 イヨクンヌレ コロ
iyokunnure kor
驚き ながら

本当に驚いて

カムイノミアン ロク アン ロク ヒネ
kamuynomi=an rok an rok hine
何度も神に祈る(私たち) して

何度も神に祈りました。

アクス オラ ネア… エアンチカラ
akusu ora nea... eancikar
すると こんど その その夜

するとその夜

スイ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
 suy wentarap=an ruwe ne akusu
 また 夢を見る(私) こと だったところ

私は夢を見ました。

ネア アシリ サパ トウイェ⁴³ カネ アン
 nea asir sapa tuye kane an
 あの 新しい 頭 刈る して いる

新しく髪を切りそろえた

635 カムイ オツカイポ
 kamuy okkaypo
 神 男性

神の男性が

ミナ カスノ ミナ カネ ヒネ
 mina kasuno mina kane hine
 笑い にもまして 笑い ながら そして

満面の笑みを浮かべながら

“アイヌ ヘタプ エネ ワ
 “aynu hetap e=ne wa
 人間 でも (お前)である して

「人間であるあなたが

エアン クシケライポ… ワ
 e=an kuskeraypo... wa
 (お前)いる おかげ して

いたおかげです。

アオナ ウタラ カ イコプンテク ネ ヤ
 a=ona utar ka ikopuntek ne ya
 (私の)父 たち も 喜ぶ だ とか

父たちから

640 イコイキ…
 i=koyki…
 (私に)をいじめる

エネ イコイキ ア コロカ
 ene i=koyki a korka
 こう (私を)いじめ た けれど

いろいろ叱られました

イコプンテク ネ ヤ キ ワ… ルウエ ネ クス
 ikopuntek ne ya ki wa... ruwe ne kusu
 喜ぶ だ とか して の だ から

喜んでくれたので

テ ワノ アナクネ ネ カムイ オルン
 te wano anakne ne kamuy or un
 ここから は その 神 の所で

これからは神の国で

カムイ メノコ アエウタンネ クス ネ
 kamuy menoko a=eutanne kusu ne
 神 女性 (私)結婚する つもりだ

神の女性と結婚するつもりです。

645 オラ ネ アコオンルプシ ア
 ora ne a=koonrupus a
 こんど あの (私)好きになっ た

私が好きになった

43 クマの送り儀礼では、所定の方法で頭骨を整えてもらう(ウンムケ unmemke 頭部の解体)。すると神の世界へ行ったクマ神はきれいに整髪された姿になり、大いに満足すると考えられている。

メノコ ネ ヤツカ
menoko ne yakka
女性 で も

人間の女性も

カムイ オロ ワ アエプンキネ
kamuy oro wa a=epunkine
神 の所 から (私)守る

神の国から私が見守り

エチオカ ネ ヤツカ
ecioka ne yakka
お前たち で も

あなたたちも

エプンキネ ワ エチ…
epunkine wa eci…
守っ て (お前たち)

見守って

650 ネプ エシリキラプ ソモ キ クニ ネ
nep esirkirap somo ki kuni ne
何 苦勞 しない ように

何も困ることがないように

カムイ オロ ワ
kamuy oro wa
神 の所 から

神の国から

アエチ… アエプンキネ⁴⁴ クス ネ ナ。
aeci… a=epunkine kusu ne na.
(私)守る つもり だ よ

あなたたちを守ってあげましょう。

オラ エネ アコオンルプシ ペ
ora ene a=koonrupus pe
こんど こう (私)好きになる もの

私が好きになったのが

アイヌ メノコ ネ ア クス
aynu menoko ne a kusu
人間 女性 だっ た ので

人間の娘であったので

655 アイヌ メノコ オロ ワノ
aynu menoko oro wano
人間 女性 の所 から

人間の娘のところから

カムイ オルン
kamuy or un
神 の所 へ

神へ

リクン カント ウン カムイ エカシ
`rikun kanto un kamuy ekasi
高みの 天 の 神 おじいさん

『天の神の国にいるクマ神のおじいさんを

アノミ ナ
a=nomi na'
(私)祭る よ

祭ります』

44 北海道大学の高橋靖以氏に、上田さんがエチア eci-=a= の人称を使われた例が他にもあることをご教示いただいた。

セコロ エチハウエオカ コロ
 sekor eci=haweoka kor
 と (お前たち)言い ながら

と言って

660 エチカムイノミ ワ イコレ
 eci=kamuynomi wa i=kore
 (お前たち)神に祈っ て (私に)くれる

あなたたちは祈ってください。

ヤクン サスイシリ パクノ
 yakun sasuyisir pakno
 ならば 未代 まで

そうすればいつまでも

エチアエプンキネ クス ネ ナ”
 eci=a=epunkine kusu ne na”
 (あなたたち)を守る つもり だ よ

あなたたちを守ってあげましょう」

セコロ アン ウェンタラプ アキ ルウエ ネ
 sekor an wentarap a=ki ruwe ne
 と いう 夢見 (私)する の です

という夢を私は見ました。

イネ タブネ… ネ ヒ アイェ ワ オラノ
 _hine tapne... ne hi a=ye wa orano
 そして このよう その こと (私)言っ て から

そのことを言うと

665 ネ シウトホ ウタン ネ ヤッカ
 ne siwtho utar_ ne yakka
 あの しゅうと たち で も

その女性の義父や

ネア オッカイポ ネ ヤッカ
 nea okkaypo ne yakka
 あの 若い男性 で も

夫は

イコヤイライケ ヒ
 i=koyayrayke hi
 (私に)感謝する こと

私に感謝の言葉を

イエ ロク イェ ロクパ ヒネ オラ
 ye rok ye rokpa hine ora
 何度も言っ て こんど

何度も言いました。そして

タネ トウツコ カ レレコ カ
 tane tutko ka rerko ka
 もう 2日 も 3日 も

もう2日も3日も

670 ホシピアン カ ソモ キ プ ネ クス
 hosipi=an ka somo ki p ne kusu
 帰る(私) も しない ものだ から

家に帰っていないので

ホシピアン クナク アイェ コロ
 hosipi=an kunak a=ye kor
 帰る(私) と (私)言い ながら

家に帰ります、と言って

アウニ タ サパン…
 a=uni ta sap=an…
 (私)の家 に 下る(私)

私は自分の家に

サナン ルウエ ネ アクス アオナハ
 san=an ruwe ne akusu a=onaha
 下る(私) こと だっ たところ (私の)父

帰りました。すると父は

カムイオロイタク コロ アン ヒネ
 kamuy'oroitak kor an hine
 神に助けを求め て い て

神に助けてくださいと祈っていました。

675 オロ タ アフナン ルウエ ネ アクス
 oro ta ahun=an ruwe ne akusu
 そこ に 入る(私) こと だっ たところ

そこに入っていったので

イコパシロタ。
 i=kopasrota.
 (私を)叱る

私を叱りました。

“アウエンポホ ネウン カ アラパ ワ
 “a=wenpoho neun ka arpa wa
 (私の)悪い息子 どこへ か 行っ て

「親不孝者め。どこかに行って

ライ ワ イサム ルウエ ネ
 ray wa isam ruwe ne
 死ん で しまう の だ

死んでしまったのだ

クナク アラム ワ
 kunak a=ramu wa
 と (私)思っ て

と違って

680 オラノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ
 orano kunne hene tokap hene
 それから 夜 でも 昼 でも

夜も昼も

カムイ シセレマクシテアン ヒ
 kamuy sisermakuste=an hi
 神 自分の背後で守る(人) こと

神に守ってくださいと

アイエ コロ アナン ルウエ ネ ア プ
 a=ye kor an=an ruwe ne a p
 (私)言っ て いる(私) の だっ た が

言っていたのだが

エネ ルウエ ネ
 e=ne ruwe ne
 (お前)である の である

おまえなのか」

セコン ネ。
 sekor_ ne.
 と 言う

と言いました。

685 タプネ タプネ ネ イ アイエ アクス オラノ
 tapne tapne ne _hi a=ye akusu orano
 このようなわけ だ と (私)言っ たところ

私がこのようなわけでしたと言うと

イコイキ カ キ
 i=koyki ka ki
 (私を)叱る も する

私を叱りもしましたが

イコプンテク カ キ コロ アナン アイネ
 i=kopuntek ka ki kor an=an ayne
 (私を)喜ぶ も し ながら いる(私) したあげく

喜んでくれました。

オラ エアシリ ネ オツカイポ カ
 ora easir ne okkaypo ka
 こんど 初めて その 若い男性 も

そうするうちにあの(石狩の中流の)若者が

ヤヤツタサ ヤク イエ コロ サン ワ
 yayattasa yak ye kor san wa
 お礼をする と 言っ て 出 て

お礼を言いに来て

690 アオナハ カ ヌカラ ルウエ ネ ヒネ
 a=onaha ka nukar ruwe ne hine
 (私の)父 も 見る こと であって

父とも会いました。

オラノ アナクネ
 orano anakne
 それから は

それから

ネプ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
 nep a=esirkirap ka somo ki no
 何 (私)苦勞する も しない で

何を困ることもなく

ウコパヨカアン コロ オカアン アイネ
 ukopayoka=an kor oka=an ayne
 互いに行き来する(私達) ながら 暮らす(私) うちに

互いに行き来をして暮らすうちに

アオナハ カ ウク カ オ… アオンネレ イネ
 a=onaha ka uk ka o... a=onnere _hine
 (私の)父 も 取る も (人)死ぬ して

父も年老いて亡くなり

695 イシカラ ホントモ クル
 Iskar hontomo kur
 石狩川 の中流 の人

石狩の中流の

ニシパ ウタラ ネ ヤツカ
 nispa utar ne yakka
 長者 たち で も

旦那さんたちも

アオンネレ オカ タ
 a=onnere oka ta
 (人)死ぬ 後 で

亡くなりましたが、その後も

ペウレ ウタラ ネ オカアン ワ
 pewre utar ne oka=an wa
 若い 人たち で 暮らす(私) して

若い者たちで暮らして

ウコパヨカアン コロ オカアン アイネ
 ukopayoka=an kor oka=an ayne
 互いに行き来する(私) ながら 暮らす(私) うちに

互いに行き来をしているうちに

700 マツ カ アコロ ワ
 mat ka a=kor wa
 妻 も (私)持っ て

私も妻をもらって

ポシレシクテアン ワ
posiresikte=an wa
子供がたくさんできる(私) して

子供もたくさんできて

オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
年を取る(私) もの だっ たところ

年を取ったので

タップネ カネ ネ ワ
tapne kane ne wa
かくかくしかじか であって

「このようなわけで

イシカラ ホントモ コロ ニシパ トウラノ
Iskar hontomo kor nispa turano
石狩川 の中流 の 長者 と一緒に

石狩の中流の旦那さん

705 ウコトウイェ⁴⁵ コロ アン ペ ネ クス
ukotuye kor an pe ne kusu
互いに懇意にし て いる の だ から

と懇意にしているのだから

アポホ ウタラ ネ ヤッカ
a=poho utar ne yakka
(私の)息子 たち で も

息子たちも

ネイ パクノ オカ ヤッカ
ney pakno oka yakka
いつ まで 暮らし ても

いつまでも

ヌプリ コロ カムイ ノミ ヤク ピリカ ナ
nupuri kor kamuy nomi yak pirka na
山 の 神 を祭る と 良い よ

山を司るクマ神を祭りなさい」

セコロ アポ ウタラ アコイタクムイェ コロ
sekor a=po utar a=koitakmuye kor
と (私の)子 たち (私)言い置い て

と息子たちに言い聞かせながら

710 オンネアン ペ ネ アクス
onne=an pe ne akusu
年を取る(私) もの だっ たところ

私は年老いて死んでいくので

アイェ セコロ シネ オツカヨ ニシパ
a=ye sekor sine okayo nispa
(私)言う と ある 男性 長者

お話をしますと、ひとりの男性が

イソイタク セコン ネ。
isoytak sekor_ ne.
物語る と さ

物語りましたとさ。

45 ウコトウイェ ukotokuye 「互いに懇意にする」と言おうとしたのだろう。

第3話 神 謡

アカショウビンになった メナシの女

収 録 日：1994年10月2日

資料番号：35225B

添付 CD：1-3（7分38秒）

第3話 神謡⁽¹⁾「アカショウビンになったメナシの女」⁽²⁾

(V =ヘイヌ heinu 折り返しのフレーズ)

V ポンサラ ウン クル⁽³⁾

Ponsar un kur

小沙流 の 人

小沙流の人を

V チオレポレ…

ci=orepore…

トントン叩いた…

(言い直し)⁽⁴⁾

V ポンサラ ウン クル

Ponsar un kur

小沙流 の 人

小沙流の人の

V キク… キリケウ カシ

kik… kirkew kasi

ひざ の上

ひざの上を

5 V チオレポレ

ci=orepore

(私)トントン叩く

トントン叩きながら

V エネ イタカン ヒ。

ene itak=an hi.

このように 言う(私) こと

私はこのように言いました。

V “メナシ ウン マツ アナク

“Menas un mat anak

メナシ の 女 は

「メナシ⁽⁵⁾の女はV イコロ⁽⁶⁾ アサム タ

ikor asam ta

宝物 底 に

宝物の底に

V チユコセシケ プ

ci=ukoseske p

(人)互いに隠す もの

内緒の隠し物の財産を

-
- 1994年10月2日、アイヌ民族博物館ポロチセで開催されたアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」での口演。解説は千葉大学中川裕氏。この物語のジャンルについて話者の上田トシ氏は「メノコユカラ menokoyukar」と言っている。(沙流川中流での言い方で、下流及び鶴川等でカムイユカラ kamuyyukar と呼ばれる)
 - 語りに先立って、上田トシ氏は「おとといの雨の日から習い始めた」と語っている。おそらく、田村すず子編著『早稲田アイヌ語音声資料5—二風谷の昔話と歌謡・神謡—』所収「小沙流の人の膝の上を」(話者：平村つる)(pp.67-73)のテープを聞いて覚えたものと思われる(以下「同書」と略す)。本書の対訳もこれを参照している。また同書に「この神謡とよく似た内容の神謡が、久保寺逸彦編『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』に筆録されている[神謡52(pp.241-243)]」(同書p.73)と。
 - 中川裕氏は「(メナシの女が)若い沙流川の男を口説いている(話)」と解説している。
 - 一行抜けたので言い直したものだ。
 - 静内より東の地方をさす。
 - 同書によると「ikorは間違いで、suwop《箱》が正しいと歌手のつるさん自身が言っている。su-wop asam taは《箱の底に》」(同書p.67注3)

- 10 V コロ ペ ネ ナ。
kor pe ne na.
を持つ もの だ よ 持っているのです。
- V イコロ アサム タ
ikor asam ta
宝物 底 に 宝物の底に
- V シユク⁷ ウウエウンペ
siyuk uweunpe
装束する 一揃いの太刀 立派な一揃いの宝刀を
- V コロ ペ ネ ナ
kor pe ne na
を持つ もの だ よ 持っているのです。
- V …アレンカレンカ…ヒ…
…a=renkarenka…hi…
- 15 (アピリカレンカピ)⁸
(apirkarenkapi)
私の考えたとおりに (私の考えたとおりに)
- V イコレンカ ワ
i=korenka wa
(私に)を承知し て 承知して
- V イコロパレ ヤン
i=korpare yan
(私に)ください 下さい。
- V イコラムオシマ ヤン
i=koram'osma yan
(私に)同意して ください。 どうか承知して下さい。
- V アピリカイトク
a=pirkaitak
(私の)良い言葉 私の良い話(求婚)を
- 20 V エコラム… エコパン ヤ?
e=koram... e=kopan ya?
(お前)拒む か あなたは断るのですか?
- V エコパン⁹ ヤクン
e=kopan yakun
(お前)拒む ならば 断るのなら
- V エコツチャケ タ
e=kotcake ta
(お前の)前 に あなたの前に

7 同書ではシサク sisak「珍しい」だが、シユク siyuk「装束(する)」もありえる(実際の音声はチユク ciyuk と聞こえる)。

8 言葉が出てこなかった模様。田村 1988 では apirkarenkapi(私の考えたとおりに)となっている。

9 同書では(イ)エコアン ヤクン (i)ekoan yakun「厳しい談判を受けたなら」「女性からのプロポーズを受けて人から非難されたら私が償います」が元々の内容。

- V イレンカトウイエ
Irenkatuye
罰金を出して謝る
罰金を出して謝り
- V アキ クス ネ ナ。
a=ki kusu ne na.
(私)し ます よ
ます。
- 25 V エコパン ヘ キ
e=kopan he ki
(お前)拒み でも する
あなたは断るのですか
- V イコラムオシマ ヘ キ”
i=koram'osma he ki”
(私に)同意する でも する
承知するのですか」
- V セコロ イタカン アワ
sekor itak=an awa
と 言う(私) したが
と私は言いましたけれど
- V ネプ カ ウエン イタク
nep ka wen itak
何 か 悪い 言葉
何か悪口でも
- V アイェ ロク ペコロ
a=ye rok pekor
(私)言っ た かのよう
私が言ったみたいに
- 30 V コロ ウエン プリ
kor wen puri
その 悪い ふるまい
その腹立ちを
- V ナン クルカシ
nan kurkasi
顔 の上一帯に
顔のおもてに
- V チオピラサ
ciopirasa
広がる
あらわしました。
- V ホントモ タ
hontomo ta
途中 に
そのさなかに
- V マッコサヌ
makkosanu
ぱっと
- 35 V ソサムウシペ⁽¹⁰⁾
sosam'uspe
壁掛けの太刀
脇の壁に掛かった刀を

10 同書ではソサモツペ sosamotpe。意味は同じ。

- V テクサイカレ
teksaykare
手に取る
手にとり
- V ヤイシリコオツケ。
yaysirkootke.
自分を激しく突き刺す
自分で自分の体を刺しました。
- V サマ タ アラパアン ヒネ
sama ta arpa=an hine
そのそばに 行く(私) して
そのそばに私は行って
- “ナニ エライ クス ネ ヤクン⁽¹¹⁾
“nani e=ray kusu ne yakun
すぐ (お前)死ぬ の ならば
「あなたがすぐに死ぬことになっているのなら
- 40 エムシペ ケムコヤワウセ⁽¹²⁾ ナンコロ。
emusipe kemkoyawawse nankor.
刀身 血が乾く だろう
刀についた血が乾いているでしょう。
- エシクヌ クス ネ ヤクン
e=siknu kusu ne yakun
(お前)生きる の ならば
生きることになっているのなら
- エムシペ ケムコトクトツケ...⁽¹³⁾
emusipe kemkotoktokke...
刀身 血がどろりとなる
刀についた血がどろりとなる
- ナンコン ナ。 ”
nankor_ na.
だろう よ
でしょうから」
- セコロ イタカン コロ エムシ アエタイエ アクス
sekor itak=an kor emus a=etaye akusu
と 言う(私) ながら 太刀 (私)を引い たところ
と言いながら刀を引き抜きますと
- 45 エムシペ ケムコトクトツケアン⁽¹⁴⁾
emusipe kemkotoktokke=an
刀身 血がどろりとなる(人)
刀の血はどろりとなりました。
- “ナニ エライ クス ネ ヤクン
“nani e=ray kusu ne yakun
すぐ (お前)死ぬ の ならば
「すぐにあなたが死ぬのでしたら
- アシヌマ カ ライアン クス ネ ワ ”
asinuma ka ray=an kusu ne wa”
自分 も 死ぬ(私) します よ
私も死にますわ」

11 以下メロディなしでの語り。

12 話者の説明では「乾いていること」と。同書では「乾いてどろりとなる」と。

13 同書ではケムコトウシトウシケ ナ kemkotustuske na。「生血がそのまま流れるでしょうから」。話者自身の説明では「ケムコトウクトウツケ kemkotoktokke っていうのは、エムシemus にどろどろ血がついていた」と。

14 同書では、結果は前者ケムコヤワウセ kemkoyawawke 「血が乾いてどろりとなりました」となっているが、話者の語りでは後者となっていて、混乱が見られる。

- セコロ イタクアン コロ
 sekor itak=an kor
 と 言う(私) して
 と言いながら
- ネア エムシ アニ
 nea emus ani
 その 太刀 で
 その刀で
- 50 ナニ ヤイコシリコオツケアン。
 nani yaykosirkootke=an.
 すぐ 自分を激しく突き刺す(私)
 すぐに私は自分で自分の体を刺しました。
- イテメニ カ タ
 itemeni ka ta
 梁 の上 に
 屋根の裏側の梁の上に(魂だけになって)
- V¹⁵ ヘモンラチチ¹⁶
 hemonracici
 手をだらんと下げる
 私は手をだらんと下げて
- V アナン アワ
 an=an awa
 いる(私) したが
 いますと
- V リクンスイ¹⁷ カリ
 rikunsuy kari
 煙出し穴 を通って
 煙出し穴を通して
- 55 V ソヨテレケアン ワ
 soyoterke=an wa
 外に飛び出す(私) して
 私は外へ飛び出しました。
- V ウラン ルイカ
 urar_ ruyka
 雲 橋
 白い雲が橋になって
- V アラパ ルコ
 arpa ru ko
 行く したのは
 先へと伸びて行き
- V マクナタラ
 maknatara
 あかあかと明るい
 あかあかと明るく
- V ウラン ルイカ
 urar_ ruyka
 雲 橋
 白い雲の橋を

15 再びメロディつきで語られる。

16 「monracici は tekracici ともいう。直訳すると、《手をぶら下げる》。神謡の中で、神である鳥獣が死ぬと、よく木の皮や天上の梁に、体がのって、手足(つまり脚)がだらんと下がっており、神自身はその鳥獣の耳と耳との間に座っている、ということになっている。」(同書 p.69 注)

17 「rikun-suy 《上方の・穴》とは、煙を出すために屋根にあけてある穴」(同書 p.70 注 2)

- 60 V アヤイオテレケ ワ
a=yay'oterke wa
(私) 踐ん で
踏みしめて
- V アラパアン アワ
arpa=an awa
行く(私) したが
はるかにいきますと
- (インネ コタン アン。
(inne kotan an.
人が大勢いる 村 ある
人の大勢住む村がありました。)⁽¹⁸⁾
- V コタンパ ワノ
kotanpa wano
村の上端 から
村の上のはずれから
- V セタ イエミク ワ
seta i=emik wa
犬 (私に) 吠え て
私は犬にほえられました。
- 65 V アラパアン アワ…
arpa=an awa…
行く(私) したが
行きましたが…⁽¹⁹⁾
- V コタンコロクル チセ ソイ タ
kotankorkur cise soy ta
村長 家 の外 に
村長の家の外に
- V アラパアン アワ
arpa=an awa
行く(私) したが
行きましたが
- V メノコポ トシカ
menokopo toska
若い娘 群れ
娘たちの一群
- V オッカヨポ トシカ
okkayopo toska
若い男 群れ
若者たちの一群が
- 70 V イウタパ コロ オカ。
iutapa kor oka.
杵搗きをし ながら いる
臼を搗いてヒエ搗きをしています。
- V チセ オンナイ ウン
cise onnay un
家 の中 に
家の中に
- V ポンサラ ウン クル
Ponsar un kur
小沙流 の 人
小沙流の人が

18 同書から。「死後の国に着いたわけである」(同書 p.70 注 4)

19 次行が抜けたので言い直したものの。

- V イウエンイヨンヌツパ ハウ
i=wen'iyonnuppa haw
(私に)ひどく告げ口をする 声
訴えている声が
- V カツコク ハウ ネ
kakkok haw ne
カツコウ 声 である
カツコウの声みたいに
- 75 (V オウセ テレケ。
owse terke.
空中へ 跳ぶ
はっきり聞こえます。)⁽²⁰⁾
- (節なし)
V アウオシマアン ルウエ ネ アクス
awosma=an ruwe ne akusu
家に入る(私) こと だっ たところ
私が家の中に入りますと
- (節あり)
V “ネ ヤクン メノコ
“ne yakun menoko
そう ならば 女性
「そういう女が
- V ホイヨ メノコ
hoyyo menoko
精神の悪い 女性
精神の悪い女が
- V エク ワ ネ ナ。
ek wa ne na.
来 て だ よ
来ているぞ。
- 80 V ニスコタウキ ヤン!
nisukotawki yan!
白で搦く しなさい
(魂を)臼に入れて鎌で突け!
- V ニスコオツケ ヤン”
nisukootke yan”
白で突く しなさい
臼に入れて杵で突け!」
- V セコロ ハウアシ ア コロカ
sekor haw'as a korka
と 言っ た けれど
と言いましたが
- V スンケ イタク ネ
sunke itak ne
嘘 言葉 である
でたらめだろうと
- V アヌ ロク アワ
a=nu rok awa
(私)聞いた が
聞いていますと
- 85 V アイニスコタウキ
a=i=nisukotawki
(人が私を)白で搦く
臼に入れて白で突き

20 同書から。

- V アイニスコオツケ
a=i=nisukootke
(人が私を)白で突く
私は白に入れて杵で突かれました。
- V キ ロク アワ
ki rok awa
し た が
やられていると
- V モシリカラカムイ
mosirkarkamuy
国造りの神
国造りの神様が
- V イケムヌ ヒネ
i=kemnu hine
(私に)同情するして
私をあわれんで
- 90 V (以下節なし)
ケンポチカッポ²¹ ネ
kempocikappo ne
アカショウビン に
アカショウビンに
- イカラ ヒネ
i=kar hine
(私を)し て
私を変えて下さって
- アウニ ソイケ タ
a=uni soyke ta
(私の)家 の外 に
私の家の前に
- ホシピアン ルウエ ネ
hosipi=an ruwe ne
帰る(私) の です
帰ってきたのです。
- セコロ
sekor
と
と²²
- 95 メナシ ウン メノコ…
Menas un menoko…
メナシ の 女性
若いメナシの娘…
- セコロ。
sekor.
と
とさ。
- これの続きが

21 ケンポチカッポ kempocikappo 同書では直訳して「赤血鳥」と。話者の上田トシさんは何の鳥か不明と。以下同書より。「kempocikappo は、《血・(指小辞)・鳥・(指小辞)》。歌い手のつるさんは、「雀くらいの、なずき(=額)からくびも赤い鳥」と説明している。後にたずねた貝沢みさをさん、川上松子さん、木村キミさんは、知らないとのことである。久保寺逸彦の記録(「類歌」の項参照)の脚注には uyuike-chir との名が見え、これは知里真志保『分類アイヌ語辞典 動物編』に uyuyke-cir 《アカショウビン》と出ている。」(p.71 注1)

22 口演ではここで一旦中断し、聞き手の解説を挟んでいる。この前後から最後までメロディなしで語られている。「ここまでが赤血鳥の自叙で、次からはト書きとなる」(同書 p.71 注3)

| | | |
|-----|---|-----------------------|
| | ポン メナシ ウン ポン メノコ Pon menas un pon menoko 小さい メナシ の若い 女性 | 若いメナシの女 |
| | ウトウレシコロペ アネ ヒネ utureskorpe a=ne hine 互いに姉妹を持つもの (私)であっ て | の姉妹が私で |
| | オカアン ペ ネ ヒケ oka=an pe ne hike 暮らす(私) もの な のに | あったのですが |
| 100 | (ヤイライケ ネ クス (yayrayke ne kusu 自殺 だ から | 自殺ですから) ²³ |
| | マク ネ ワ ネ ヤ mak ne wa ne ya どう し て だ か | どうして |
| | アサ ライ… ネ クス ネ ヤ… ワ a=sa ray… ne kusu ne ya… wa (私)の姉 死ぬ な の だ か して | 私の姉が死んだのか |
| | ライ ニ ²⁴ カ アエランペウテク ノ ray ni ka a=erampewtek no 死ぬ ? も (私)わからない で | 死んだことも私はわからずに |
| | オツカイポ カ トウラノ ライ ルウエ ネ… ア プ” okkaypo ka turano ray ruwe ne… a p” 若い男性 も 一緒に 死ぬ こと だっ た が | 若者も一緒に死んだというのに |
| 105 | ウフイ イクシペ トウラシ uhuy ikuspe turasi 燃える 柱 に沿って上に | 燃えた柱を |
| | ケンポチカッポ kempocikappo アカショウビン | 赤血鳥(アカショウビン)が |
| | ニムニム コロ… nimunimu kor… 登る ながら | のぼったりおりたりしながら |
| | アコロ サポ アエヤイレラプ ナ a=kor sapo a=eyayrerap na (私)の 姉 (私)に嘆き話をする よ | 私の姉が嘆き話をしたのですから |
| | テワノ オカ ペウレ ウタラ tewano oka pewre utar これから の 若い人 たち | これからの若者たちは |

23 同書から。

24 ヒ hi か。

- 110 ネウン ピリカ オツカイポ オシッコテ ヤツカ
neun pirka okkaypo osikkote yakka どんなよい男に惚れても
どんな 良い 若い男性 を好きにな ても
- メノコ オロワノ アナクネ イテキ
menoko orowano anakne iteki 女のほうからは決して…
女性 から は 決して
- …ヤイエイコラムコロったかな？
- ヤイエイコラムコロ パクノ
yayeikoramkor pakno 自分から求婚するのはそれほど
自分で求婚する ほど
- アシトマ プ ネ ナ。
a=sitoma p ne na. 恐ろしいことなのですよ。
(私)恐れる ものだ よ
- テ ワノ オカ ペウレ ウタラ²⁵
te wano oka pewre utar これからの若者(娘)たちは
ここ から いる 若い 人たち
- 115 イテキ オシッコテ オツカヨ アン ヤツカ
iteki osikkote okkayo an yakka 決して惚れた男がいても
決して 好きになる 男性 い ても
- ヤヤンノアシ ヤイエイコラムコロ
yayannoas yayeikoramkor 自分のほうから求婚すること
自分から 自分で求婚する
- パクノ アシトマ プ ネ ナ
pakno a=sitoma p ne na ほど恐ろしいものはないのですよ。
ほど (人)恐れる ものだ よ
- セコロ
sekor と
と
- ケンポチカツポ
kempocikappo アカショウビンが
アカショウビン
- 120 ニムニム コロ
nimunimu kor 柱をのぼりおりしながら
登る ながら
- イトウレシネ ポンメノコ ヌ セコロ。
ituresne ponmenoko nu sekor. その妹である娘が聞いたそうです。
妹 若い娘 聞く と

25 同書はメノコ menoko 「娘」。

第4話 散文の物語

シャチの耳輪

収録日：1995年11月10日

資料番号：35229A

添付CD：2-1（29分42秒）

第4話 散文の物語「シャチの耳輪」¹⁾

(ユペツの若者が語る)

ユペトウン クル アネ ヒネ アナン イケ
 Yupet un kur a=ne hine an=an _hike
 ユペツ の 人 (私)であって 暮らす(私) したが

私はユペツに暮らす者で

アオナハ アン アウヌフ アン ヒネ オカアン。
 a=onaha an a=unuhu an hine oka=an.
 (私の)父 いる (私の)母 い て 暮らす(私)

父と母

アサ カ アン ヒネ オカアン ペ ネ ヒケ
 a=sa ka an hine oka=an pe ne hike
 (私の)姉 も い て 暮らす(私) もの だ ったが

姉と暮らしていました。

タネ アオナハ カ ケマ パセ プ ネ クス
 tane a=onaha ka kema pase p ne kusu
 もう (私の)父 も 足 重い もの だ から

父はもう足が弱くなったので

5 エキムネ カ ソモ キ コロカ
 ekimne ka somoki korka
 山へ行き も しな ない けれど

山猟には行きませんでした

ヤイカタ エキムネアン ペ ネ クス
 yaykata ekimne=an pe ne kusu
 自分で 山猟に行く(私) の だ から

私が山猟に行くので

ユク ネ チキ カムイ ネ チキ
 yuk ne ciki kamuy ne ciki
 シカ で も クマ で も

シカでもクマでも

アエアウナルラ ワ
 a=eawnarura wa
 (私)家に運ん で

家に運んで

ネプ アエ ルスイ カ アコン ルスイ カ
 nep a=e rusuy ka a=kor_rusuy ka
 何 (私)食べ たい も (私)持ち たい も

何を食べたいとも欲しいとも

10 ソモ キ ノ… ピンノ²⁾ オカアン。
 somo ki no... pinno oka=an.
 しな ない で ? 暮らす(私)

思わずに暮らしていました。

アオナ ウタラ トウラノ オカアン ペ ネ ア プ
 a=ona utar turano oka=an pe ne a p
 (私の)父 たち と一緒に 暮らす(私) もの だ った が

父たちと一緒に暮らしていたのですが

1 1995年11月10日、上田トシ氏宅にて、安田千夏が調査・収録。村木美幸が同席した。上田トシ氏は、この話を姉である木村きみ氏から聞いたと語っている。同じ話者による同話が、北海道立アイヌ民族文化研究センター『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』で公開されている(資料番号CC800084)。また財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構編『アイヌ関連総合研究等助成事業研究報告第3号』平石清隆著「沙流地方のウウエペケレ～上田としの伝承～8. 湧別の男が川で死にかけていた女を救う話」(pp703-727)に同話別録音の活字化資料が掲載されている。

2 何かを言いかけたように聞こえるが不明。

シネアンタ ホツケアン アクス オラノ
sineanta hotke=an akusu orano
あるとき 寝る(私) したところ それから

あるとき、私が寝ていると

ネン カ メノコ ペウタンケ ハウ
nen ka menoko pewtanke haw
誰 か 女性 危急の叫び 声

誰か女性の叫び声を

アヌ ペコロ ヤイヌアン ヒ クス
a=nu pekor yaynu=an hi kusu
(私)聞くように 思う(私) ので

聞いたように思いました。

15 ホプニアン ヒネ イコカヌアン コロ
hopuni=an hine ikokanu=an kor
起きる(私) して 耳を澄ます(私) と

起きて耳を澄ますと

ソモ アヌ。
somo a=nu.
しない (私)聞く

何も聞こえません。

オラ スイ エニヌイペ カ タ アサパ アアヌ コロ
ora suy eninuype ka ta a=sapa a=anu kor
こんど また 枕 上 に (私の)頭 (私)置く と

また枕の上に頭を置くと

ランマ ペウタンケ ハウ アヌ ヒ クス
ranma pewtanke haw a=nu hi kusu
まだ 危急の叫び 声 (私)聞く ので

まだ叫び声が聞こえるので

オラ ホプニアン アクス アオナ
ora hopuni=an akusu a=ona
こんど 起きる(私) したところ (私の)父

起き上がると、父は

20 マク ネ ヒネ ホプニアン ヒ ネ ヤ
mak ne hine hopuni=an hi ne ya
どう し て 起きる(私) ことだ か

どうして起きたのかと

イコウウエペケンヌ。
i=kouwepekennu.
(私に)尋ねる

私に尋ねました。

アウヌフ… アオナハ キ ヒ クス
a=unuhu... a=onaha ki hi kusu
(私の)母 (私の)父 する ので

父が尋ねるので

“ タプネ カネ
“ tapne kane
こうであって

「このようなわけで

メノコ ペウタンケ ハウ アヌ ワ
menoko pewtanke haw a=nu wa
女性 危急の叫び 声 (私)聞いて

女性の叫び声を聞いて

25 アオヤモクテ ワ ホプニアン ルウエ ネ。
a=oyamokte wa hopuni=an ruwe ne.
(私)不思議に思っ て 起きる(私) の です

不思議に思って起きたのです。

アオナハ ソモ ヌ³ ルウェ ネ ヤ?”
 a=onaha somo nu ruwe ne ya?”
 (私の)父 しない 聞く の です か

父さんは聞こえなかったのですか」

アコウウェペケンヌ アクス アオナハ
 a=kouwepekennu akusu a=onaha
 (私)尋ねる したところ (私の)父

と聞くと、父は

“ヤイカタ アナクネ ソモ アヌ コロカ
 “yaykata anakne somo a=nu korka
 自分 は しない (私)聞く けれど

「私には聞こえなかったが

ネイ タ カ メノコ ヤイウエンヌカラ ワ
 ney ta ka menoko yaywennukar wa
 どこか で も 女性 苦しん で

どこかで女性がひどい目に遭って

30 アン ワ ネ ナンコラ
 an wa ne nankor _ya
 い て だ ろう か

いるのだろうか。

カムイ レンカイネ
 kamuy renkayne
 神 意思によって

神のはからいで

アイコアスラニ ワ ネ ナンコロ クシ… ネ ナ。⁴
 a=i=koasurani wa ne nankor kus... ne na.
 (人が私に)知らせ て だ ろう から だ よ

私たちに知らせているのだろう。

ネ ペウタンケ ハウ エラメパカリ ワ
 ne pewtanke haw e=ramepakari wa
 その 危急の叫び 声 (お前)察し て

おまえはその叫び声が出たと思うほうへ

トモ ウンノ エイカオパシ ヤク ピリカ ナ”
 tomo unno e=ikaopas yak pirka na”
 そちら へ (お前)助けに行く と いい よ

まっすぐ助けに行きなさい」

35 セコロ アオナハ ハウエアン ヒ クス オラ
 sekor a=onaha hawean hi kusu ora
 と (私の)父 言う ので こんど

と父が言うので

ナニ ソイエネアン ヒネ オラノ
 nani soyene=an hine orano
 すぐ 外に出る(私) して それから

私はすぐに家を出ました。

アコロ ポン ユペツ トウラシ
 a=kor Pon Yupet turasi
 (私の)の 小さい ユペツ に沿って上手に

私たちの住むユペツ川の支流を

パシ カネ テレケ カネ アラパアン アイネ
 pas kane terke kane arpa=an ayne
 走り つつ 跳び つつ 行く(私) したあげく

一目散に駆け上がると

3 人称接辞エ e= (あなたが) が脱落か。

4 単にアイコアスラニ ナンコン ナ a=i=koasurani nankor na. で良いところを言いよんだものか。

アコロ ペツ… ポン ユペツ ペテトク タ
 a=kor pet... pon Yupet petetok ta
 (私の)の 川 小さい ユペツ 上流 に

ユペツの水源を

40 アラパアン ヒネ
 arpa=an hine
 行く(私) して

越え

シクマ カ タ ヘメスアン ヒ オラ スイ
 sikuma ka ta hemesu=an hi ora suy
 峰 上 に 登る(私) してから また

峰を越えてから

ポロ ユペツ ペツ ルウオロケ アオラン ヒ オラノ
 Poro Yupet pet ruworke a=oran hi orano
 大きい ユペツ 川 筋のところ (私)に下り てから

ユペツ本流の流域に下りて

スイ ペツ ペシ
 suy pet pes
 また 川 に沿って下流へ

また川沿いに下流のほうへ

パシ カネ テレケ カネ ヒネ… アン アイネ
 pas kane terke kane hine... an ayne
 走り つつ 跳ね つつ して いる したあげく

一目散に跳ぶように

45 ネ… サナン アクス
 ne... san=an akusu
 その 下る(私) したところ

駆け下りました。すると

イエトク ウン ネプ カ ペツ オンナイ ウン
 i=etok un nep ka pet onnay un
 (私の)前 に 何 か 川 の中 に

何かが私の前の川の中で

シツ… トム… ペ カ…⁵
 sir... tom... pe ka...
 あたり 光る もの も

…

トム ランケ トム ランケ シリ イキ ヒ クス
 tom ranke tom ranke siri iki hi kusu
 何度も光る 様子 する ので

キラキラと光っています。

トモ ウンノ ホ… ノ…
 tomo unno ho... no...
 そこに向かって

そこへ

50 アラパアン ルウエ ネ アクス
 arpa=an ruwe ne akusu
 行く(私) こと だったところ

行ってみると

ポロ ユペツ ネ クス
 Poro Yupet ne kusu
 大きい ユペツ だ から

ユペツの本流は

5 言いよどみか。

ペッ ポロ カ キ プ ネ クス
 pet poro ka ki p ne kusu
 川 大きい も する の だ から

大きい川なので

ネ オヤン ウシケ タ シツ…
 ne oyan uske ta sit…
 その 上がる 場所 に

岸に上がる所の

ワッカ チュコポイエポイエ コロ アン ウシケ タ
 wakka cukopoyepoye kor an uske ta
 水 かきまわされ て いる 場所 に

水が渦巻いていて、そこで

55 ネプ カ シプス ランケ ラウオシマ ランケ
 nep ka sipusu ranke rawosma ranke
 何 か 何度も浮かぶ 何度も沈む

何かが浮かんだり沈んだり

コロ アン シリ イキ ヒネ オラ
 kor an siri iki hine ora
 ながら いる 様子 し て こんど

しているようです。

シプス コロ ネプ カ トム ランケ
 sipusu kor nep ka tom ranke
 浮かぶ と 何 か 何度も光る

そして浮かび上がると何かが光り

ラウオシマ オロ ネ トム シリ
 rawosma oro ne tom siri
 沈む 時 その 光る 様子

沈むとその光は

アヌカラ カ ソモ キ コロカ
 a=nukar ka somo ki korka
 (私)見 も しない けれど

見えなくなるのですが

60 シプス ラポッケ
 sipusu rapokke
 浮かぶ 間に

浮かび上がっている間は

トム ランケ トム ランケ シリ アヌカラ。
 tom ranke tom ranke siri a=nukar.
 何度も光る 何度も光る 様子 (私)見る

キラキラ光っているのが見えました。

アオヤモクテ ヒ クス オラ
 a=oyamokte hi kusu ora
 (私)不思議に思う ので こんど

不思議に思ったので

シプス ラポク セコロ ヤイヌアン ワ
 sipusu rapok sekor yaynu=an wa
 浮かぶ 間 と 思う(私) して

浮かび上がった間にとまって

トム テク ラポッケ ペトルン
 tom tek rapokke pet or un
 光る 瞬 間 川 の 中 に

光った瞬間川に

65 テレケテクアン イネ
 terketek=an _hine
 さっと飛び込む(私) して

ぱっと飛び込んで

ラウオテレケアン ヒネ
rawoterke=an hine
下に飛び込む(私) して

もぐって

ネ トム ランケ キ コロ アン ペ
ne tom ranke ki kor an pe
その 光る 何度も し て いる もの

そのキラキラ光っているものを

アキシマ テク アクス
a=kisma tek akusu
(私)掴む さっと したところ

さっとつかんだところ

メノコ ライ メノコ ネ アン ヒ オラ
menoko ray menoko ne an hi ora
女性 死ぬ 女性 に なっ てから

女性、それも死んだ女性のようにでした。

70 アヤンケ ヒネ
a=yanke hine
(私)上げる して

私は陸に

トシカ カ タ アヤンケ ヒ オラ
toska ka ta a=yanke hi ora
土手 上 に (私)上げ てから

川の土手に引き上げました。

アオナ エネ イエウパシクマ ヒ
a=ona ene i=eupaskuma hi
(私の)父 こう (私)話す こと

父が私に話してくれたことは

“ペトンナイ タ アパ プ アナクネ
“pet onnay ta a=pa p anakne
川 中 で (私)見つける もの は

「川の中で発見された人は

スマ ヘネ サマムニ ヘネ ネ ヤッカ
suma hene samamni hene ne yakka
石 でも 倒木 でも で も

石や倒木に

75 ウプシ ノ アアヌ ワ アテイェ ヤクン
upsi no a=anu wa a=teye yakun
うつ伏せ に (人)置い て (人)押す ならば

うつ伏せに置いて背を押せば

ワッカ オヘトウ プ アナクネ
wakka ohetu p anakne
水 を吐く ものは

水を吐く人は

アシクヌレ エアシカイ ペ ネ コロカ
a=siknure easkay pe ne korka
(私)生かせ られる もの だ けれど

助けることができるが

ワッカ オヘトウ カ ソモ キ プ アナクネ
wakka ohetu ka somo ki p anakne
水 吐く も し ない もの は

水を吐かない人は

アオラウキ プ ネ ナ”
a=orawki p ne na”
(私)しそこなう もの だ よ

助からないのだよ」

- 80 セコロ アン ペ アオナハ イエウパシクマ ワ
 sekor an pe a=onaha i=eupaskuma wa
 と いう こと (私の)父 (私に)話し て
 と父が私に話して
- アヌ ア プ セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 a=nu a p sekor yaynu=an hi kusu
 (私)聞いた が と 思う(私) だから
 くれたのを思い出したので
- サマムニ カ ウプシ ノ アアヌ ヒネ
 samamni ka upsi no a=anu hine
 倒木 上 に伏せ て (私)置い て
 倒れ木の上うつ伏せに置いて
- アテイェ ルウエ ネ アクス
 a=teye ruwe ne akusu
 (私)押す こと だっ たところ
 背を押したところ
- ワッカ オヘトウ ヒ クス オラ
 wakka ohetu hi kusu ora
 水 を吐く ので こんど
 水を吐いたので
- 85 ネン ポカ セコロ ヤイヌアン コロ
 nen poka sekor yaynu=an kor
 何 とか と 思う(私) ながら
 何とかしてと思って
- インカラン ルウエ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ
 見ると
- ネア メノコ キサラ… オアラ キサラハ ウン
 nea menoko kisar... oar kisaraha un
 あの 女性 耳 片方 の耳 に
 その娘は片方の耳に
- シロカネ ニンカリ⁶ エオコク カネ アン オラ
 sirokane ninkari eokok kane an ora
 銀 耳輪 をつけ て いる こんど
 銀の耳輪をつけていました。
- ネ ニンカリ ウン レプンカムイ ノカ オ
 ne ninkari un repunkamuy noka o
 その 耳輪 に シャチ神 形 がつく
 その耳輪は沖の神であるシャチの姿がついた
- 90 ニンカリ ネ ヒ オラ…ヒ クス ナニ
 ninkari ne hi ora... hi kusu nani
 耳輪 である だから すぐに
 耳輪でした。それですぐ
- カムイ チカシヌカラ メノコ ネ ヒ
 kamuy cikasnukar menoko ne hi
 神 見守られる 女性 だ こと
 神に見守られる娘であると
- アエラムアニ オラ
 a=eramuan _hi ora
 (私)わかる してから
 私にはわかったので

6 アイヌの耳輪はピアスのように耳たぶに針で穴を開けて装着する。

アミ ワ オカイ ペ イカ ワ アミプ
 a=mi wa okay pe ika wa amip
 (私)着 て いる もの その上 から 着物

私が着ているもの、私の上着を

ウセ アアヌ ヒネ アミレ オラ
 use a=anu hine a=mire ora
 脱ぐ (私)置い て (私)着せる こんど

脱いで着せてやって

95 ミ ワ オカイ ペ アナクネ ウセ アアヌ イネ
 mi wa okay pe anakne use a=anu _hine
 着 て いる もの は 脱い で

女性が着ていたものは脱がせて

アヌンパ ヒネ
 a=numpa hine
 (私)絞っ て

絞って

アシタプカコモ テク イネ オラ
 a=sitapakomoto tek _hine ora
 (私)肩にかける さっと して こんど

自分の肩にひっかけました。

ネ メノコ カ
 ne menoko ka
 その 女性 も

その女性も

アシタプカコモ テク イネ オラノ スイ
 a=sitapakomoto tek _hine orano suy
 (私)肩に担ぐ さっと して それから また

肩にさっと担いで、また

100 ペツ トウラシ ホユプアン ヒネ エカン イネ
 pet turasi hoyupu=an hine ek=an _hine
 川 を遡って 走る(私) して 来る(私) して

川をさかのぼって走って来て

アウニ タ シレパアン アクス
 a=uni ta sirepa=an akusu
 (私)の家 に 着く(私) したところ

私の家に着きました。すると

アオナハ チセ オツ タ チセ オンナイ タ
 a=onaha cise or_ ta cise onnay ta
 (私)の父 家 の所 で 家 の中 で

父が家の中で

カムイオロイタク コロ アン ウシケ タ
 kamuy'oroytak kor an uske ta
 神に助けを求め て いる ところ に

神に助けを求めているところ

エカン ヒ クス
 ek=an hi kusu
 来る(私) だから

でした。

105 アフナニ ナニ アサハ エホツケヒ
 ahun=an _hi nani a=saha ehotkehi
 家に入る(私) とき すぐに (私)の姉 寝床

家に入るとすぐ姉の寝床が

オハラキシソ ワ アン ペ ネ クス アサ エウン
 oharkiso wa an pe ne kusu a=sa eun
 左座 に ある もの だ から (私)の姉 に

左座側にあるので、姉に

“メノコ アナクネ オハオカ ワ
 “menoko anakne ohaoka wa
 女性 は 同じにい て

「女性は女性同士

ウウエプリウエン⁷ ペ ネ ナ。
 uwepuriwen pe ne na.
 助け合う もの だ よ

助け合うものです。

タン メノコ エプリウエン ワ… ヤク ピリカ ナ”
 tan menoko epuriwen wa… yak pirka na”
 この 女性 をかばう と いい よ

この女性を見てあげて下さい」

110 セコロ アイェ アクス
 sekor a=ye akusu
 と (私)言っ たところ

と私が言うと

アサ エライキマテク コロ オラ ナニ ミ ワ…
 a=sa eraykimatek kor ora nani mi wa…
 (私の)姉 ひどく驚い て こんど すぐに 着 て

姉はひどく驚きながらすぐ服を着て

アサ コロ ワ オカイ ペ サウオクタ ヒネ オラ
 a=sa kor wa okay pe sawokuta hine ora
 (私の)姉持っ て いる もの を全部持ち出 て こんど

姉の持ち物を全部出して

ソホ カラ ネ ヤ ミレ ネ ヤ キ。
 soho kar ne ya mire ne ya ki.
 寝床 を作る だとか 着せる だとか する

寝床を敷いたり着物を着せたりしました。

オロ タ アホツケレ ヒケ カ
 oro ta a=hotkere hike ka
 そこ に (私)寝かせ て も

女性をそこに寝かせはしたものの

115 エネ アカラ ワ アシクヌレ ヒ カ
 ene a=kar wa a=siknure hi ka
 どう (私)し て (私)生かす 仕方 も

どうやって介抱したらいいか

エランペウテク ノ
 erampewtek no
 わからない で

わかりません。

ウオツ タ アン ペ ネ クス オラ
 wor_ ta an pe ne kusu ora
 水中 に いる もの だ から こんど

水に濡れていたの

ピリカノ… アミプ アサ コロ ワ オカイ ペ
 pirkano… amip a=sa kor wa okay pe
 よく 着物 (私の)姉持っ て いる もの

姉の持っていた着物を

アミレ ア コロカ
 a=mire a korka
 (私)着せ た けれど

着せたのですが

7 エプリウエン epuriwen…に加勢する [田]、～をかばう [奥]

120 アサハ カ エライキマテク コロ
 a=saha ka eraykimatek kor
 (私の)姉 も ひどく驚き ながら

姉はひどく驚きながら

ナニ ウセイカラ ワ
 nani useykar wa
 すぐに 湯を沸かし て

すぐにお湯を沸かして

ウセイ アニ カ… ポプケレ…
 usey ani ka… popkere…
 お湯 で も 沸かす

ウセイ アニ イポプケレ ネ ヤ オラ
 usey ani ipopkere ne ya ora
 お湯 で 人を暖める など こんど

お湯で暖めたりしました。

ネットパケ ネ ヤッカ ネ オロ
 netopake ne yakka ne oro
 体 であって も どこも

体もいたるところ

125 ピロ ウシケ イサム ウシケ イサム ノ
 piro uske isam uske isam no
 傷つく 所 ない 所 ない で

傷のつかない場所がないくらいに

クンネ トツチェ ネ ヤ ピロ ネ ヤ キ。
 kunne totce ne ya piro ne ya ki.
 黒い あざ など 傷つく など する

あざや傷あとがありました。

アシトマノ カネ アン ペ ネ クス オラノ
 asitomano kane an pe ne kusu orano
 恐ろしい ほど ある もの な ので それから

それはもう恐ろしいほどなので

アサ ネ ピロ ウシケ ネ ヤッカ ピリ カラカラ
 a=sa ne piro uske ne yakka pir karkar
 (私の)姉 その 傷つく 所 であって も 傷 を手当する

姉がその傷口を手当して

ウセイ アニ ピリ カラカラ オラ
 usey ani pir karkar ora
 お湯 で 傷 を手当する こんど

お湯で傷口を拭いてやりました。

130 ヤイカタ カ アカムコポプケレ クス
 yaykata ka a=kamkopopkere kusu
 自分で も (私)肉で暖める ために

私も自分の体温で暖めようと

サマ タ ホツケアン ワ アカミヒ アニ
 sama ta hotke=an wa a=kamihi ani
 そば に 寝る(私) して (私の)肉 で

隣に寝て私の体で

アポプケレ ネ ヤ キ コロ オカアン。
 a=popkere ne ya ki kor oka=an.
 (私)暖める など し て いる(私)

暖めたりしていました。

アオナハ ネ ヤッカ
 a=onaha ne yakka
 (私の)父 であって も

父も

- カムイ ネ マヌ プ エウン
kamuy ne manu p eun
神 と いう もの へ
- 135 ヤイアスラニ ヒ イェ コロ
yay'asurani hi ye kor
自分で知らせる こと 言っ て
- ウサ ウサ アサ ネ ヤ レン アネ ヒネ
usa usa a=sa ne ya ren a=ne hine
いろいろ (私の)姉 でも 3人 (私達)であっ て
- アウコアリキキ ロク アイネ ネ イキ アイネ
a=ukoarikiki rok ayne ne iki ayne
(私達)共に頑張っ た あげく そう した あげく
- タンネ ヘセ アラパレ ヒ オラ
tanne hese arpare hi ora
長い 息 行かせる してから
- ネン ポカ セコン ネ ヒネ オラノ
nen poka sekori ne hine orano
何 とか そうして してから
- 140 アコアリキキ ロク アイネ オラ
a=koarikiki rok ayne ora
(私)頑張っ た あげく こんど
- アサ エウン… カ パン サヨ カラ ヒネ
a=sa eun... ka pan sayo kar hine
(私の)姉 へ も 薄い かゆ を作っ て
- パロ オツテ ルウエ ネ アクス イキ アイネ
paro otte ruwe ne akusu iki ayne
口 につける こと だっ たところ する したあげく
- ネ サヨ カ ルキ ヒ アナクネ
ne sayo ka ruki hi anakne
その かゆ も 飲み込むことは
- ネン ポカ アカラ ワ
nen poka a=kar wa
何 とか (私)する して
- 145 タネ アシクヌレ クニ
tane a=siknure kuni
もう (私)生かす と
- アエパレ ルウエ ネ ヒネ… コロカ オラ
a=epare ruwe ne hine... korka ora
(私)至る こと であっ して けれど こんど
- エネ アカリ カ イサム
ene a=kar hi ka isam
どう (私)する 方法 も ない
- 神に
- 危急を知らせる言葉を唱えたりと
- あれこれ姉と3人で
- 一生懸命手を尽くしているうちに
- やがて女性は長い息をつきました。
- 何とかしようと
- さらに頑張って
- 姉が薄い粥を作って
- 口に入れると、やがて
- その粥を飲み込むことは
- 何とかできて
- ようやく一命を取り留めるところまで
- こぎつけました。しかし
- 手当のしようもなく

ヤイエラムペウテク ネパ… ネ コロカ
 yayerampewtek nepa... ne korka
 わからない だ けれど

わからないのですが

シクヌ ヒ アナクネ… アシクヌレ ヒ
 siknu hi anakne... a=siknure hi
 生きる ことは (私)生かす こと

命は助けられたことが

150 アエラムアン ヒ オラノ アエヤイコブンテク コロ
 a=eramuan hi orano a=eyaykopuntek kor
 (私)わかる こと それから (私)喜び ながら

わかって私が喜ぶと

アサ ネ ヤツカ
 a=sa ne yakka
 (私の)姉 であっても

姉も

エヤイコブンテク コロ カネ コロ カネ
 eyaykopuntek kor kane kor kane
 喜び ながら して ながら して

喜んで喜んで

ピリヒ カラ ヒ アナクネ
 pirihi kar hi anakne
 その傷 を治す ことは

傷の手に

アサ コアリキキ コロ アン アイネ
 a=sa koarikiki kor an ayne
 (私の)姉 一生懸命になっ て いる したあげく

姉は一生懸命頑張っていて

155 ネ… イキ アイネ
 ne... iki ayne
 その する したあげく

そうこうするうちに

ネン ポカ ヤイエラムアン ルウエ ネ コロカ
 nen poka yayeramuan ruwe ne korka
 何 とか 気がつく こと だ けれど

女性は何とか意識が戻りました。

ピリカノ ヤイエラムアン ルウエ カ
 pirkano yayeramuan ruwe ka
 よく 気がつく こと も

すっかり正気に戻ったのでは

ソモ キ プ ネ コロカ
 somo ki p ne korka
 しない の だ けれど

ないのですが

ネン ネン アカラ ネ ヤ キ ラポッケ
 nen nen a=kar ne ya ki rapokke
 いる いる (私)し たり する うちに

いろいろと手を尽くしているうちに

160 アサ コロ ワ オカイ ペ アミレ ネ ヤ
 a=sa kor wa okay pe a=mire ne ya
 (私の)姉 持っ て いる もの (私)着せる など

姉の着物を着せたり

サパハ ネ ヤツカ ウセイ アニ
 sapaha ne yakka usey ani
 その頭 であっても お湯 で

頭もお湯で

アサ ポプケレ ネ ヤ
 a=sa popkere ne ya
 (私の)姉 を暖める など

姉が暖めたり

ネン ネン イキ ロク アイネ
 nen nen iki rok ayne
 いろ いろ し た あげく

いろいろしているうちに

アシクヌレ ヒ アエパレ ルウエ ネ
 a=siknure hi a=epare ruwe ne
 (私)生かす こと (私)至る こと である

命を救うことができました。

165 コロカ オラ マク ネ ワ
 korka ora mak ne wa
 けれど こんど どう し て

しかしどういうわけで

エネ アン ワ… アパ ルウエ ネ ヤ
 ene an wa... a=pa ruwe ne ya
 こう し て (私)見つける こと だ か

あんな状態で私に発見されたのか

アコウウエペケンヌ カ アエランポキウエン
 a=kouwepekennu ka a=erampokiwen
 (私)尋ねる も (私)かわいそうに思う

尋ねるのもかわいそう

ペ ネ クス
 pe ne kusu
 もの だ から

なので

アコウウエペケンヌ カ ソモ キ ノ オカアン
 a=kouwepekennu ka somo ki no oka=an
 (私)尋ねる も しない で いる(私)

聞かずにいました。

170 ラポッケ オラ イキ アイネ
 rapokke ora iki ayne
 そのうちに こんど する したあげく

そうするうちに

ヤイエラムアン ルウエ ネ アクス
 yayeramuan ruwe ne akusu
 気がつく こと だったところ

女性は正気に戻ると

オラノ チサ チサ コロ パテク アン コロカ
 orano cis a cis a kor patek an korka
 こんど 何度も泣い て ばかり いる けれど

今度は泣いてばかりいて

エネ ネ ヒ カ イサム ペ ネ クス
 ene ne hi ka isam pe ne kusu
 どう する こと も ない もの だ から

どうすることもできないので

アコウウエペケンヌ カ ソモ キ。
 a=kouwepekennu ka somo ki.
 (私)尋ねる も しない

尋ねることもしませんでした。

175 オラ アプカシ カ エアイカプ。
 ora apkas ka eaykap.
 こんど 歩く も できない

女性は歩くこともできませんでした。

ケマハ カ カイ ワ ネ ノイネ
 kemaha ka kay wa ne noyne
 その足 も 折れ て いるようで

足が折れているらしく

アプカシ カ エアイカツペ ネ クス オラノ
 apkas ka eaykap pe ne kusu orano
 歩き も できない もの だ から こんど

歩くこともできないので

アサ ネ メノコ オウネウシ⁸ コロ
 a=sa ne menoko owneus kor
 (私の)姉 の 女性 世話をし? ながら

姉がその女性を世話しながら

オカアン ヒケ カ… コロ オカアン アイネ
 oka=an hike ka... kor oka=an ayne
 暮らす(私) して も ながら 暮らす(私) したあげく

暮らしていました。

180 タネ オホンノ
 tane ohonno
 もう しばらく

それからもう

トウ チュプ カ レ チュプ カ ネ ヤツカ
 tu cup ka re cup ka ne yakka
 2 月 も 3 月 も であつても

2月も3月もたちましたが

アプカシ エウエン ワ アプカシ エアイカツ ペ ネ クス
 apkas ewen wa apkas eaykap pe nekusu
 歩く に悪く て 歩け ない もの だ から 足が不自由で歩けないものですから

アサ オウネウシ コロ オカアン ラポッケ
 a=sa ouneus kor oka=an rapokke
 (私の)姉 世話をし? ながら 暮らす(私達) そのうちに

姉が世話をして暮らしているうちに

シネ アンチカラ
 sine ancikar
 ある 晩

ある夜

185 ウエンタラパン ルウエ ネ アクス
 wentarap=an ruwe ne akusu
 夢を見る(私) こと だつ たところ

私は夢を見ました。

カムイ ネ クス コラチ アン クル アン ヒネ
 kamuy ne kusu koraci an kur an hine
 神 だ から そのように いる 人 い て

神にふさわしい姿をした人がいて

エネ ハワシ。
 ene hawas.
 このように言った

このように言いました。

“タン ユペトウン ニシパ
 “tan Yupet un nispa
 これ ユペツ の 旦那さん

「これ、ユペツの男性よ。

イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ⁹。
 itak=an ciki e=inu katu ene an_hi.
 言う(私) したら (お前)聞く わけ こう いうこと

私の話すことをよく聞きなさい。

190 ソンノ アエコヤイライケ。
 sonno a=e=koyayrayke.
 本当に (私があなたに)感謝する

本当にあなたに感謝します。

テエタ カネ オリパク トウラ アプカサン¹⁰ ヒ タ
 teeta kane oripak tura apkas=an hi ta
 昔 おそれ慎む とともに 歩く(私) 時 に

昔、私が慎み深く歩いている時に

タン メノコ ウヌフ オナ ウタラ パクノ
 tan menoko unuhu ona utar pakno
 この 女性 の母 父 たち ほど

この娘と父母たちほど

ピリカケウトウムコロパ メッカ¹¹ ウタラ イサム ヒ
 pirkakewtumkorpa mekka utar isam hi
 良い心を持つ 上? 人たち いない こと

善良な者はなく

アオクンヌレ ヒ クス アン ペ
 a=okunnure hi kusu an pe
 (私)驚く だから ある もの

ほんとうに驚いたもの

195 タン メノコ ネ ルウェ ネ ア プ
 tan menoko ne ruwe ne a p
 この 女性 な の だった が

でした。それが

エネ アン ヤイウエンヌカラ コロ アン ヒ カ
 ene an yaywennukar kor an hi ka
 このように 苦しみ ながら いる ことも

こんな目に遭っているとも

アエランペウテク ノ アナン ラポッケ
 a=erampewtek no an=an rapokke
 (私)わからない で いる(私) そのうちに

知らずにいるうちに

エオナハ カムイ シセレマクシテ ヒ
 e=onaha kamuy sisermakuste hi
 (お前の)父 神 自分の背後で守る こと

あなたの父親が加護を

カムイ エピッタ イェ コロ アン コロ
 kamuy epitta ye kor an kor
 神 みんな 言っ て いる と

神々に頼んでいて

200 エアシリ アマツネポ ネ アアン ヒ
 easir a=matnepo ne aan¹² hi
 初めて (私の)娘 だった こと

そこで初めて私の守護する娘だと

9 前掲の『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800084によると、このセリフの主はレプンカムイ repunkamuy「沖の神」であり、人間の娘を気に入り守護していることを示すのが前出の耳輪であると説明されている。そしてそのことが悲劇の発端となったことはこの後の語りでわかる。

10 レプンカムイ repunkamuy (沖の神)はシャチ神であるとされている。口承文芸中まるで雷神や伝染病の神のように旅をするという表現は珍しい。

11 メッカ mekka「上」と聞こえるが、何かを言いよんでいるのかも知れない。

12 アアン aan は完了を表す助動詞 a よりも、より「こういうことが後からわかった」というニュアンスで使われる。

アエラムアン ヒ オラ アエコアスラニ。
 a=eramuan hi ora a=e=koasurani.
 (私)わかる してから (私がお前に)知らせる

わかってあなたに知らせました。

エアニ ヘネ ネ ヤクン
 eani hene ne yakun
 あなた でも である ならば

あなたなら

タン メノコ エシクヌレ
 tan menoko e=siknure
 この 娘 (お前)生かす

この娘を生かす

エアシカイ クニ アラム ワ
 easkay kuni a=ramu wa
 ことができる と (私)思っ て

ことができると思って

205 アエコアスラニ ヒ ネ ナ”
 a=e=koasurani hi ne na”
 (私があなたに)知らせる の です よ

あなたに知らせたのですよ」

セコロ アン… カムイ ネ クス コラチ アン クル
 sekor an... kamuy ne kusu koraci an kur
 と いうこと 神 だ から そのように いる 人

と、神々しい姿をした人が

ハウエアン ヤク アタカラ ワ
 hawean yak a=takar wa
 言う と (私)夢を見 て

話した夢を見ました。

オラノ ポ ヘネ
 orano po hene
 それから なおいっそう

それからなおいっそう

ネ メノコ ネウン ヤイエウエン ヤッカ
 ne menoko neun yayewen yakka
 その 女性 どんなに 体が不自由であっ ても

その女性がどんなに体が不自由でも

210 アシクヌレ クニネ
 a=siknure kunine
 (私)を生かす ように

生きられるようにと

カムイ サシニ¹³ ネ ワクス
 kamuy sasini ne wakusu
 神 の子孫 なの だから

神の子だったから

ニンカリ カ オアン ニンカリ ネ ヤッカ
 ninkari ka oar_ ninkari ne yakka
 耳輪 も 片方の 耳輪 であつても

耳輪も片方だけ

キサラ エオコク カネ アン ペ
 kisar eokok kane an pe
 耳 につけ ながら いる もの

耳につけていたのだ

13 実際の音はサシミ sasimi と聞こえる。

セコロ ヤイヌアン コロ
 sekor yaynu=an kor
 と 思う(私) ながら

と思いながら

215 アピリカイペレ アピリカトムテ コロ
 a=pirkaipere a=pirkatomte kor
 (私)よく食べさせる (私)よい着物を着せ ながら

おいしいものを食べさせ、よいものを着せて

オカアン アイネ イキ アイネ
 oka=an ayne iki ayne
 暮らす(私) し続けて そうする うちに

暮らしていました。そうするうちに

ヤイエウエン コロ ネ ヤツカ
 yayewen kor ne yakka
 体が不自由であり ながら で も

体が不自由なりに

アプカシ エアシカイ ヒ オラ
 apkas easkay hi ora
 歩く ことができる してから

歩けるようになると

アオナハ シネ アン タ エネ ハウエアニ。
 a=onaha sine an ta ene hawean _hi.
 (私の)父 ある時 このように言った

ある時父はこのように言いました。

220 “カツケマツ カムイ¹⁴ マク ネ…
 “ katkemat kamuy mak ne…
 お嬢 様 どう

「お嬢さん

ネウン クル ネウン オナ ウヌ ネ ヤツカ
 neun kur neun ona unu ne yakka
 どんな 人 どんな 父 母 で も

どんな人、どんなお父さんお母さんでも

ポ ネ マヌ プ エポタラ ヒ
 po ne manu p epotara hi
 子 と という ものを心配する こと

子供のことを心配する気持ちに

ウエホシ カ ソモ ネ。
 uehosi ka somo ne.
 違い も ない

違いはないものだ。

エネ ネウン ポンメノコ ネ ヤ
 ene neun ponmenoko ne ya
 こう 小さな 若い娘 だ か

どんな娘さんかも

225 アエランペウテク ノ エネ アン ワ
 a=erampewtek no ene an wa
 (私)わからない で こうしてい て

知らずにこうしているが

エパ ワ エトウラ ワ エエク ルウエ ネ ヤクン
 e=pa wa e=tura wa e=ek ruwe ne yakun
 (お前を)見つけて (お前を)連れ て (お前)来る の ならば

息子があなたを見つけて連れて来たのだから

14 この場合のカムイ kamuy は尊称。「神」と訳せる場合の他に「～様」というニュアンスでも使われる。

フナク ウン ポンメノコ ネ ヤ
 hunak un ponmenoko ne ya
 どこ の 若い女性 だ か

どこの娘さんなのか

アコウエペケンヌ ヤク ピリカ ナ¹⁵⁾
 a=kouwepekennu yak pirka na?
 (私)わけを尋ねる と いい よ

事情を聞かせてくれないか」

セコロ アオナハ ハウエアン ルウエ ネ ヒネ
 sekor a=onaha hawean ruwe ne hine
 と (私の)父 言う の です そして

と父は言いました。

230 オラ エアシリ アコオリパク コロ
 ora easir a=kooripak kor
 こんど 改めて (私)遠慮し ながら

すると娘は本当にかしこまって

チシ コロ パテク アン ヒ
 cis kor patek an hi
 泣い て ばかり いる こと

泣いてばかりいるのが

ポ ヘネ アケムヌ プ ネ クス
 po hene a=kemnu p ne kusu
 なおさら (私)あわれむ もの だ から

なおさらかわいそうなので

アコオリパク コロ オラ
 a=kooripak kor ora
 (私)遠慮し ながら こんど

聞くのをはばかっていたましたが

シネアンタ アコウエペンヌ アクス
 sineanta a=kouwepennu akusu
 ある時 (私)わけを尋ね たところ

ある時私は尋ねました。

235 “ネウン ポンメノコ ネ ワ
 “neun ponmenoko ne wa
 どこの 若い女性 であって

「どこの娘さんで

エネ チシ コロ パテク アン ヒ ネ ヤ
 ene cis kor patek an hi ne ya
 このように 泣い て ばかり いる の だ か

そのように泣いてばかりいるのか

アエランペウテク コロカ
 a=erampewtek korka
 (私)わからない けれど

わかりませんが

アコウエペンヌ カ アエランポキウエン ワ
 a=kouwepennu ka a=erampokiwen wa
 (私)わけを尋ねる も (私)かわいそうに思っ て

聞くのも気の毒で

アコウエペケンヌ カ ソモ キ ノ
 a=kouwepekennu ka somo ki no
 (私)わけを尋ね も しない で

聞かないで

15 ピリカ ヤ? pirka ya? と言おうとしたものか。

240 テ パクノ オカアン ルウエ ネ ア コロカ
 te pakno oka=an ruwe ne a korka
 ここ まで 暮らす(私) こと だっ た けれど

今まで暮らしていたのですが

フナク タ オナ… ウヌフ オナハ
 hunak ta ona... unuhu onaha
 どこ に 父 母 父

どこにお母さんやお父さんが

コロ ペ ネ ルウエ ネ ヤ
 kor pe ne ruwe ne ya
 持つ もの な の だ か

いるのか

イエ ワ イヌレ ヤク ピリカ ナ”
 ye wa i=nure yak pirka na”
 言っ て (私に)聞かせる と いい よ

私に聞かせてください」

セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
 sekor hawean=an ruwe ne akusu
 と 言う(私) こと だっ たところ

と私が言ったところ

245 オラノ チサ チサ コロ アン アイネ
 orano cis a cis a kor an ayne
 こんど 泣き に 泣き ながら いる あげく

娘はずっと泣いていましたが

オラ エネ ハウエアニ。
 ora ene hawean _hi.
 こんど このように言った

このように言いました。

“アオナハ アウヌフ ポロ ユペトウン
 “a=onaha a=unuhu poro Yupet un
 (私の)父 (私の)母 大きい ユペツ の

「私の父母はユペツ本流の

コタン ウン ニシパ アオナハ ネ ヒネ
 kotan un nispa a=onaha ne hine
 村 の 長 (私の)父 であっ て

村に住んでいて、父は村長でした。

オカアナ¹⁶
 oka=an _wa

暮らす(私) して

250 アユピヒ カ トウン アン アサ カ アン ヒネ
 a=yupihi ka tun an a=sa ka an hine
 (私の)兄 も ふたり いる (私の)姉 も い て

兄が2人に姉もいて

オカアン ペ ネ ヒケ
 oka=an pe ne hike
 暮らす(私) もの だ が

暮らしていたのですが

マク ネ ワ ネ ヤ
 mak ne wa ne ya
 どう し て だ か

一体どういうわけか

16 アン=an とア a= の間の単なる挿入音か。

エアラキンネ アオナハ アウヌフ アユプタリ
earkinne a=onaha a=unuhu a=yup utari
本当に (私の)父 (私の)母 (私の)兄 たち

父母と兄たちは

イエヤム ワ イワ… ネプ カ アカリ カ
i=eyam wa iwa... nep ka a=kar hi ka
(私を)大切に して 何 も (私)する こと も

とても私を大事にして、何をしようとしても

255 イココパン コロ オカアン。
i=kokopan kor oka=an.
(私を)拒み ながら 暮らす(私)

しないでいいからと言います。¹⁷

ニナアン カ ソモ キ
nina=an ka somo ki
薪をとる(私) も しない

私は薪とりもせず

ネプ カ アカラ カ ソモ キ ノ
nep ka a=kar ka somo ki no
何 も (私)する も しない で

何もしないで

ヘル ケメイキ パテク アキ コロ
heru kemeyki patek a=ki kor
ただ 針仕事をする ばかり (私)し ながら

ただ針仕事ばかりしながら

チセ オンナイ タ アナン オラ
cise onnay ta an=an ora
家 の中 で 暮らす(私) こんど

家の中で過ごしていました。

260 アサ アナクネ ニナ ネ ヤ スケ ネ ヤ
a=sa anakne nina ne ya suke ne ya
(私の)姉は 薪とり でも 炊事 でも

姉は薪とりでも炊事でも

キ コロ アン ヤツカ
ki kor an yakka
し て いる が

していましたが

アカスイ カ ソモ キ ノ アナン ペ ネ ア プ
a=kasuy ka somo ki no an=an pe ne a p
(私)手伝う も しない で 暮らす(私) もの だった が

私は手伝うこともしないでいました。

シネアンタ アサ エネ ハウエアニ。
sineanta a=sa ene hawean hi.
ある時 (私の)姉 このように言った

あるとき姉が

トウレプタアン ルスイ クス イトウラ
'turepta=an rusuy kusu i=tura'
ウバユリを掘る(私) したい ので (私を)連れる

『オオウバユリを掘りたいからついておいで』

265 セコロ アサ ハウエアン ヒ クス
sekor a=sa hawean hi kusu
と (私の)姉 言う だから

と言うので

17 前掲の『ほっかいどうアイヌ語アーカイブ』CC800084 で質問者が「この娘は耳輪をつけて生まれて来たのではないか」というのに対して上田トシ氏は肯定も否定もしておらず、どの時期から耳輪をしていたのかは不明だが、この娘の家族は神の加護を受ける子であるため大切に育てていたことを示している。

ネ… トウレプタアン カ エキムネアン カ
 'ne... turepta=an ka ekimne=an ka
 その ウバユリを掘る(私) も 山に行く(私) も

『オオウバユリ掘りも山仕事も』

ソモ キ ノ アナン ペ
 somo ki no an=an pe'
 しない で いる(私) のに

『したことがないのに』

セコロ ハウエアナン ヤツカ
 sekor hawean=an yakka
 と 言う(私) しても

と私は言いました

イシレン ヒ クス オラ
 i=siren hi kusu ora
 (私を)連れる だから こんど

それでも誘うので

270 アトウラ ヒネ エネ トウレプタアン クス
 a=tura hine ene turepta=an kusu
 (私)連れ て こう ウバユリを掘る(私) ために

連れ立ってオオウバユリ掘りに

ペツ トウラシ パイエアン ルウエ ネ アクス
 pet turasi paye=an ruwe ne akusu
 川 川上の方へ 行く(私) こと だったところ

川をさかのぼって行きました。すると

ピリカ トウレプ トイ アニネ オロワノ
 pirka turep toy an_hine orowano
 いい ウバユリ 群生地 あって それから

いいオオウバユリの群生地がありました。

オロ タ トウレプタ アタ ア アタ ア ヒネ
 oro ta turepta a=ta a a=ta a hine
 そこ で ウバユリ掘り (私)何度も掘っ て

そこでオオウバユリをたくさん掘っては

フムネ アン タ アウウエカリレ コロ アナン アクス
 humne an ta a=uwekarire kor an=an akusu
 時には (私)集め ながら いる(私) したところ

時々集めていると

275 アサ エネ ハウエアニ。
 a=sa ene hawean hi.
 (私の)姉 このように言った

姉はこのように言いました。

シンキアン クス ウコムイアン ロ
 'sinki=an kusu ukomuy=an ro'
 疲れた(私) ので 束ねる(私たち) しましょう

『疲れたので束ねましょう』

セコロ アサ ハウエアニ コロカ
 sekor a=sa hawean korka
 と (私の)姉 言う けれど

と姉は言うのですが、私は

キ カ アサク ペ ネ クス
 'ki ka a=sak pe ne kusu
 カヤ も (私)ない もの だ から

『カヤがないと』

ウコムイアン カ アエトランネ クス ピリカ
 ukomuy=an ka a=etoranne kusu pirka'
 束ねる(私) も (私)しにくい ので いい

束ねづらいからいい』

- 280 セコロ ハウエアナン アクス オラ モシマノ
sekor hawean=an akusu ora mosmano と言ってかまわずに
 と 言う(私) したところ こんど 別に
- トウレプ エトウ アチャ コロ アン ア プ オラ スイ
turep etu a=ca kor an a p ora suy ユリ根を切り取っていると、また
 ウバユリ の先 (私)刈っ て い た のにこんど また
- シンキアン クス シニアン ロ
 'sinki=an kusu sini=an ro'
 疲れた(私) ので 休む(私) しよう 『疲れたから休みましょう』
- セコロ スイ ハウエアナン コロカ
sekor suy hawean korka と言うのですが
 と また 言う けれど
- シンキアン カ ソモ キ ルウエ ネ
 'sinki=an ka somo ki ruwe ne'
 疲れる(私) も しない こと だ 『疲れていないよ』
- 285 ヤク アイエ コロ
yak a=ye kor と言って
 と (私)言っ て
- トウレプ エトウ アチャ コロ アナン ア プ セコロ
turep etu a=ca kor an=an a p sekor ユリ根を切り取っていると、急に
 ウバユリ の先 (私)刈っ て いる(私) た 途端に
- アサパ¹⁸ テッコノイエ ヒ パテク
a=sapa tekkonoye hi patek 私の髪の毛を手でねじり上げたところまでは
 (私の)頭 手でねじり上げる ことまで
- アエラムアン ワ オラ
a=eramuan wa ora 覚えていて、それから
 (私)覚える して こんど
- エネ ネウン イカラアン ヒ カ エランペウテク ノ
ene neun ikar=an hi ka erampewtek no どうなったのかわからずに
 どのように される(私) ことも をわからない で
- 290 アナン ア プ
an=an a p いたのですが
 いる(私) だったが
- エネ マカナク アカトウフ アン。
ene makanak a=katuhu an. どういうわけかこんな姿になりました。
 こう どんな (私の)格好 だろう
- イキアン ヒネ
iki=an hine そうするうちに
 する(私) して

18 サバウシペ sapauspe 「髪の毛」と言おうとしたのだろう。

エネ アイコオシコニ ワ
ene a=i=kooskoni wa
このように (人が私を)追いかけて

こうしてあなたが駆けつけて

アイシクヌレ ルウエ ネ ヒ コロカ
a=i=siknure ruwe ne hi korka
(人が私を)生かす の だ ことけれど

私の命を救ってくれましたが

295 ヤイエカトウアン カトウフウエンアン ワ…
yayekatuan katuhuwen=an wa…
自分で格好が悪い 体が不自由になる(私) して

体が不自由になり、それが恥ずかしくて

エネ アイエ ヒ カ イサム。
ene a=ye hi ka isam.
どう (私)言う ことも ない

言うべき言葉もありませんでした。

ポ ヘネ オリパカン アイネ
po hene oripak=an ayne
なおさら 遠慮をする(私) したあげく

なおさら遠慮をしながら

チシ パテク アキ コロ アナン ルウエ ネ”
cis patek a=ki kor an=an ruwe ne”
泣く ばかり (私)して いる(私) の です

このように泣いてばかりいたのです」

セコロ ハウエアン ルウエ ネ イネ
sekor hawean ruwe ne hine
と 言う こと であって

と言うので

300 イヨクンヌレアン ロク イヨクンヌレアン ロク
iyokunnure=an rok iyokunnure=an rok
何度も驚く(私達)

驚くやらあきれるやら

アオナハ ネ ヤッカ イヨクンヌレ。
a=onaha ne yakka iyokunnure.
(私の)父 で も 驚く

父も

ヤイカタ カ アオクンヌレ コロ オカアン
yaykata ka a=okunnure kor oka=an
自分で も (私達)驚い て いる(私達)

私たちも驚きあきれてしまいました。

ラポッケ タネ ヤイエウエン コロカ
rapokke tane yayewen korka
そのうちに もう 体が不自由だ けれど

そのうちにもう体が不自由なりに

アプカシ エアシカイ ヒ クス… ヤクン
apkas easkay hi kusu... yakun
歩く ことができる それから ならば

歩けるようになると

305 アオナハ シネアンタ エネ ハウエアニ。
a=onaha sineanta ene hawean hi.
(私の)父 ある時 こう 言った

父はある時このように言いました。

“イオナネ クル イウヌネ クル ウタラ
“ionane kur iunune kur utar
父である 人 母である 人 たち

「ご両親が

ポタラ ヒ ウエホシ カ ソモ キ ナンコン ナ。
 potara hi uehosi ka somo ki nankor_ na.
 心配する こと 違い も ない だろう よ

心配しているに違いない。

カッケマツ ルラパ…パ ヤク ピリカ ナ”
 katkemat rurapa...pa yak pirka na”
 お嬢さん を送って行く と いい よ

お嬢さんを送ってあげなさい」

セコロ アオナハ ハウエアン ルウエ ネ ヒネ オラ
 sekor a=onaha hawean ruwe ne hine ora
 と (私の)父 言う こと だ そして こんど

と父が言って

310 アサ トウラノ レン アネ ヒネ
 a=sa turano ren a=ne hine
 (私の)姉 と一緒に 3人 (私達)になって

姉と一緒に3人で

アルラ クスネ イ
 a=rura kusne _hi
 (私達)送って行く つもりだ こと

家に送ってあげようと

アイェ アクス オラノ ポ ヘネ チシ コロ オラ
 a=ye akusu orano po hene cis kor ora
 (私)言っ たところ こんど なおさら 泣き ながら こんど

言うと娘は一緒になおさら泣きながら

アトウラ ヒネ ペツ トウラシ パイエアン。
 a=tura hine pet turasi paye=an.
 (私達)連れ立って 川 を川上に 行く(私)

私たちは連れ立って川を上って行きました。

アプカシ エウエン ノイネ アン ウシケ タ ネ アナクネ
 apkas ewen noyne an uske ta ne anakne
 歩く しにくい ような 場所 に なると

歩きづらいようなところは

315 アカイ カネ ワ ナイ トモトウイェ ネ ヤ
 a=kay kane wa nay tomotuaye ne ya
 (私)背負い も して 川 を渡る など

私が娘を背負って川を渡ったり

サマムニ トモトウイェ ネ ヤ アキ コロ
 samamni tomotuaye ne ya a=ki kor
 倒木 を横切る など (私)し ながら

倒木を越えたりしながら

ペツ トウラシ パイエアン アイネ
 pet turasi paye=an ayne
 川 を川上へ 行く(私) したあげく

川をさかのぼっていくと、やがて

ポロ ユペトウン アオラン ヒ オラ
 poro Yupet un a=oran hi ora
 大きい ユペツ に (私)下り てから

ユペツ本流に出て

サパン ルウエ ネ アクス
 sap=an ruwe ne akusu
 下る(私) こと だっ たところ

下っていくと

320 ソンノ カ インネ コタン アン イネ
 sonno ka inne kotan an _hine
 本当に も 大勢の 村 あっ て

本当に大きな村がありました。

ネ コタン ノシキ タ ウニヒ¹⁹ ネ ヤク イェ コロ
 ne kotan noski ta unihi ne yak ye kor その村の真ん中の家がわが家ですと言いながら
 その 村 の真ん中 に の家 だ と 言い ながら

エウン アフン ヒ クス
 eun ahun hi kusu そこへ 入る ので
 そこへ 娘が入ったので

ナニ オシ アフナン ルウエ ネ アクス
 nani os ahun=an ruwe ne akusu すぐに私たちも入りました。すると
 すぐ 後 入る(私達) の です すると

オンネ クン ルプネマツ
 onne kur_ rupnemat 年老いた男性と女性が
 老 紳士 老婦人

325 ヘムイムイェ ワ ホツケ ワ オカ。
 hemuymuye wa hotke wa oka. 頭から着物を被って寝ていました。²⁰
 着物を被っ て 寝 て いる

イユプネ ウタラ カ ヘムイムイェ ワ
 iyupne utar ka hemuymuye wa 兄たちも頭から着物をかぶって
 兄である 人たち も 着物を被っ て

ホツケ ワ オカ ルウエ ネ ノイネ アン イネ
 hotke wa oka ruwe ne noyne an _hine 寝ているようで
 寝 て いる の である ようで あっ て

ネ マヌ プ… イサネ メノコ シネ メノコ
 ne manu p isane menoko sine menoko 例の姉ひとり
 と いう もの 姉である 女性 ひとり 女性

タクピ モイモイケ コロ アン ヒネ
 takupi moymoyke kor an hine だけが働いていました。
 だけ 働い て い て

330 オロ タ アフパン ルウエ ネ イネ オラ
 oro ta ahup=an ruwe ne _hine ora そこに私たちが入って行って
 そこ に 入る(私達) の だ そして こんど

“アオナ アオナ アウヌ
 “a=ona a=ona a=unu 「お父さんお父さん、お母さん
 (私の)父 (私の)父 (私の)母

シクヌアン ワ エカン ナ”
 siknu=an wa ek=an na” 生きて帰ってきましたよ」
 生きる(私) して 来る(私) よ

セコロ ハウエアン イケ カ
 sekor hawean _hike ka と娘が言っても
 と 言っ て も

19 「村の真ん中にある立派な家」という表現はこの娘が村長の娘であることを示している。

20 (腹が立って / 情けなくて / 悲しくて) 着物 (=掛け布団) を頭からかぶって寝ている。[田]

ヘムイ カ シムヤムヤパ ワ
 hemuy ka simuyamuyapa wa
 着物を被る も 体を揺すって嫌がっ て

着物をかぶったまま体を揺すっていやがって

335 ニサプ ノ
 nisap no
 すぐ に

すぐには

(娘が語る)

イヌカラ カ ソモ キ ノ オカ ロク ヒネ
 i=nukar ka somo ki no oka rok hine
 (私を)見 も しない で い た そして

私を見ることもしません。

パラパラカン コロ アコヘムヘム²¹ プ ネ クス
 paraparak=an kor a=kohemuhemu p ne kusu
 大泣きする(私) ながら (私)うなずく もの だ から

私が大声で泣きながらうなずくもので

アキサハ ヌカラ コロ エアシリ
 a=kisaha nukar kor easir
 (私の)耳 を見 て 初めて

私の耳輪を見て初めて

“アマツネポ” セコロ ハウエオカ コロ
 “a=matnepo” sekor haweoka kor
 (私の)娘 と 言い ながら

「娘よ」と言って

340 ウコパラパラク コロ
 ukoparaparak kor
 互いに大泣きし ながら

一緒に声をあげて泣きながら

“タネ ウシクタ
 “tane usikta
 今 ごろに

「今になって

シクヌ ワ エク クニ アラム カ ソモ キ。
 siknu wa ek kuni a=ramu ka somo ki.
 生き て 来る と (私)思う も しない

生きて帰るとは思わなかった。

ヒナク ワ シクヌ ワ エイキ ワ
 hinak wa siknu wa e=iki wa
 どこ で 生き て (お前)い て

どこで生きていて

エカン ルウエ ネ ヤ?”
 ek=an ruwe ne ya?”
 来る(人) の だ か

帰って来たのか」

345 イイエコバ²² コロ オラ パラパラクパ。
 i=yekopa kor ora paraparakpa.
 (私に)言う? ながら こんど 大泣きする

と私に言いながら大声で泣きました。

21 コヘムヘム ko-hemuhemu ~に対して・うなずく。

22 不詳。

ネ イユブネ²³ クル ウタラ カ ホブンパ イネ
 ne iyupne kur utar ka hopunpa _hine
 その 兄である 人 たち も 起き て

兄たちも起きて

“アマタキ”
 “a=mataki”
 (私の)妹

「妹よ」

セコロ ハウエオカ コロ イカタライランケ。²⁴
 sekor haweoka kor ikatarayranke.
 と 言い ながら ?

と言いながら

パラパラクパ ルウエ ネ ヒネ オラ
 paraparakpa ruwe ne hine ora
 大泣きする こと であっ て こんど

大声をあげて泣きました。

(ユベツの男性が語る)

350 ネア オンネクル²⁵ エネ ハウエアニ。
 nea onnekur ene hawan _hi.
 その 老紳士 このように言った

その老人はこのように言いました。

“アマツネポホ ポロ アマツネポ トウラ ワ
 “a=matnepoho poro a=matnepo tura wa
 (私の)娘 大きい (私の)娘 を連れ て

「姉が妹を連れて

ヒナク ウン トウレプタ クナク イェパ コロ
 hinak un turepta kunak yepa kor
 どこ に ウバユリを掘る と 言い ながら

どこかにオオウバユリを掘りに行くと言って

エキムネ ア プ オラ
 ekimne a p ora
 山に行っ た のに こんど

山に行ったのに

プイネ イワク イ クス
 puyne iwak _hi kusu
 ひとりで 帰る だから

ひとりで帰って来たので

355 マク ネ ヒネ プイネ イワク ネ ヤ
 ‘mak ne hine puyne iwak ne ya’
 どう し て ひとりで 帰る のだか

『どうしてひとりで帰って来たんだ』

アコウウエペケンヌ アクス
 a=kouwepekennu akusu
 (私)尋ねる したところ

と尋ねると

ペトルン ワッカ ク ヤク イェ コロ
 ‘pet or un wakka ku yak ye kor
 川 の所で 水 を飲む と 言い ながら

『(妹が)水を飲むと言って

23 実際の発音はイユクネクル iyuknekur と聞こえる。以下いくつかの箇所と同様の発音になっている。

24 不明。

25 話者が娘であればアオナハ a=onaha 「私の父が」というべき所。

ペトルン ラン ア プ
 pet or un ran a p
 川 の所に 下り た のに

川に下りていったのに

エクシコンナ オウオッチウ ヒネ
 ekuskonna owotciw hine
 突然 水に落ち て

急に水に落ちて

360 モム ワ ヒ クス
 mom wa hi kusu
 流れる して だから

流れられてしまったのです。

オシ アケサンパ ヤツカ
 os a=kesanpa yakka
 後から (私)追いかけた が

追いかけたけれど

ペツ ポロ プ ネ クス
 pet poro p ne kusu
 川 大きい ものだ から

川が大きいので

アトウライヌ ワ イワカン ルウェ ネ
 a=turaynu wa iwak=an ruwe ne'
 (私)見失っ て 帰る(私) の だ

見失って帰って来たのです』

セコロ ハウエアン コロ プイネ イワク ワ
 sekor hawean kor puyne iwak wa
 と 言い ながら ひとりで 帰っ て

と言ってひとりで帰って来た。

365 オラノ ケシト ケシト
 orano kesto kesto
 それから 毎日 毎日

それから毎日毎日

アウタリ トウラノ ペトロ ペカ
 a=utari turano pet oro peka
 (私の)村人 と一緒に 川 の所 一帯を

村人と一緒に川じゅうを

アフナラ ヤツカ
 a=hunara yakka
 (私)探す しても

探したが

アパ ソモ キ ヤク イエパ コロ
 'a=pa somo ki' yak yepa kor
 (私)見つからない と 口々に言いながら

『見つからない』と口々に言って

イワクパ プ ネ クス
 iwakpa p ne kusu
 帰る ものだ から

帰って来るので

370 タネ ウシクタ アナクネ
 tane usikta anakne
 今 ごろ は

もう今ごろに

アマツネポ シクヌ ワ エク クニ
 a=matnepo siknu wa ek kuni
 (私の)娘 生き て 来る と

娘が生きて帰って来るとは

アラム カ ソモ キ ノ
 a=ramu ka somo ki no
 (私)思い も しない で

思わずに

アコヘムイムイエ コロ オカアン ロク ア プ、
 a=kohemuymuye kor oka=an rok a p,
 (私達)着物を被っ て 暮らす(私達) だっ た が

頭から着物を被って暮らしていたのだが

カムイ アン ペ ソネ クス
 kamuy an pe sone kusu
 神 いる もの 本当 なので

神がいるのは本当なので

375 アマツネポ シクヌ ワ エク”
 a=matnepo siknu wa ek”
 (私の)娘 生き て 来る

娘が生きて帰った」

セコロ ハウエオカパ コロ ウコパラパラク
 sekor haweokapa kor ukoparaparak
 と 口々に言い ながら 一緒に大泣きする

と言って一緒に泣きました。

ヒ オラ ネ イユブネ クル ウタラ
 hi ora ne iyupne kur utar
 それ から その 兄である 人 たち

そして兄たちは

エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように言った

このように言いました。

“アサ ウェンカムイ²⁶
 “a=sa wenkamuy
 (私の)姉 悪いやつ

「姉のやつめ

380 ウェン ケウトウム コロ ワ
 wen kewtum kor wa
 悪い 心 を持つ て

悪い心を抱いて

エネ アマタキヒ ライケ ワ オラ
 ene a=matakihi rayke wa ora
 このように (私の)妹 を殺し て こんど

こうして妹を殺しておいて

エネ オウオッチウ セコロ
 ene owotciw sekor
 このように 水に落ちる と

水に落ちたと

スンケ コロ イワク ヒネ アン”
 sunke kor iwak hine an”
 嘘をつい て 帰っ て いる

嘘を言って帰って来ていたのだ」

ヒ オラ エアシリ ネ イサネ メノコ ハウエアン ヒ。
 hi ora easir ne isane menoko hawean hi.
 それ から 初めて その 姉である 女性 言った こと
 するとようやく姉がこう言いました。

26 この場合のカムイ kamuy は「やつ」という程度の意味で、尊敬の念はもちろん含まれていない。

385 “マク ネ ヒネ シネ トウイ²⁷ オロ ワ
 “ mak ne hine sine tuy oro wa
 どう し て ひとつ 腹 の所 から

「一体どうして、ひとつの腹から

ヘトウクパアン ペ アネパ ルウエ ネ ヒケ オラ
 hetukpa=an pe a=nepa ruwe ne hike ora 生まれた私たちなのに
 生まれる(私達) もの(私達)である こと だ のに こんど

アマタキ アナクネ ネプ カ アカレ ヒ カ
 a=mataki anakne nep ka a=kare hi ka 妹には何も
 (私の)妹 は 何 も (人)させる ことも

スケ ポカ ネプ カ アカレ ヒ カ
 suke poka nep ka a=kare hi ka 炊事も何も
 炊事 でも 何 も (人)させる ことも

アオナハ ウタリ ウココパン ワ パテク
 a=onaha utari ukokopan wa patek 『しないでもいいよ』と言うばかり。
 (私の)父 たち 互いに拒む して ばかり

390 ピリカノ スクプヌ コロパ ワ オラ
 pirkano sukupnu korpa wa ora お父さんたちはとてもかわいがって育てたけど
 よく 豊かな成長 を持つ て こんど

ヤイカタ イヘコテ アナクネ
 yaykata i=hekote anakne 私に対しては
 自分で (私に)対して は

ウエン ウッシウ ネ イカラ。
 wen ussiw ne i=kar. 召使いのようにこき使いました。
 貧しい 使用人 として(私を)する

ニナ ネ ヤ スケ ネ ヤ ネプ ネ ヤッカ
 nina ne ya suke ne ya nep ne yakka 薪とりでも炊事でも何でも
 薪とり でも 炊事 でも 何 でも

ウエン ウッシウ ネ イカラ ワ
 wen ussiw ne i=kar wa 召使いのようにこき使って
 貧しい 使用人 として(私)し て

395 エイタサ アマタキ アコヌコシネ ワクス
 eytasa a=mataki a=konukosne wakusu あまりに妹が憎らしいので
 あまりにも (私の)妹 (私)憎い ので

アライケ フムネ クナク アラム コロ
 a=rayke humne kunak a=ramu kor 殺してやろうと思って
 (私)殺す ときには と (私)を思い ながら

ペトルン アオスラ プ
 pet or un a=osura p 川に捨てたのに
 川 の所に (私)捨てる のに

27 トウイ tuy は通常「魚などはらわた」を意味するが、この場合は「お母さんのお腹」という意味。

タネ アナクネ ネ ウェン ケウトウム アコロ ア ヒ
 tane anakne ne wen kewtum a=kor a hi もう私の悪だくみを
 今 は その 悪い 心 (私)持っ た こと

カムイ ネ ヤッカ イコホサリ ワ
 kamuy ne yakka i=kohosari wa 神様が見透かして
 神 であっても (私に)振り向い て

400 ウェン サンペ ネ ウェン ケウトウム アコロ ア ヒ
 wen sampe ne wen kewtum a=kor a hi 悪い心、悪い企みを私が持ったことで
 悪い 心 その 悪い 心 (私)持っ た こと

アイコオシコニ ワ ネ ヤクン タネ アナクネ
 a=i=koosikoni wa ne yakun tane anakne 私が捕まるのなら、もう
 (人が私に)追いかけて である ならば 今 は

ネウン アイカラ ヤッカ ピリカ ルウェ ネ²⁸
 neun a=i=kar yakka pirka ruwe ne” どうされてもいい」
 どのように (人が私に)し ても いい の だ

セコロ ヤイカタ ヤイエイタク ペ ネ クス
 sekor yaykata yayeytak pe ne kusu と白状したので
 と 自分で 自分で言う もの だ から

ネ イユブネ クル ウタラ ナニ
 ne iyupne kur utar nani 兄たちがすぐさま
 その 兄である 人 たち すぐに

405 ネ メノコ サパウシペ テッコノイエ オラノ
 ne menoko sapauspe tekkonoye orano その娘の髪の毛をつかんで
 その 女性 髪の毛 手でねじる それから

ウェン パラコアツ ヒ イエパ コロ
 wen parkoat hi yepa kor ひどくののしりながら
 ひどく 罰が当たる こと 言い ながら

トイコキッキクパ ヒネ エソイネ オスルパ。
 toykokikkikpa hine esoyne osurpa. さんざん殴りつけて家の外に放り出して
 ひどく殴りつける して 外に 捨てる

コムンウフイカ トウムン コヌンヌイパ
 komun'uhuyka tumun konunnuypa ごみと一緒に焼き、ちりと一緒に掃きました。
 ごみと一緒に燃やす ごみ と一緒に掃く

(娘が語る)
 ヒ オラ エアシリ
 hi ora easir そしてようやく
 それから 初めて

410 “ タプネ カネ ネ ワ
 “ tapne kane ne wa 「このようなわけで
 このようなわけ であっ て

28 この話のように姉がないがしろにされて妹に殺意を抱くという散文説話のパターンがあるが、逆にいかにも姉があやしいように見えて真犯人が別にいるという場合もある。核心を推理しながら聞き進むのもアイヌ口承文芸の醍醐味である。

ペトツ タ アン メノコ ネ ワ
 pet or_ ta an menoko ne wa
 川 の所 に いる 女性 であって

川にいた女性を

アパ ヒネ ヒネ²⁹⁾
 a=pa hine hine”
 (私)見つけ て そして

私が見つけたのです」

ユペトウン クル イエ ワ
 Yupet un kur ye wa
 ユベツ の 人 言っ て

ユペツの人がそう言って

イオナネ クル ウタラ ネ ヤツカ
 ionane kur utar ne yakka
 父である 人 たち であっても

父親たちにも

415 エウン イコイソイタク イキ ロク アイネ
 eun i=koisoytak iki rok ayne
 に (私に)話をする し た したあげく

一緒にいろいろ話をして

ヒネ アシクヌレ ヒ ネ ヤ
 hine a=siknure hi ne ya
 そして (私)生かす ことでも

そして命を救ってくれたことも

コイソイタク ペ ネ クス
 koisoytak pe ne kusu
 話をする もの だ から

(ユベツの男性が)話したので

イヨクンヌレ ロク イヨクンヌレ… ネ ヤ
 iyokunnure rok iyokunnure... ne ya
 何度も驚く で も

皆あきれんやら驚くやら

ネ ユペトウン クル エウン
 ne Yupet un kur eun
 そのユベツ の 人 に

そのユベツの人に

420 ヤイライケ ヒ イエ ロク イエ ロク コロ
 yayrayke hi ye rok ye rok kor
 感謝する こと 何度も言い ながら

感謝の言葉を何度も言いました。

オカアン ロク イネ オラ エアラキンネ
 oka=an rok _hine ora earkinne
 いる(私) だったして こんど 本当に

そうして、本当に

ネ イウヌネ メノコ カ
 ne iunune menoko ka
 その母である 女性 も

その母も

“ヤイカタ カ ウェナン イネ
 “yaykata ka wen=an _hine
 自分 も 悪い(私) して

「自分も悪かったです。

29 ヒネ ヒネ hine hine は不詳。

- ポン アマツネポ パテク
pon a=matnepo patek
小さい (私の)娘 ばかり
- 425 アマツネポ ネ ペコロ ヤイヌアン ワ
a=matnepo ne pekor yaynu=an wa
(私の)娘 である ように 思う(私) して
- アピリカレス ワ… ヒ カ
a=pirkaresu wa... hi ka
(私)よく育て て こと も
- ヤイカタ カ ウエンアン ヒ ネ コロカ
yaykata ka wen=an hi ne korka
自分 も 悪い(私) ことだ けれど
- エネ アン ウエン プリ コロ クニ
ene an wen puri kor kuni
このような 悪い 行い 持つ と
- アラム カ ソモ キ ア プ
a=ramu ka somo ki a p
(私)思い も しなかつ た が
- 430 エネ アン ウエン プリ
ene an wen puri
このような 悪い ふるまい
- アウエンマツネポ ポロ ヒケ キ アンノ アン”
a=wenmatnepo poro hike ki anno an”
(私の)悪い娘 大きい 方 する すっかり ある
- セコロ ハウエオカパ コロ イルシカパ ネ ヤ
sekor haweokapa kor iruskapa ne ya
と 言い ながら 怒る だとか
- イケムヌ ハウ ネ ヤ キ コロ
i=kemnu haw ne ya ki kor
(私を)哀れむ 話 だ とかし ながら
- オラノ オカアン アイネ
orano oka=an ayne
それから いる(私達) したあげく
- 435 タネ オホンノ オカアン ルウエ ネ アクス オラ
tane ohonno oka=an ruwe ne akusu ora
もう 長い間 いる(私達) の だったので こんど
- ネ ユペトウン クル エネ ハウエアニ。
ne Yupet un kur ene hawean hi.
その ユベツ の 人 このように言った
- “エイタサ オホンノ アナン ヤッカ
“eytasa ohonno an=an yakka
あまり 長い間 いる(私) しても
- 下の娘ばかりを
- 娘のように思って
- 大切に育てたことは
- 私も悪かったけれど
- こんなひどいことをするとは
- 思わなかったのに
- このような悪いふるまいを
- 愚かな姉娘がしたというのか」
- と言って怒ったり
- 私に同情したりしながら
- いました。やがて
- もう長い時間過ぎたので
- ユベツの人はこのように言いました。
- 「あまり長いことここにいても

アオナ ウタラ カ イエポタラ クス
 a=ona utar ka i=epotara kusu
 (私の)父 たち も (私を)心配する ので

父たちが心配するので

ホシッパアン クス ネ”
 hosippa=an kus ne”
 帰る(私) します

帰ります」

440 ヒ イエ アクス オラ
 hi ye akusu ora
 こと を言う したところ こんど

と言ったところ

(ユペツの男性が語る)
 ネ アトウラ ア メノコ ウヌフ エウン
 ne a=tura a menoko unuhu eun
 その (私)連れ立っ た 女性 の母 に

その一緒に来た娘は母親に

ネプ カ コヘトウツトウリ⁵⁰ ルウエ ネ アクス
 nep ka kohetutturi ruwe ne akusu
 何か に頭を伸ばす こと だっ たところ

何か耳打ちすると

ネア イウヌネ メノコ スイ ネ オンネ クル エウン
 nea iunune menoko suy ne onne kur eun
 その 母である 女性 また その老 紳士 に

その母親もまた老人に

ネプ カ コヘトウツトウルパ アクス オラ
 nep ka kohetutturpa akusu ora
 何 か 頭を伸ばし たところ こんど

何かを耳打ちしました。すると

445 オンネ クル エネ ハウエアニ。
 onne kur ene hawean _hi.
 老 紳士 このように言った

老人はこのように言いました。

“ネ アマツネポ エネ ハウエアニ。
 “ ne a=matnepo ene hawean _hi.
 その (私の)娘 このように 言った

「娘が言うのはこうです。

マカナク カトウ アナン ワ
 ‘makanak katu an=an wa
 どのように 事情 ある(私) して

『どんなわけがあつて

アイコオシコニ ルウエ ネ ヤ カ
 a=i=koosikoni ruwe ne ya ka
 (人が私を)追いかける こと だ か も

私を見つけに来てくれたのか

アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)わからない で

わかりませんが

450 カトウウエンアン コロ ネ コロカ
 katuwen=an kor ne korka
 体が不自由になる(私) ながら だ けれど

体が不自由になったけれど

ネプ カ ヤイライケアン ヒ カ
 nep ka yayrayke=an hi ka
 何 も 感謝をする(私) ことも

何の感謝も

アエアイカプ クス テ ワノ ポカ
 a=eaykap kusu te wano poka
 (私)できない ので ここから でも

できないので、これからは

タン ユペツ コン ニシパ アトウラ ワ
 tan Yupet kor_nispa a=tura wa
 この ユペツ の 旦那 (私)連れ て

このユペツの旦那さんと一緒になって

アラパ ワ サナン ワ
 arpa wa san=an wa
 行く して 下る(私) して

行ったり来たりして

455 パロオスケアン ルスイ クス ネ コロカ
 paro'osuke=an rusuy kusu ne korka
 食事の世話をする(私) したい するつもりだ けれど

食事を作ってあげたいのですが

マク ネ ユペトウン クル ヤイヌ ルウエ ネ ヤ
 mak ne Yupet un kur yaynu ruwe ne ya
 どのように ユペツ の 人 思う こと だ か

どのようにユペツの方が思われるか

エラミシカリ コロ アイエ ハウエ ネ ナ
 eramiskari kor a=ye hawe ne na'
 わからない ながら (私)言う の だ よ

わからないままに申し出るので』

セコロ アマツネポ ハウエアン ルウエ ネ ”
 sekor a=matnepo hawean ruwe ne”
 と (私の)娘 言う の です

と娘が言うのですよ」

セコロ ネ イオナネ クル ハウエアン ヒ オラ
 sekor ne ionane kur hawean hi ora
 と その 父である 人 言う こと そして

とその父親が言うので

460 ピリカ ヒ アイエ
 pirka hi a=ye
 良い こと (私)言う

私は承諾をし

ヤイライケアン ヒ アイエ コロ オラ
 yayrayke=an hi a=ye kor ora
 感謝する(私) こと (私)言い ながら こんど

感謝の言葉を述べて

“ネ ポンメノコ アトウラ ワ サナン ワ
 “ne ponmenoko a=tura wa san=an wa
 その 若い娘 (私)連れ て 下る(私) して

「その娘さんを私が連れて行って

アシカ… パロスケレ³¹⁾
 a=sika... parosukere”
 (私)自分の食事の世話をしてもらう

食事を作ってもらおう」

31 アシカオイキヤラ a=sikaoykiyar 「人に養ってもらおう」と言いかけたが、アシパロスケレ a=siparosukere と言い直したもののか。

クニ アイェ ワ エヤイコブンテク オラ
 kuni a=ye wa eyaykopuntek ora
 と (私)言っ て それを喜ぶ そして

と私は言うと娘は喜びました。そして

465 “ネ イサネ メノコ カ イサム ワ
 “ne isane menoko ka isam wa
 その 姉である 女性 も いない して

「姉がいなくなって

オカケ タ メノコ カ サク ノ オカ ヒケ カ
 okake ta menoko ka sak no oka hike ka
 その後 で 女性 も なし に 暮らす の も

後々女手なしで暮らすのは

スケ カ オンネクル ウタラ カ
 suke ka onnekur utar ka
 炊事 も の老人 たち も

炊事するにもお年寄りたちが

アエランポキウエン クス ヤクン
 a=erampokiwen kusu yakun
 (私)気の毒に思う ので ならば

気の毒です。でしたら

アサ アホツパ クス ネ クス
 a=sa a=hoppa kus ne kusu
 (私の)姉 (私)残して行きます から

私の姉を置いていきますので

470 ポロ イユプネ クル アサ トウラノ
 poro iyupne kur a=sa turano
 大きい 兄である 人 (私の)姉 と一緒に

長男と私の姉を

エウタンネ ワ シパロオスケレ
 eutanne wa siparo'osukere
 一緒になっ て 自分を養ってもらう

夫婦にして養ってもらって下さい。

オンネクル ウタラ パロオスケ ヤク ピリカ ナ”
 onnekur utar paro'osuke yak pirka na”
 老人 たち の食事を世話すると いい よ

老人たちを養ってもらって下さい」

セコロ アイェ プ ネ クス オラ
 sekor a=ye p ne kusu ora
 と (私)言う もの だ から こんど

と私が言ったので

ネ ウタラ カ
 ne utar ka
 その 人たち も

その人たちも

475 エアラキンネ エヤイコブンテクパ コロ
 earkinne eyaykopuntekpa kor
 本当に 喜び ながら

本当に喜びました。

オラ ホシツパアン。
 ora hosippa=an.
 こんど 帰る(私)

そして私は帰りました。

ネ ポンメノコ アトウラ カネ ヒネ サパン。
 ne ponmenoko a=tura kane hine sapan.
 その 若い娘 (私)連れ も して 下る(私)

娘を連れて川を下って行きました。

- アウニ ウン ホシピアン クス ネ イケ カ
 a=uni un hosipi=an kusu ne _hike ka
 (私の)家 に 帰る(私) しようとする のに も
 私の家に帰ろうにも
- ヤイエウエン ペ ネ クス アプカシ カ
 yayewen pe ne kusu apkas ka
 体が不自由である もの だ から 歩く も
 娘は体が不自由なので歩くのも
- 480 コヤイクス コロ ネ コロカ アトゥラ。
 koyaykus kor ne korka a=tura.
 しづらい ながら だ けれど (私)連れる
 大変なのですが、連れて行きました。
- フムネ ウエン ウシケ タ アカイ カネ ワ
 humne wen uske ta a=kay kane wa
 時には 悪い 場所 で (私)背負い も して
 歩きにくい場所では私が背負って
- アラキアン ヒネ
 arki=an hine
 来る(私) して
 帰って来て
- アウニ タ シレパアン ルウエ ネ イネ
 a=uni ta sirepa=an ruwe ne _hine
 (私の)家 に 着く(私) こと である して
 私の家に到着しました。
- アオナハ エウン タプネ ネ ヒ アイエ
 a=onaha eun tapne ne hi a=ye
 (私の)父 に こうした こと (私)言う
 父にいきさつを告げた
- 485 アクス オラノ
 akusu orano
 すると こんど
 ところ
- アオナハ エヤイコプンテク ネ ワ
 a=onaha eyaykopuntek ne wa
 (私の)父 喜ぶ であって
 父は喜んでくれました。
- ネア ポンメノコ ケウエホムス
 nea ponmenoko kewehomsu
 その 若い娘 の無事を喜ぶ
 その娘の無事を喜んで
- “エネ ヘタプネ アラム ア プ
 “ene hetapne a=ramu a p
 どうしたものと (私)思っ た が
 「どうしたんだろうかと思っていたが
- スイ ホシピ ワ イカオイキ ハウエ
 suy hosipi wa i=kaoyki hawe
 また 帰っ て (私を)世話する こと
 また帰って来て私たちを世話してくれるとは
- 490 ポ ヘネ ピリカ ピリカ”
 po hene pirka pirka”
 なおさら 良い 良い
 なおさら良かった良かった”
- セコロ アオナハ カ ハウエアン コロ
 sekor a=onaha ka hawean kor
 と (私の)父 も 言い ながら
 と父も言って

トゥラノ オカアン ルウエ エネ アニ。
 turano oka=an ruwe ene an_hi.
 一緒に 暮らす(私) こと このようだった

一緒に暮らしました。その暮らしぶりと言ったら

ソンノ ヤイエウエン ペ ネ クス… コロカ
 sonno yayewen pe ne kusu... korka
 本当に 体が不自由である ものだから けれど

本当に体が不自由なのですが

ユプテク メノコ ネ ヒネ
 yuptek menoko ne hine
 働き者 女性 であって

働き者の女性なので

495 アウヌフ ネプ カ テケ ケレ カ ソモ キ ノ
 a=unuhu nep ka teke kere ka somo ki no
 (私の)母 何 も 手 を触れ も しない で

母に何も触れせずに

スケ ネ ヤ ナ ネン ネン イキ コロ
 suke ne ya na nen nen iki kor
 炊事 で も まだ いろいろ し ながら

炊事やいろいろしながら

オカアン ワ
 oka=an wa
 暮らす(私) して

暮らしました。

オロワノ アナクネ ネプ カ
 orowano anakne nep ka
 それから は 何 も

それからは何も

アエシリキラプ カ ソモ キ ノ オカアン
 a=esirkirap ka somo ki no oka=an
 (私)苦勞し も しない で 暮らす(私)

苦勞せずに暮らしました。

500 ラポッケ アサ カ アホツパ ノ エカン ヒ カ
 rapokke a=sa ka a=hoppa no ek=an hi ka
 そのうちに (私の)姉 も (私)置いて 来る(私) ことも

その間、姉を残して来たことを

アオナハ エウン アイェ プ ネ クス
 a=onaha eun a=ye p ne kusu
 (私の)父 に (私)言う ものだから

父に言ってあったので

オラ イオシ アサハ トウラノ
 ora i=os a=saha turano
 こんど (私の)後 (私の)姉 と一緒に

後から姉と一緒に

ネア ポロ ユペトウン イユプネ クル トウラノ
 nea poro Yupet un iyupne kur turano
 その 大きい ユペツ の 兄である 人 と一緒に

あのユペツの義兄が

ウトウラ カネ ワ サツパ ワ
 utura kane wa sappa wa
 連れ立つ ながら して 下っ て

連れ立ってやって来ては

505 トウツコ カ レレコ カ イオツ タ
 tukko ka rerko ka i=or_ ta
 2日 も 3日 も (私の)所 に

2、3日私の家に

シニパ ネ ヤ ナ ネン ネン イキパ ワ
 sinipa ne ya na nen nen ikipa wa
 休む だ とか まだ いる いる し て

泊まっているいろいろなことをして

ホシッパ ヤツカ オラ
 hosippa yakka ora
 帰っ ても こんど

帰って行きました。

ヤイカタ アナクネ
 yaykata anakne
 自分 は

私は

アマチヒ アナクネ ヤイエウエン ペ ネ クス
 a=macihi anakne yayewen pe ne kusu
 (私の)妻 は 体が不自由である もの だ から

妻の体が不自由なので

510 オナハ ウタラ エウン ホタヌ エアラパ カ
 onaha utar eun hotanu earpa ka
 父 たち を 訪ねる に行く も

義父たちを訪ねていくことも

エアイカプ ノ コロ ネ コロカ ネ…
 eaykap no kor ne korka ne…
 できない で ながら だ けれど その

できないのですが

ヤイカタ ポロ ユペトウン オンネ ウタラ
 yaykata poro Yupet un onne utar
 自分 大きい ユベツ の 年寄り たち

私がユベツ本流の義父たちを

アホタヌカラ ネ ヤ
 a=hotanukar ne ya
 (私)訪ねる で も

見舞ったり

ポロ ユベツ から… オロ ワ
 poro Yupet から … oro wa
 大きい ユベツ から そこ から

ユベツ本流から

515 アオナ ウタラ ネ ヤ イホタヌカラパ
 a=ona utar ne ya i=hotanukarpa
 (私の)父 たち で も (私を)訪ねる

義父たちが訪ねて来たり

ウタシパ ウコパヨカアン コロ オカアン
 utaspa ukopayoka=an kor oka=an
 お互いに 行き来する(私) ながら 暮らす(私)

お互いに行き来をしながら暮らしました。

ラポッケ オラ ポ カ アコロ ラポッケ オラ
 rapokke ora po ka a=kor rapokke ora
 そのうちに こんど 子供 も (私)持つ うちに こんど

そのうちに私たちに子供ができて

アサ カ ポロ ユベツ タ… クル トウラノ
 a=sa ka poro Yupet ta… kur turano
 (私の)姉 も 大きい ユベツ に 人 と一緒に

姉もユベツ本流の義兄と一緒に

アン ペ ネ クス アサ カ ポコロ
 an pe ne kusu a=sa ka pokor
 暮らす もの だ から (私の)姉 も 子供ができる

なったので子供ができました。

520 ヤイカタ カ ポコロアン シリ カ
 yaykata ka pokor=an siri ka
 自分 も 子供ができる(私) 様子 も

私に子供ができた様子を

アオナハ カ アウヌフ カ ヌカラ ワ
 a=onaha ka a=unuhu ka nukar wa
 (私の)父 も (私の)母 も 見 て

父も母も見て

ポロ ユペトウン クル ウタラ ネ ヤツカ
 poro Yupet un kur utar ne yakka
 大きい ユペツ の 人 たち で も

ユペツ本流の人たちも

ポ カ ミツポ カ ヌカラパ ワ
 po ka mippo ka nukarpa wa
 子供 も 孫 も 見 て

子供も孫も見て

モシロツパ ワ… コロカ
 mosiroppa wa... korka
 この世を去っ て けれど

この世を去ったのですが

525 アマチヒ アナクネ
 a=macihi anakne
 (私の)妻 は

妻は

アラパ コヤイクス ヤク イェ プ ネ クス
 arpa koyaykus yak ye p ne kusu
 行き づらい と 言う もの だ から

行くことができないというので

プイネ ネ コロカ アラパアン ワ
 puyne ne korka arpa=an wa
 ひとりで だ けれど 行く(私) して

私がひとりで行って

ネ ユペトウン ニシパ ウタラ
 ne Yupet un nispa utar
 その ユペツ の 旦那さん たち

そのユペツの旦那さんたち(義父母)に

アコイタクムイェ ネ ヤ アコイタッコテ ネ ヤ
 a=koytakmuye ne ya a=koytakkote ne ya
 (私)追悼の言葉をのべる で も (私)言葉を添える で も

追悼の言葉を添えて

530 キ ワ アシキリパレ
 ki wa a=sikirpare
 し て (私)向かわせる

送り出しました。

オラ アオナ ウタラ ネ ヤツカ オンネ ヒケ カ
 ora a=ona utar ne yakka onne hike ka
 こんど (私の)父 たち で も 年若い て も

そして私の父たちが年若いても

ヤツカ ユペトウン ニシパ ウタラ アラキパ ワ
 yakka Yupet un nispa utar arkipa wa
 しても ユペツ の 旦那さん たち 来 て

ユペツの義兄たちはやって来て

アオナ ウタラ カ アピリカオンネレ オカケ タ
 a=ona utar ka a=pirkaonnere okake ta
 (私の)父 たち も (私)天寿を全うする 後 で

父たちも天寿を全うした後で

ポシレシクテアン ワ
 posiresikte=an wa
 子供がたくさんできる(私) して

子孫がたくさんできて

535 オンネアン ペ ネ アクス アイェ
 onne=an pe ne akusu a=ye
 年を取る(私) もの だっ たところ (私)言う

私も年老いて死んでいくのでお話しします

セコロ シネ メノコ³² イソイタク セコン ネ。
 sekor sine menoko isoytak sekor_ ne.
 と ある 女性 物語る と さ

と、ひとりの女性が物語ったそうです。

32 シネ メノコ sine menoko (一人の女性)とあるが、終了時の話者はユベツウンクルYupet un kurなので、シネ ニシパ sine nispa (一人の男性)の言い間違いと思われる。

第5話 散文の物語

エゾマツと魔鳥

収録日：1999年9月29日

資料番号：35298A

添付CD：2-2（35分47秒）

第5話 散文の物語「エゾマツの女神と魔鳥」¹

(エゾマツ神の妻が語る)

スンク トノ マツ アネ。
sunku tono mat a=ne.
 エゾマツ 神 妻 (私)である

私はエゾマツの神の妻です。

イシカラ ホントモ コロ クル
Iskar hontomo kor kur
 石狩川 の中流 の 人

石狩川の中流に住む男と

イシカラ エトコホ² ウン クル
Iskar etokoho un kur
 石狩川 の上流 に住む 人

河口に住む男は

ウコトクイエコロパ ワ
ukotokuyekorpa wa
 互いに仲が良く て

仲が良く

5 ウコパヨカ ウコシネウパ コロ
ukopayoka ukosinewpa kor
 互に行き来し 互いに訪ね合い ながら

互に行き来し、訪ね合って

オカアン³ ロク ヒネ オラ
oka=an rok hine ora
 暮らす(私達) だった して こんど

暮らしていました。

タネ ケマパセパ ヒ オラノ アナクネ
tane kemapasepa hi orano anakne
 もう 足が重い とき それから は

もう年をとって足が弱ってからは

エイタサ ウコパヨカ カ ソモ キ ノ
eytasa ukopayoka ka somo ki no
 あまり 互に行き来 も しないで

あまり行き来もしないで

オカアン ペ ネ ア プ、
oka=an pe ne a p,
 暮らす(私) もの だっ た が

暮らしていたのですが

10 パハウヌアン アクス
pahawnu=an akusu
 噂を聞く(私) したところ

うわさでは

イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ
Iskar putu un nispa poho
 石狩川 の河口 の 長者 の息子

石狩川の河口の旦那さんの息子が

アキモトウライヌ ワ
a=kimoturaynu wa
 (人)山で行方不明になっ て

山で行方不明になり

- 1999年9月29日、上田トシ氏宅にて、本田優子氏が調査。別調査で偶然藤村久和氏が同席している。この話の伝承経路については上田トシ氏は何も語っていないが、当館の音声資料34626で川上まつ子氏がほぼ同じ内容の話を語っている。
- 以後の話の展開からして、プトウ putu「河口」の言い間違いと思われる。以下何か所かに見られる。
- この前後は三人称と一人称が混在していて、話者が不明確になっている。

オラノ ハンケノ オカ ウタラ ネ ヤ
 orano hankenno oka utar ne ya
 それから 近くに いる 人たち だ とか

それから近くに住む人たちや

コタン コロ ウタラ ネ ヤツカ
 kotan kor utar ne yakka
 村 の 人たち で も

村人たちが

15 ケシト アン コロ
 kesto an kor
 毎日

毎日

イウオロ コホユツパ ワ イフナラパ ヤツカ
 iwor kohoyuppa wa ihunarpa yakka
 狩り場 を走っ て 人探しをし ても

山を駆け回って探しても

エネ ネ ヒ カ
 ene ne hi ka
 どう である ことも

どうにも

ウコエラミシカリパ ワ オカ
 ukoeramiskaripa wa oka
 が互いにわからない して いる

行方がわからないでいる

(中流に住む息子が語る)

ヤク アイェ ヒ アオナハ ヌ ヒネ
 yak a=ye hi a=onaha nu hine
 と (私)言う こと (私の)父 聞いて

という話を父が聞いて

20 オラ アオナハ エネ ハウエアニ。
 ora a=onaha ene hawean_hi.
 こんど (私の)父 このように言った

このように言いました。

“エネ アトクイエコン ニシパ ネ ワ
 “ene a=tokuyekor_nispa ne wa
 こんなに (私)親しい 旦那さん であって

「あんなに仲の良かった旦那さんで

イネノ シネ ポ タクブ
 i=nenno sine po takup
 (私)のように ひとり 息子 だけ

私と同じく一人きりの

コロ クル ネ ア プ、
 kor kur ne a p,
 持つ 人 だっ た が

息子なのに

マク ネ ヒネ
 mak ne hine
 どう であって

どうしたことか

25 ポホ アキモトウライヌ ワ
 poho a=kimoturaynu wa
 息子 (人)山で行方不明になっ て

息子が山で行方不明になって

ケシト アン コロ ハンケノ オカ ウタラ
 kesto an kor hankeno oka utar
 毎日 近くに いる 人たち

毎日近くの人たちが

イフナラパ コロ オカ ヤク アイェ クス
 ihunarpa kor oka yak a=ye kusu
 人探しをし ながら いる と (私)言う ので

探しているようだ。

エアニ カ ネウン エヤイモニシカ ヤツカ
 eani ka neun e=yaymoniska yakka
 あなた も どのように (お前)忙しく ても

おまえもどんなに忙しくても

エセメアンヌ⁴ ノ カ
 e=semeannu no ka
 (お前)気遣いし て も

気づかって

30 イフナラ ワ インカラ”
 ihunara wa inkar”
 人探しをし て みる

探しに行ってみなさい」

セコロ アオナハ イェ ヒ クス オラ
 sekor a=onaha ye hi kusu ora
 と (私の)父 言う ので こんど

と父が言うので

エキムネアン ワ イフナラアン ヤツカ
 ekimne=an wa ihunara=an yakka
 山獵に行く(私) して 人探しをする(私) しても

山に行って探しましたが

ネプ カ アヌカルミ カ イサム ノ
 nep ka a=nukar_humi ka isam no
 何 も (私)見る 感じ も ない で

何の手がかりもなく

オヌマン イワカン ルウエ ネ ア プ オラ
 onuman iwak=an ruwe ne a p ora
 夕方 帰る(私) こと だった が こんど

夕方に帰って来ました。

35 イシムネ アン
 isimne an
 翌日 になる

翌日

エキムネ エトコ アオイキ コロ
 ekimne etoko a=oyki kor
 山獵に行く 準備 (私)し ながら

山に行く準備をして

ヤイソイエネレアン ア プ オラノ
 yaysoyenerere=an a p orano
 自分で外に出る(私) だった が こんど

出かけたのに

イシカツ トウラシ
 Iskar_ turasi
 石狩川 をさかのぼって

石狩川をさかのぼって

4 意味未詳。セマナン *semanan* 気遣フ、心配スル [久 767] と言おうとしたものか。

アラパアン ルスイ フミ
 arpa=an rusuy humi
 行く(私) したい 感じ

行ってみたい気がします。

40 マカナク ネ ワ… ヤ
 makanak ne wa...ya
 どのように であって か

どうして

エネ イシカツ トウラシ
 ene isikar_ turasi
 こんなに 石狩川 を遡って

こんなに石狩川を上って

アラパアン ルスイ ネ ヤ
 arpa=an rusuy ne ya
 行く(私) したい だ か

行きたいのか

アエラミシカン ノ
 a=eramiskari_ no
 (私)をわからない で

自分でもわからずに

パシ カネ テレケ カネ アン コロ
 pas kane terke kane an kor
 走り ながら 跳ね ながら いる と

一目散に

45 イシカツ トウラシ アラパアン コロ オラ
 Iskar_ turasi arpa=an kor ora
 石狩川 を遡って 行く(私) ながら こんど

石狩川の川上に向かって

アエヤイコパシテ コロ
 a=eyaykopaste kor
 (私)自分を走らせる ながら

走って行って

エマカアシ テク アン コロ オラ
 emakaas tek an kor ora
 立ち止まる さっと する と こんど

ちょっと一休みしようとするど

スイ ア… シイエトコ ワ
 suy a... siyetoko wa
 また 自分の前 から

また前のほうから

アイコシエタイエ ヘネ キ ペコロ
 a=i=kosietaye hene ki pekor
 (人が私を)引っ張り でも する ように

引っ寄せられるように

50 ヤイヌアン ワ オラノ
 yaynu=an wa orano
 思う(私) して こんど

思って

ペットウラシ アラパアン ヒネ
 petturasi arpa=an hine
 川を遡って 行く(私) して

川上に行って

ペテトク タ アラパアン イネ
 petetok ta arpa=an _hine
 川の源流 に 行く(私) して

川の源流まで行きました。

- インカラⁿ ルウエⁿ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だったところ
 見ると
- シポロⁿ ヌプリ アニネ
siporo nupuri an_hine
 とても大きい 山 あっ て
 大きな山があって
- 55 ネ ヌプリ チャラピリピル⁶
ne nupuri carpirpiru
 その 山 すべりやすい
 ツルツルすべりやすい
- アトウサⁿ ヌプリ⁶ アシ ワ アン。
atusa nupuri as wa an.
 はだかの 山 立っ て いる
 はげ山がそびえています。
- ヌプリ カ タ
nupuri ka ta
 山 の上 に
 山の上に
- ポロ スンク アシ ワ アン シリ
poro sunku as wa an siri
 大きな エゾマツ 立っ て いる 様子
 大きなエゾマツが立っているのが
- シエトクン アヌカラ ペ オラノ
sietok un a=nukar pe orano
 自分の前 に (私)見る もの こんど
 見えるのですが
- 60 ネ スンク トモ ウンノ
ne sunku tomo unno
 その エゾマツ に向かっ て
 そのエゾマツのほうに
- アラパアン ルスイ ヤッカ オラ
arpa=an rusuy yakka ora
 行く(私) したい しても こんど
 行こうにも
- エネ アン チャラピリピル ヌプリ
ene an carpirpiru nupuri
 こんな すべりやすい 山
 そんなツルツルの山に
- マカナク イキアン ワ アトウラシ プ アン
makanak iki=an wa a=turasi p an
 どのように する(私) して (私)登る もの か
 どうやって登れるものか
- セコロ ヤイヌアン ヒケ カ
sekor yaynu=an hike ka
 と 思う(私) して も
 と思いましたが
- 65 ネン ネ ヤッカ ネ ヌプリ
nen ne yakka ne nupuri
 どう で も その 山
 何とかしてその山を

5 意味未詳。チャラピリピル car-pir-piru [(すべることを表す擬態)・pir-piru ~を拭く(重複形)]で、ツルツルすべることか。次行にアトウサ ヌプリ atusa nupuri とあるので、泥ですべるのではなく、火山灰に足をとられるということだろう。

6 アトウサ ヌプリ atusa nupuri (裸・山)。溶岩や硫黄に覆われた火山を云う。[知里真志保『地名アイヌ語小辞典』]

トゥラシ アラパアン。

turasi arpa=an.

登って 行く(私)

登って行きました。

アシコエタイェ プ カ イサム…

a=sikoetaye p ka isam…

(私)自分を引っ張る もの も ない

つかまるものもない

アエヤイコユプ プ カ ネプ カ イサム

a=eyaykoyupu p ka nep ka isam

(私)自分をしばる もの も 何 も ない

自分を固定するものも何も無い

チャラピリピル ヌプリ ネ コロカ オラ

carpirpiru nupuri ne korka ora

すべりやすい 山 だ けれど こんど

はげ山なのですが

70 ヘメス エトコ アオイキ イネ

hemesu etoko a=oyki _hine

登る 準備 (私)し て

登る準備をして

ヘメスアン ルウエ ネ アクス オラノ

hemesu=an ruwe ne akusu orano

登る(私) こと だっ たところ こんど

登って行きました。

イキアン アイネ ヌプリ カ タ

iki=an ayne nupuri ka ta

する(私) したあげく 山 の上 に

やがて山の上に

ヘメスアン ルウエ ネ ヒネ オラ

hemesu=an ruwe ne hine ora

登る(私) こと であっ て こんど

登ると

ネ スンク シポロ スンク

ne sunku siporo sunku

その エゾマツ 本当に大きい エゾマツ

エゾマツの大木が

75 アシ ワ アン ヒ クス

as wa an hi kusu

立っ て いる ので

立っていたので

ネ スンク サマ タ アラパアニネ

ne sunku sama ta arpa=an _hine

その エゾマツ のそば に 行く(私) して

そばまで行って

スンク オカリ アプカサン ヒネ…

sunku okari apkas=an hine…

エゾマツ のまわりを 歩く(私) して

まわりを歩いて

ルウエ ネ アクス

ruwe ne akusu

こと だっ たところ

みると

- スルク アエポキヘポキキ⁷
sunku a=epokihepokiki
 エゾマツ (私)頭を下げる
- 80 アエコモムセ カネ アン
a=ekomomse kane an
 (私)曲がっ ている
- スルク ニタイ… スルク チヨロポク タ
sunku nitay... sunku corpok ta
 エゾマツ 林 エゾマツ の下 に
- パン スプヤ アツ コロ アン シリ
pan supuya at kor an siri
 薄い 煙 立っ て いる 様子
- アヌカラ ヒ クス オラ
a=nukar hi kusu ora
 (私)見る ので こんど
- ニ オポソ ネ コロカ
ni oposo ne korka
 木 を通して だ けれど
- 85 アヌカラ ルウエ ネ アクス
a=nukar ruwe ne akusu
 (私)を見る こと だっ たところ
- イウオロ オツ タ アン ワ ネ ヤ
iwor or_ ta an wa ne ya
 狩り場 の所 に い て だ か
- イウオロ コイポカシ⁸ ワ ネ ヤ
iwor koipokas wa ne ya
 狩り場 でみにくくなっ て だ か
- エウオンネ カ ソモ キ プ ネ クス
ewonne ka somo ki p ne kusu
 顔を洗い も しな ない もの だ から
- エクロク ワ オケレ
ekurok wa okere
 黒くなっ て しま う
- 90 イウオロコポカシ オツカヨ
iworkopokas okayo
 狩り場でみにくくなる 男性
- タンパク エパクパクセ⁹ コロ アン シリ
tampaku epakpakse kor an siri
 たばこ をふかし て いる 様子

エゾマツの枝がたれ下がって

曲がっています。

エゾマツの下に

薄く煙が上がっているのが

見えたので

木の葉を透かして

見ると

長い間山にいて

見苦しくなったのか

顔も洗っていないものだから

垢で真っ黒くなった

見苦しい男が

たばこを吸っているのが

7 未詳。エポキヘポキキ [e-poki-hepokiki その頭・下に・頭を下げて] で自動詞かと思われるが、人称接辞はア a= が接頭して他動詞の形となっている。

8 イウオロ コ イポカシ iwor ko ipokas 「狩り場・で・みにくくなる」

9 未詳。

アヌカラ ヒ クス オラ
a=nukar hi kusu ora
(私)を見る ので こんど

見えたので

ネ スンク オカリ アプカシアプカシアン コロ
ne sunku okari apkas'apkas=an kor
その エゾマツ を回って 歩きに歩く(私) ながら

エゾマツのまわりを歩き回りながら

ヤイコイタカン ハウエ エネ アニ。
yaykoitak=an hawe ene an_hi.
自分で話す(私) こと こうだった

このように言いました。

95 “ネプ カムイ オリワク ウシ ネ ヤ
“nep kamuy oriwak usi ne ya
何 神 が住む する所 だ か

「何の神がおいでになる場所かは

エラミシカリ コロカ
eramiskari korka
をわからない けれど

わかりませんが

フチアペ カムイ エカシ¹⁰ シエブンキネレ ワ
huciape kamuy ekasi siepunkinere wa
火の 神 おじいさん に自分を守ってもらっ て

火の神様、神の老紳士に守っていただいて

クス… アン ヒ ネ ナンコロ クス
kusu... an hi ne nankor kusu
ので いる の だ ろう から

いるのでしょうから

アフナン ヤク ウェン ペ ネ ルウエ ネ ヤ?
ahun=an yak wen pe ne ruwe ne ya?
入る(私) と 悪い もの な の です か

入っては駄目でしょうか」

100 セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu
と 言う(私) こと だっ たところ

と言うと

ネ チセ オンナイ ウン オツカヨ
ne cise onnay un okkayo
その 家 の中 にいる 男性

その家の中の男は

イタク ハウ アニ。
itak haw an_hi.
話す 声 こうだった

こう言いました。

“ネウン ニシパ ネ ヤ
“neun nispa ne ya
どこの 旦那さん だ か

「どこの旦那さんか

アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka
(私)わからない けれど

わかりませんが

10 火の神はフチ huci (老婦人) として描かれることが多いが、ここではエカシ ekasi (老紳士) と表現されている。

- 105 アフン ワ イコレ ヤクン
 ahun wa i=kore yakun
 入っ て (私に)くれる ならば
 お入りくださったならば
- アコロ ヤヨペパカ アイェ クス ネ ナ”
 a=kor yayopepka a=ye kusu ne na”
 (私)の 自分の話 (私)言い ます よ
 私の話をしていしましょう”
- セコロ ネ チセ オンナイ ウン ハワシ イ クス
 sekor ne cise onnay un hawas _hi kusu
 と その 家 の中 で 言う ので
 と、その家の中で言うので
- オラ アフナン ルウエ ネ アクス
 ora ahun=an ruwe ne akusu
 こんど 入る(私) の だっ たところ
 入って行くと
- ネ オッカヨ タンパク ク コロ アン ヒネ
 ne okkayo tampaku ku kor an hine
 その 男性 たばこ を吸っ て い て
 その男はたばこを吸っていて
- 110 イエランカラブ¹¹ ヒ クス
 i=erankarap hi kusu
 (私に)あいさつをする ので
 私にあいさつをするので
- アエランカラブ カ キ ヒネ オラ
 a=erankarap ka ki hine ora
 (私)あいさつする も し て こんど
 私もあいさつを返しました。そして
- “ヒナク ワ エク ペ ネ ルウエ ネ ヤ?”
 “hinak wa ek pe ne ruwe ne ya?”
 どこ から 来る もの な の ですか
 「どこから来たのですか？」
- アコウウエペケンヌ アクス
 a=kouwepekennu akusu
 (私)尋ね たところ
 と私が尋ねたところ
- オホンノ イタク カ ソモ キ ノ アン ワ ネ ヤ
 ohonno itak ka somo ki no an wa ne ya
 長い間 話をする も し ない で い て だ か
 長い間しゃべらずにいたのかも
- 115 アエラミシカリ コロカ
 a=eramiskari korka
 (私)わからない けれど
 知れませんが
- イタク カ エランペウテク ペコロ ペ… ヒネ
 itak ka erampewtek pekor pe... hine
 言葉 も わからない ような もの そして
 言葉もわからないみたいに
- ネプ カ イェ カ ソモ キ ワ
 nep ka ye ka somo ki wa
 何 も 言い も し ない で
 何も言わないので

11 家を訪れた時などに行われる正式なあいさつ。オンカミ onkami という拝礼の所作で行われる。

アコエランペウテク ルウェ ネ
 a=koerampewtek ruwe ne
 (私)わからない こと だ

私もなすすべがありません。

コロ タンパク ク コロ アン ヒ クス オラ
 kor tampaku ku kor an hi kusu ora
 自分の たばこ を吸って いる ので こんど

男は自分のたばこを吸っています。

120 アシヌマ カ タンパク ク ワ
 asinuma ka tampaku ku wa
 私 も たばこ を吸って

私もたばこを吸う

アキ プ ネ クス
 a=ki p ne kusu
 (私)するもの だ から

ので

タンパク ク トウ パ レ パ¹²
 tampaku ku tu pa re pa
 たばこ を吸う 2 服 3 服

たばこを2服3服

タンパク アク カ キ ヒネ オラ
 tampaku a=ku ka ki hine ora
 たばこ (私)吸い も し て こんど

吸いました。

アコロ イカヨブ オロ ワ
 a=kor ikayop oro wa
 (私)の 矢筒 の所 から

そして私の矢筒から

125 チ アエプ カ アセ プ ネ クス
 ci aep ka a=se p ne kusu
 焼く 食べ物 も (私)背負う もの だ から

調理済みの食物を持って来ていたので

チ アエプ カ アサンケ ヒネ
 ci aep ka a=sanke hine
 焼く 食べ物 も (私)を出し て

それを出して

ネ ポンポン アペアリ アペ ネ プ ネ クス
 ne ponpon aperi ape ne p ne kusu
 その 小さい小さい 火を焚く 火 だ もの だ から

とても小さく火が焚かれていたので

ネ アペ オルン ネ タンパク カ
 ne ape or un ne tampaku ka
 その 火 の所に その たばこ も

その火にたばこも

アエプ カ アチャラパ コロ… コロ
 aep ka a=carpa kor... kor
 食べ物 も (私)まき ながら ながら

食物もまきながら¹³

130 “ スンク トノ マツ…
 “ sunku tono mat…
 エゾマツ 神 妻

「エゾマツの神の奥方…

12 パ pa はたばこを1服するの「服」。シネ パ sine pa 「一服」で使われ、「二服三服」には使われない「田」とされるが、ここではトウ パ レ パ tu pa re pa 「二服三服」の用例となっている。

13 供物を捧げ、火の神を介してエゾマツの女神に対して祈ることを表している。

スンク カムイ スンク トノ マツ
 sunku kamuy sunku tono mat
 エゾマツ 神 エゾマツ 神 妻

エゾマツの神、エゾマツの神の奥方さま

マツ カトウ ネ ヒネ
 mak katu ne hine
 どう わけ であって

一体どうして

エネ アイヌ オツカイポ
 ene aynu okkaypo
 このように 人間 若い男性

このように人間の男性に

エシコヤントネレ ワ エアン ルウエ ネ ヤ
 e=sikoyantonere wa e=an ruwe ne ya
 (あなた)宿を貸し て (あなた)いる の だ か

あなたが宿を貸しておいでなのか

135 アエラミシカリ ワ
 a=eramiskari wa
 (私)わからず に

わからないのです。

オラ アコウウエペケンヌ ヤツカ
 ora a=kouwepekennu yakka
 こんど (私)尋ね ても

私が尋ねても

ネプ カ ソモ イェ ワ
 nep ka somo ye wa
 何 も 言わない で

その人は何も言わないので

エネ ネ ヒ カ
 ene ne hi ka
 どうする 方法 も

どうしていいか

アエランペウテク ルウエ ネ クス
 a=erampewtek ruwe ne kusu
 (私)わからない こと だ から

わからないのです。

140 ウェンタラプ アニ ヘネ スンク トノ マツ
 wentarap ani hene sunku tono mat
 夢 で でも エゾマツ 神 妻

夢にでもエゾマツの神の奥方さまが

イエパカシヌ ワ イコレ ヤクネ
 i=epakasnu wa i=kore yakne
 (私に)教え て (私に)くれる ならば

私に教えてくださったならば

ネウン カ イキアン ワ
 neun ka iki=an wa
 どう も する(私) して

何とかして

カシ アオピウキ¹⁴ クス ネ ナ”
 kasi a=opiwki kusu ne na”
 (私)救助し ます よ

手助けをするつもりです」

14 カシオピウキ kasiopiwki で「～を救助する」だが、人称接辞はカシ アオピウキ kasi a=opiwki のような形になることが多い。

セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら

と言って

145 ネ ポンポン アペ オルン
 ne ponpon ape or un
 その 小さい小さい 火 の所 に

小さく焚かれた火に

イチヤラパアン カ キ ヒネ オラ エアシリ
 icarpa=an ka ki hine ora easir
 食べ物をまく(私) も し て こんど 初めて

食物をまいて、そうしてから

ネ オッカヨ エウン ポロ カム ノツ
 ne okkayo eun poro kam not
 その 男性 に 大きい 肉 かたまり

男に(調理済みの)大きな肉のかたまりを

アコレ ルウエ ネ アクス
 a=kore ruwe ne akusu
 (私)与える こと だっ たところ

渡すと

オンカミ ア オンカミ ア コロ
 onkami a onkami a kor
 何度も拝礼をし ながら

男は何度も拝礼して

150 ウク ヒネ エ コロ アン。
 uk hine e kor an.
 取っ て 食べ て いる

受け取って食べました。

オラ ヤイカタ カ
 ora yaykata ka
 こんど 自分 も

そして私も

イペルスイアン ヒ クス
 iperusuy=an hi kusu
 お腹が空く(私) ので

お腹が空いたので

イペアン カ キ ヒネ オラ
 ipe=an ka ki hine ora
 食事する(私) も し て こんど

食事をして

ヘアヌアン ルウエ ネ アクス
 heanu=an ruwe ne akusu
 頭を置く(私) こと だっ たところ

横になって眠りにつくと

155 ウェンタラプアン ヘ… ネ アクス
 wentarap=an he... ne akusu
 夢を見る(私) か だっ たところ

夢を見ました。

クンネ コソンテ¹⁵ ウトムチウレ
 kunne kosonte utomciwre
 黒い 上等な着物 を身につける

黒い着物をまとい

15 日本語「小袖」から来るといわれる絹などの素材でできている上等な着物の呼び名。神なので高貴な着物を着ているという意味でそのように語られるのであろう。赤い着物は火の神など、その神を象徴するような色の着物を着ている例もあるが、この話のように特に実際の色に関連づけられなくても力の強い神が黒い装束を身にまとっている例もある。黒い色が不吉という感覚は特に見られず、むしろ高貴な神であるという場合が多い。

クンネ チパヌブ エパウヌ カネ アン
 kunne cipanup epaunu kane an
 黒い かぶり物 を頭につけ て いる

黒いかぶり物をした

カムイ メノコ ニ オペシ ラン ヒネ オラ
 kamuy menoko ni opes ran hine ora
 神 女性 木 に沿って 下っ て こんど

女神が木を伝って下りて来て

エネ ハウエアニ。
 ene hawean_hi.
 このように言った

このように言いました。

160 “アシヌマ アナクネ スンク トノ
 “asinuma anakne sunku tono
 私 は エゾマツ 神

「私はエゾマツの神¹⁶」

アネ ルウエ ネ。 オラ マク…
 a=ne ruwe ne. ora mak…
 (私)な の です こんど どう

なのです

ルウエ ネ ア プ… アイ… スンク コスイエ…
 ruwe ne a p... a=i... sunku kosuye…
 の だった が エゾマツ が揺れる

が

アイコスイエスイエ ネ ヤ
 a=i=kosuyesuye ne ya
 (人が私を)揺らす だ か

何が私を揺するのだから

タネ タネ アイシンリッコホクシテ パクノ
 tane tane a=i=sinritkohokuste pakno
 今にも (人が私を)根こそぎ引っくり返す ほど

もう少しで根こそぎ倒れてしまうほど

165 アイコスイエスイエ アイネ
 a=i=kosuyesuye ayne
 (人が私を)揺らし たあげく

揺すられました。

エウン モサン ルウエ ネ ヒネ オラ
 eun mos=an ruwe ne hine ora
 で 目覚める(私) の です そして こんど

そこで目覚めて

マク カトウ ネ ヒネ エネ ネ ヒ アン
 mak katu ne hine ene ne hi an
 どんな わけ であって このような ことなのだろう

一体どうしたのだろうか

セコロ ヤイヌアン ヒ クス
 sekor yaynu=an hi kusu
 と 思う(私) ので

と違って

インカラン ルウエ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと であつ たところ

見ると

16 文脈からしてスンク トノ マツ sunku tono mat と言うべきところ。

- 170 アコロ ニ キタイ タ ケソラブ エキネ
 a=kor ni kitay ta kesorap ek_hine
 (私)の 木 てっぺん に ケソラブ 来 て
 レウ ヒネ アン ヒネ アアン ヒ クス
 rew hine an hine aan hi kusu
 とまっ て い て だっ た から
 マツ カトウ ネ ヒネ エネ アン ルウエ ネ ヤ
 mak katu ne hine ene an ruwe ne ya
 どんな わけ であっ て こんな こと だ か
 アエランペウテク クス
 a=erampewtek kusu
 (私)わからない ので
 インカラン ルウエ ネ アクス
 inkar=an ruwe ne akusu
 見る(私) こと だっ たところ
- 175 イシカラ プトウ ウン ニシパ ポホ
 Iskar putu un nispa poho
 石狩川 の河口 の 長者 の息子
 ネ ケソラブ カトウカラ ヒネ オラ
 ne kesorap katukar hine ora
 その ケソラブ だまし て こんど
 エキムネ に… オラノ
 ekimne に ... orano
 山獺に行く こんど
 シットウライヌレ ワ
 sitturaynure wa
 道に迷わせる て
 カトウカラ ネ ヤ
 katukar ne ya
 だます だ か
- 180 シカカムレ⁽¹⁸⁾ ワ オラノ
 sikakamure wa orano
 自分の上にかぶさっ て こんど
 シットウライヌ アイネ
 sitturaynu ayne
 道に迷う したあげく
 ネ アコロ スンク チョロポク タ
 ne a=kor sunku corpok ta
 その (私)の エゾマツ の下 に

私の木のでっぺんにケソラブ鳥⁽¹⁷⁾が来て

とまっていたのでした。

一体どういうわけか

わからずに

(神通力で)見ると

石狩川の河口の長者の息子が

そのケソラブ鳥にだまされて

山に狩りに行って

道に迷わされ

だまされ

上にかぶさられて

行方不明になっていました。そして

このエゾマツの下に

17 空想上の巨大な鳥の名。ケソラブ kes-o-rap 「斑点・がついた・羽」。口承文芸中で人を助ける善神として、また逆に人に災難をもたらし悪神として描かれる両面がある。この物語の場合は後者である。

18 シカカムレ si-ka-kamu-re (自分・の上・覆う・させる) 文字通りケソラブ鳥が覆いかぶさったことをさしている。

- ルラ ワ オラ
rura wa ora
運ん で こんど
- 運ばれて来て
- テ タ アヌ ワ ネ ヤクン
te ta anu wa ne yakun
ここ に 置い て である ならば
- 「ここに男を放っておいて
- 185 イペ カ ソモ キ ヤクン
ipe ka somo ki yakun
食事 も しない ならば
- 食事もしなかったなら
- ケメコツ ヘネ キ ヤクン オラ エアシリ
kemekot hene ki yakun ora easir
飢え死にする でも する ならば こんど 初めて
- 飢え死にしようだろう。そうになったら
- ピリカ ラマチ ウク クナク ラム ワ
pirka ramaci uk kunak ramuwa
良い 魂 奪う と 思っ て
- 男のきれいな魂を奪ってやろう」と思って
- テ タ ネ ルラ ワ アン ルウエ ネ ヒ
te ta ne rura wa an ruwe ne hi
ここ に 運ん で いる こと である こと
- ここに運んで来たことが
- アエラムアン ワ オラ
a=eramuan wa ora
(私)わかる して こんど
- わかりました。
- 190 ネノ アアヌ ヒ カ エアイカツ ペ ネ クス
nenno a=anu hi ka eaykap pe ne kusu
そのまま(私)置く こと も できない ものだ から
- 私は放っておくこともできないので
- オラノ ケシ ト アン コロ
orano kes to an kor
それから 毎日
- 毎日
- アエプ アコイヤニ ワ アイペレ ネ ヤ
aep a=koyyani wa a=ipere ne ya
食べ物 (私)運ん で (私)食べさせる だ か
- 食物を運んで食べさせていました。
- ア… スンク アココモムセ ワ
a... sunku a=kokomomse wa
エゾマツ (私)曲げ て
- エゾマツの枝を曲げて
- フブチャ チセ¹⁹ アカラ ワ
hupca cise a=kar wa
針葉樹の枝 家 (私)作っ て
- 枝で家を作って
- 195 オロ タ オツカイポ アアヌ ワ
oro ta okkaypo a=anu wa
そこ に 若い男性 (私)置い て
- そこに男性を置いて

19 フブチャチセ hup ca cise トドマツ・枝・家。常緑の針葉樹の枝を屋根にしてつくる狩り小屋が原意。本編のようにエゾマツの場合にもこの呼称が適用されるらしい。スンクチャチセ sunku ca cise という形は未見。

アエプンキネ ワ アナン ルウエ ネ
 a=epunkine wa an=an ruwe ne
 (私)守っ て いる(私) の です

守っていたのです。

コロカ オラ ネイ パクノ
 korka ora ney pakno
 けれど こんど いつ までも

しかし、いつまで

ネノ アン ヤッカ オラ
 neno an yakka ora
 そのように あっ ても こんど

こうしていても

エネ ネ ヒ カ イサム ヒ クス
 ene ne hi ka isam hi kusu
 どう する 仕方 も ない ので

どうしようもないので

200 ネン カ アオトウヤシ クル²⁰
 nen ka a=otuyasi kur
 誰 も (私)見込んで頼む 人

誰か頼れる人を

アパ ヤクン セコロ ヤイヌアン ワ
 a=pa yakun sekor yaynu=an wa
 (私)見つける ならば と 思う(私) して

見つけなければと思って

ペテピッタ²¹ インカラアン ヤッカ
 pet epitta inkar=an yakka
 川 全て 見る(私) しても

川筋を全部見渡しましたが

アオトウヤシ クル アパ カ ソモ キ ノ
 a=otuyasi kur a=pa ka somo ki no
 (私)見込んで頼む 人 (私)見つけ も しない で

なかなか見つからずに

アナン ラポッケ エアニ ヘネ エアシリ
 an=an rapokke eani hene easir
 いる(私) そのうちに あなた でも それこそ

いるうちに、あなたならば

205 セコロ ヤイヌアン ワ… クス
 sekor yaynu=an wa… kusu
 と 思う(私) ので

と思ったので

アエヤイヌレ アニ
 a=e=yaynure ani
 (私がお前に)思わせる で

私があなたに暗示をかけて

アエシコエクテ ワ
 a=e=sikoekte wa
 (私がお前に)来させる して

ここに呼び寄せたのです。

エエク ワ エアン ルウエ ネ ア プ エネ…
 e=ek wa e=an ruwe ne a p ene…
 (お前)来 て (お前)いる の だった が

あなたはここに来ると

20 オトウワシ otuwasi この人ならばと頼りにする [久 644]、オトウワシ otuwasi…に白羽の矢を立てる (?)…を見込んで頼りにする [田]

21 石狩川の川筋。

ソモカ エネ エイキ クナク アラム ア プ
 somokaene e=iki kunak a=ramu a p
 まさか こう (お前)すると (私)思っ た が

思いも寄らないことに

210 エネ ウサ ピリカ アエプ タンパク
 ene usa pirka aep tampaku
 このように いろいろ良い 食べ物 たばこ

このような上等な食物やたばこを

イコイチヤラパ ワ
 i=koicarpa wa
 (私に)まい て

まいてくれて

エアラキンネ エネ アエイコイトウパ
 earkinne ene a=eykoytupa
 本当に このように (私)うらやむ

本当に欲しがっていた

タンパク イコイチヤラパ プ ネ クス
 tampaku i=koicarpa p ne kusu
 たばこ (私に)まく ものだ から

たばこもまいてくれたので

タンパク クルカ アコヘマチチ²² コロ
 tampaku kurka a=kohemacici kor
 たばこ の上 (私)背を伸ばし ながら

そのことに姿勢を正して

215 アエコヤイライケ ルウエ ネ
 a=e=koyayrayke ruwe ne
 (私がお前に)感謝する の です

感謝していたのです。

コロカ タネ タネ スイ
 korka tane tane suy
 けれど もう もう また

しかし近いうちにまた

ネア ケソラブ ラン ナンコロ クス
 nea kesorap ran nankor kusu
 あの ケソラブ 下りる だろう から

あのケソラブ鳥が降りて来るでしょうから

ラン ワ ネ ヤクン オラ
 ran wa ne yakun ora
 下っ て だっ たら こんど

来たら

ネン カ エイキ ワ
 nen ka e=iki wa
 どうに か (お前)し て

あなたが何とかして

220 エエチヨツチャ ヘネ キ ヤク… キ ヒ アエ…
 e=ecotca hene ki yak... ki hi a=e…
 (お前)射る でも し たら すること (私)

弓矢でケソラブ鳥を射たなら

アエプンキネ クス ネ ナ。
 a=epunkine kusu ne na.
 (私)守り ます よ

私があなただを守ります。

22 ヘマチチ hemachichi 背を伸ばす [久 255]。

オラ ネン ポカ エイキ ワ
 ora nen poka e=iki wa
 こんど 何 とか (お前)し て

そしてあなたが何とかして

ネ ケソラブ エチヨツチャ ヘネ キ ヤクン
 ne kesorap e=cotca hene ki yakun
 その ケソラブ (お前)射る でも する なら

矢を当てたなら

オラノ ポ ヘネ スルク カラ ヘネ キ ヤクン
 orano po hene surku kar hene ki yakun
 こんど なおさら 毒 当たる でも する ならば

さらに矢に毒を塗ってあったりしたら

225 ポ ヘネ ホチカチカ ヘネ キ ヤクン
 po hene hocikacika hene ki yakun
 なおさら 足をばたつかせ でも し たら

苦しみのたうちまわるでしょう。そうしたら

タン スンク エチコホクシテ
 tan sunku eci=kohokuste
 この エゾマツ (お前達)の上に倒す

このエゾマツはあなたたちのほうへ倒れる

ナンコロ クス ネン ポカ
 nankor kusu nen poka
 だろう から 何 とか

でしょうから、何とか

カムイ シセレマクシテ ヒ エイエ アイネ
 kamuy sisermakuste hi e=ye ayne
 神 守ってもらう こと (お前)言っ たあげく

神が守ってくれるように祈りなさい。

シリコペケレ ヤクン オラ
 sirkopeker yakun ora
 夜が明ける ならば こんど

やがて夜が明けたなら

230 タン オツカイポ エトウラ ワ エサン ワ
 tan okaypo e=tura wa e=san wa
 この 若い男 (お前)連れ て (お前)下って

あなたはこの男を連れて山を下りて

オナハ エウン エトウラ ワ エサン ワ
 onaha eun e=tura wa e=san wa
 父 に (お前)連れ て (お前)下って

父上のところに連れてお行きなさい。

ネ ヤクン オラ オナハ…²³
 ne yakun ora onaha...
 である ならば そして 父

そうしたなら

ネン ポカ エイキパ ワ オナハ キリサマ
 nen poka e=ikipa wa onaha kirsama
 何 とか (お前)し て 父 のそば

何とかして父上のおそばに

ヘコテ カムイ キリサマハ²⁴
 hekote kamuy kirsamaha
 慕う 神 のそば

お慕いする神様のおそばに

23 ここで「はあ、まったくいえんな。はあ、一服するべ(テープを)止めて」と言って中断した後再開。

24 ヘコテ カムイ キリサマハ hekote kamuy kirsamaha (つき従う・神・のそば) = 自宅。

- 235 エコシレパレ ヤク ピリカ ナ”
e=kosirepare yak pirka na”
(お前)到着させる と いい よ
連れて行っておあげなさい」
- セコロ ネ スンク カムイ ハウエアン ヤク
sekor ne sunku kamuy hawean yak
と その エゾマツ 神 言う と
とエゾマツの神が言った
- アタカラ ルウエ ネ ヒネ オラ
a=takar ruwe ne hine ora
(私)夢に見る の です そして こんど
夢を見ました。
- イヨクンヌレアン カ キ コロ
iyokunnure=an ka ki kor
驚く(私) も し ながら
驚いて
- アナン ルウエ ネ ア プ
an=an ruwe ne a p
いる(私) の だっ た が
いると
- 240 ラポッケ ソンノ カ
rapokke sonno ka
そのうち 本当に
そのうちに本当に
- タネ アンノシキ エパ ノ
tane annoski epa no
もう 夜中 に至っ て
もう夜中になり
- ハウエ ヌ ネ アクス オラノ
hawe nu ne akusu orano
話 聞く だっ たところ それから
聞いていた通り
- ネア スンク アスイエスイエ
nea sunku a=suyesuye
その エゾマツ (私)揺らす
あのエゾマツがゆさゆさ揺さぶられて
- タネ タネ アオシンリッコメウケ ヘネ
tane tane a=osinritkomewke hene
もう もう (私)根をひっくり返す でも
今にも根こそぎひっくり返りそうな
- 245 キ フミ ネ ペコロ… ネ アイネ
ki humi ne pekor... ne ayne
する 音 である よう である そうするうち
音がしました。
- インカラアン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) こと だっ たところ
見ると
- ネア オツカイポ アナクネ
nea okkaypo anakne
その 若い男性 は
あの男が
- ネ スンク ニテケヘ
ne sunku nitekehe
その エゾマツ の枝
エゾマツの枝に

- コヨンピツネ ヒネ アン ヒ クス オラ
koyonpitne hine an hi kusu ora
にしがみつい て いる ので こんど
しがみついているので
- 250 アブンノ ソイエネアニネ
apunno soyene=an hine
静かに 外に出る(私) して
私はホツとして
- ソイ タ ソイネアン ル… ウサ
soy ta soyne=an ru... usa
外 に 外に出る(私) いろいろ
外に出ると
- ホマン… ホマラ チュピポロ アン
homan... homar cupipor an
ほのかな 月明かり ある
ほのかな月明りが
- ルウエ ネ ヒネ オラ アコ…
ruwe ne hine ora a=ko…
の であって こんど (私)
さしていて
- ネ スンク アコノッタララ²⁵ ワ
ne sunku a=konottarara wa
その エゾマツ (私)戻り返っ て
そのエゾマツを戻り返って
- 255 インカラン ルウエ ネ アクス
inkar=an ruwe ne akusu
見る(私) の だっ たところ
見上げると
- ニ キタイ タ チカプ ネ ヤクン…
ni kitay ta cikap ne yakun…
木 の上 に 鳥 だっ たら
木のとっぺんに
- チカプ ネ ノイネ アン ペ ヘ
cikap ne noyne an pe he
鳥 である らしく ある の か
鳥らしきものが
- エクロク ペ アン シリ イキ ヒ クス オラ
ekurok pe an siri iki hi kusu ora
黒い もの いる 様子 する だから こんど
真っ黒いものがあります。そこで
- トウアイオアイ レアイ ア… アイ²⁶
tuay'oay reay a... ay
特別な毒矢
特別な毒矢
- 260 アサンケ ヒネ オラ ネ
a=sanke hine ora ne
(私)を出す して こんど その
を出して

25 コノッタララ konottarara あごを突き出して(上)を見上げている [田]

26 以下トウアイオアイ tuay'oay として数回出て来る。萱野茂氏は「矢筒の魂、守り神の矢」、川上まつ子氏は「特別の毒矢」と説明している。

ピンネ アイ ク カ タ
pinne ay ku ka ta
雄の 矢 弓 の上

男の矢²⁷を弓の上に置いて

アノンノイタケ カ キ ヒネ
a=nonnoitak ka ki hine
(私)祈る も し て

祈り

ピンネ ク カ タ アアヌ アクス
pinne ku ka ta a=anu akusu
雄の 弓 上 に (私)置い たところ

弓につがえたところ

ネ ク カ タ ウサ ネア アイ
ne ku ka ta usa nea ay
その 弓 上 に いろいろ その 矢

その矢は

265 テシケテシケ テレケテレケ²⁸
tesketeske terketerke
反り返る 跳ねる

(弓の上で)反って跳ねてしまうので

ルウェ ネ ヒ クス オラ
ruwe ne hi kusu ora
こと だ から こんど

そこで

スイ ネ マツネ アイ
suy ne matne ay
また その 雌の 矢

次に女の矢に

アコノンノイタケ カ…
a=kononnoitak ka…
(私)に祈る も

祈って

“アラウェンカムイ アナクネ
“arwenkamuy anakne
悪い神 は

「悪い神は

270 タン トウアイオアイ アニ ヘネ ネ ヤク
tan tuay'oay ani hene ne yak
この 特別な毒矢 で でも であれば

この特別な毒矢を受けて

エアシリ アオシコニ プ
easir a=osikoni p
初めて (私)をとる もの

初めて倒せるもの

ネ ワクス… ネ ナ”
ne wakusu...ne na”
だ から です よ

なのだぞ”

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら

と言って

27 男の矢、女の矢は口承文芸中でみられる表現だが、実際にどのような違いがあるのかについては未詳。しかし男の矢は当たらず女の矢が当たるとするのが常である。

28 注1の伝承で川上まつ子さんはこの部分を「ku ka ta tesketeske だか terketerke kusu… (弓の上で跳ね上がり、反り返ったので…)」と語っているのでそれになった。男の矢では狙いが定まらなかったということだろう。

ネ アイ マツネ アイ アニ
 ne ay matne ay ani
 その 矢 女の 矢 で

その矢、女の矢で

275 ネ チカプ アチヨツチャ ルウエ ネ アクス
 ne cikap a=cotca ruwe ne akusu
 その 鳥 (私)射る の だっ たところ

その鳥を射たところ

アイ ウクヌ ワ ネ ノイネ
 ay uknu wa ne noyne
 矢 当たっ て である ようで

矢が当たったようで

ポンノ キリリセ ヘ キ ハウ アヌ ア プ オラ
 ponno kirirse he ki haw a=nu a p ora
 少し キーキー言う か する 声 (私)聞いた が こんど

キーキーと金切り声がかすかに聞こえて

ネ モイモイケ フム カ イサム
 ne moymoyke hum ka isam
 その 動く 音 も しない

動く音も

レウ フム カ イサム ルウエ ネ ヒネ オラ
 rew hum ka isam ruwe ne hine ora
 とまる 音 も しない の です そして こんど

とまる音もしなくなったのでした。

280 (アネピッタ ルウエ ネ ヒネ オラノ…)
 (anepitta ruwe ne hine orano…)

アフナン ヒネ オラ
 ahun=an hine ora
 入る(私) して こんど

私は家に入り

アノミ カムイ カムイ キリサマ
 a=nomi kamuy kamuy kirsama
 (私)祭る 神 神 のそば

祭り神のもとへ

アエパウエテンケ コロ
 a=epawetenke kor
 (私)届け ながら

届くよう

アネピッタ カムイノミアン ネ ヤ
 anepitta kamuynomi=an ne ya
 夜中じゅう 神に祈る(私) だ か

夜通し神へ祈って

285 オラ イウオロコロカムイ ネ ヤ
 ora iworkorkamuy ne ya
 こんど 狩り場の神 だ か

狩場の神にも

アコノンノ… イノンノイタケアン コロ アナン
 a=kononno... inonnoitak=an kor an=an
 (私)祈る 祈る(私) ながら いる(私)

祈りました。

アイネ シリコペケレ アン アクス
 ayne sirkopeker an akusu
 やがて 夜明け になっ たところ

やがて夜が明けると

- ネア オッカヨ… オッカイポ アナクネ
 nea okkayo... okkaypo anakne
 その 男性 若い男性 は
 あの若い男が
- モコロ ヒネ アン ヒ クス オラ
 mokor hine an hi kusu ora
 眠っ て いる から こんど
 眠っていたのを
- 290 アモソソ コロ
 a=mososo kor
 (私)を起こし ながら
 起こして
- “ホプニ ワ イペ ヤク オラ ペツペシアン ペ
 “hopuni wa ipe yak ora petpes=an pe
 起き て 食事する と こんど 川を下る(私たち) もの
 「起きて食事をしたら川を下って
- ネ クス ネ ナ”
 ne kusu ne na”
 つもり だ よ
 行きますよ」
- セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス オラ
 sekor hawean=an ruwe ne akusu ora
 と 言う(私) の だっ たところ こんど
 と言ったところ
- ネ オッカヨ ホプニ ヒネ オラ
 ne okkayo hopuni hine ora
 その 男性 起き て こんど
 その男は起きて
- 295 エネ ハウエアニ。
 ene hawean _hi.
 このように言った
 このように言いました。
- “ネウン オッカヨ ネ ルウエ ネ ヤ
 “neun okkayo ne ruwe ne ya
 どんな 男性 な の だ か
 「どこのどなたか
- アエラミシカリ ルウエ ネ コロカ
 a=eramiskari ruwe ne korka
 (私)わからない の だ けれど
 わかりませんが
- エネ アオナハ オモトホ
 ene a=onaha omotoho
 このように (私の)父 の出自
 このように父の出自を
- イコウウエペケンヌ ヤッカ
 i=kouwepekennu yakka
 (私に)尋ねて も
 尋ねられても
- 300 アイエ カ アコエランペウテク ワ
 a=ye ka a=koerampewtek wa
 (私)言う も (私)わからない で
 言うこともわからずに
- ネプ カ ソモ…
 nep ka somo…
 何 も ない
 何も

アイェ カ ソモ キ ア コロカ…
a=ye ka somoki a korka…
(私)言い も しなかつ た けれど

言いません

ネン カ… ルウエ ネ”
nen ka… ruwe ne”
誰 も こと である

でした」

セコロ ハウエアン コロ
sekor hawean kor
と 言い ながら

と言いました。そして

305 “アオナハ アナクネ イシカラ エトコホ⁽²⁹⁾
“a=onaha anakne Iskar etokoho
(私の)父 は 石狩川 の上流

「父は石狩川の河口に

アオナハ アン ネ… ヒネ…ネ…
a=onaha an ne… hine… ne…
(私の)父 い て

いて

アナン ペ ネ アシンワ⁽³⁰⁾
an=an pe ne asinwa
暮らす(私) もの である ?

私と暮らしていました。

シネ イポネ プ アネ プ ネ クス
sine ipone p a=ne p ne kusu
ひとり 息子であるもの (私)である の だ から

私はひとり息子だったので

アオナ ウタラ
a=ona utar
(私の)父 たち

父たちに

310 ネプ アエシリキラプテ カ ソモ キ ノ
nep a=esirkirapte ka somo ki no
何 (私)苦労し も しな い で

苦労をかけずに

アリキキアン ペ ネ クス
arikiki=an pe ne kusu
働き者である(私) もの だ から

私は働き者なので

シリキラプテ アキ カ ソモ キ ノ
sirkirapte a=ki ka somo ki no
苦労をさせる (私)し も しな い で

苦労をかけずに

アナン ペ ネ ア プ
an=an pe ne a p
いる(私) もの だ っ た が

暮らしていたのですが

シネア⁽³¹⁾… エキムネアン アクス オラノ
sinea… ekimne=an akusu orano
ある時 山獵に行く(私) したところ こんど

ある時、山へ狩りに行くと

29 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

30 未詳。

31 シネ アン ト タ sine an to ta 「ある日」、またはシネ アン タ sine an ta 「ある時」の言いさしか。

- 315 マク ネ ワ ネ ヤ
mak ne wa ne ya
どう し て だ か
どういうわけか
- イロンネ レタラ ウララ イカカム^{B2} ワ
ironne retar urar i=kakamu wa
厚く 白い 霧 (私を)かぶさっ て
濃く白い霧が私をおおって
- オラノ クンネ ヘネ トカプ ヘネ
orano kunne hene tokap hene
それから 夜 でも 昼 でも
それからは夜も昼も
- アプカサナ アナ
apkas=an a an a
歩く(私) さんざんした
歩いて歩いて
- ウサ オカイ ペ アエオコク コロ
usa okay pe a=eokok kor
いろいろある もの(私)つまずき ながら
いろいろなものにつまずいて
- 320 オマカテッテレケアン コロ
omakatetterke=an kor
転ぶ(私) ながら
転びながら
- アプカシアナ アナ アイネ
apkas=an a an a ayne
歩く(私) さんざんした あげく
歩いて歩いてそのあげくに
- タン スンク アコシレパ ルウエ ネ
tan sunku a=kosirepa ruwe ne
この エゾマツ (私)着く の です
このエゾマツにたどり着いたのです。
- ヒネ オラ
hine ora
そして こんど
そして
- タネ イペルスイアン カ キ
tane iperusuy=an ka ki
もう お腹が空く(私) も する
もう腹が空いて
- 325 シンキアン カ キ プ ネ クス
sinki=an ka ki p ne kusu
疲れる(私) も するものだ から
疲れてもいたので
- タン スンク チョロポク タ オリパカン。
tan sunku corpok ta oripak=an.
この エゾマツ の下 で かしこまる(私)
このエゾマツの下でかしこまっていた。
- イウオロコロカムイ
'iworkorkamuy
狩り場の神
『狩場の神よ

32 注17のシカカムレ sikakamure を男の目線で見ただけこう見えた、ということ。

アコオリパツコロ ネ コロカ
 a=kooripakkor ne korka
 (私)にかしこまる だ けれど

恐れ多いことですが

タネ エネ イキアニ カ イサム
 tane ene iki=an_hi ka isam
 もう こう する(私) こと も ない

もうこうするほかない

330 ルウエ ネ クス
 ruwe ne kusu
 の だ から

のです。

カムイ イエランポキウエン ワ
 kamuy i=erampokiwen wa
 神 (私を)憐れん で

神様、私を憐れんで

シクヌアン ヤクン
 siknu=an yakun
 生きる(私) ならば

生かして下さったならば

シクヌアン。
 siknu=an.
 生きる(私)

生きられるのです。

オラ ライアン ヤクン
 ora ray=an yakun
 こんど 死ぬ(私) ならば

私が死んだら

335 イシカラ プトウフ ウン アオナハ
 Iskar putuhu un a=onaha
 石狩川 の河口 の (私の)父

石狩川の河口の父

レヘ アイェ ワ
 rehe a=ye wa
 の名前 (私)を言う して

の名を言いますので

アオナハ ノミ カムイ オロ ワノ
 a=onaha nomi kamuy oro wano
 (私の)父 祭る 神 の所 から

父が祭る神のもとへ

テ タ ネ イポネ プ ライ ルウエ ネ
 te ta ne ipone p ray ruwe ne
 ここ に その 息子である 者 死ぬ の です

ここで息子が死んでいます

セコロ アン ペ カムイ オロ ワ
 sekor an pe kamuy oro wa
 と いう こと 神 の所 から

ということを神様から

340 アスルコロ ワ イコレ ヤク ピリカ ナ
 asurkor wa i=kore yak pirka na'
 伝言し て (私)にくれ たら いい よ

伝えて下さい』

セコロ ハウエアナン テク
 sekor hawean=an tek
 と 言う(私) さっと

と言うとすぐに

- ネ… ホツケアン ア プ オロワノ
ne... hotke=an a p orowano
その 寝る(私) だった が それから
眠りました。それから
- ネン イキアン ルウエ ネ ヤ
nen iki=an ruwe ne ya
どう する(私) の だ か
私はどうしていたのか
- アエラミシカリ ノ アナン イネ
a=eramiskari no an=an _hine
(私)わからない で いる(私) して
わからずにいて
- 345 イネ ヘンパクト カ ホツケアン ワ
ine hompok to ka hotke=an wa
何 日 も 寝る(私) して
何日か眠って
- モコラン ワ アナン アイネ… アクス
mokor=an wa an=an ayne akusu
眠る(私) して いる(私) うちに したところ
いました。そうしていたところ
- カムイ メノコ イモソソ ヒネ
kamuy menoko i=mososo hine
神 女性 (私を)起こす して
女神に起こされて
- モサン ルウエ ネ アクス
mos=an ruwe ne akusu
目覚める(私) の だっ たところ
目を覚ますと
- オラ イサム タ も…
ora i=sam ta も…
こんど (私の)そば に
私の傍らに
- 350 イタンキ ソナピ アン ワ
itanki sonapi an wa
お椀 山盛り あっ て
山盛りのお椀が置かれていました。
- ネ ワ アン ペ アエ コロ アナン ペ ネ クス
ne wa an pe a=e kor an=an pe ne kusu
今言っているその もの (私)食べ ながら いる(私) もの だ から
それを食べていたので
- イペルスイ アナクネ ソモ アキ ノ
iperusuy anakne somo a=ki no
お腹が空くこと は ない (私)して
お腹が空くこともなく
- アナン ルウエ ネ コロカ
an=an ruwe ne korka
いる(私) の だ けれど
いられました。けれど
- ネプ カ ウエンカムイ
nep ka wenkamuy
何 も 悪い神
何かの悪神が
- 355 アコロ イタク ラマツ キシマ ワ アン ワ
a=kor itak ramat kisma wa an wa
(私)の 言葉 魂 をつかん で い て
私の言葉の魂をつかんでいて

ネア イタク カ アエランペウテク。
 nea itak ka a=erampewtek.
 その 言葉 も (私)わからない

しゃべり方もわからなくなりました。

ネプ カ アエヤイコシラムスイパ³³ ヤッカ
 nep ka a=eyaykosiramsuypa yakka
 何 か (私)考えをめぐらし ても

何かをじっくり考えても

アオイラオイラ ワ
 a=oyraoyra wa
 (私)何度も忘れ て

忘れてしまい

ネプ カ アエランペウテク ノ
 nep ka a=erampewtek no
 何 も (私)わからず に

何もわからなくなって

360 アナン ルウエ ネ ア プ
 an=an ruwe ne a p
 いる(私) の だ た が

いたのですが

タネ ポ ネウン ニシパ ネ ヤ
 tane po neun nispa ne ya
 今初めて どの 旦那さん だ か

今やっとどこの旦那さんか

アエラミシカリ ノ
 a=eramiskari no
 (私)わからない で

わかりませんが

ナア イコオシコニ クシケライポ
 naa i=kooskoni kuskeraypo
 まだ (私を)追いかける おかげで

私を探してくれたおかげで

イタク ラマツ カ ネプ カ
 itak ramat ka nep ka
 言葉 魂 も 何 も

言葉の魂も何もかも

365 ウエンカムイ イコホシピレ ワ ネ ノイネ
 wenkamuy i=kohosipire wa ne noyne
 悪い神 (私を)戻し て である ようで

悪神が返してくれたようで

イタカン エアシカイ”
 itak=an easkay”
 話す(私) ができる

しゃべることができます」

セコロ ハウエアン コロ ネ オツカイポ
 sekor hawean kor ne okkaypo
 と 言い ながら その 男性

とその男性が

ヌペ トウラ イコエ… ヤイレ… ラプ³⁴
 nupe tura i=koe... yayre... rap
 涙 とともに (私に)話す

涙ながらに私に言う

33 エヤイコシラムスイパ e-yay-ko-si-ram-suypa ~について・自分・に対して・自分・心・~を何度も揺らす

34 言いよんどんでいて正確には聞き取れない。

- ルウエ ネ ヒ クス
ruwe ne hi kusu
の です だから
- 370 “トウナシ イペ イペ。
“tunas ipe ipe.
早く 食べる 食べる
- オラ アウニ タ シレパアン ヤク オラ
ora a=uni ta sirepa=an yak ora
こんど (私の)家 に 着く(私) と こんど
- エアシリ アア… ヌシンネノ ウコイタカン
easir ap... nusimneno ukoitak=an
そうして初めて のんびり 互いに話す(私)
- クス ネ ナ”
kusu ne na”
つもりだ よ
- セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と 言う(私) ながら
- 375 アシレン ヒネ イペオカアン ヒ オラ
a=siren hine ipeoka=an hi ora
(私)を連れる して 食事を終える(私) こと そして
- ナニ テケ アアニ テク ヒネ オラ
nani teke a=ani tek hine ora
すぐ の手 (私)持つ さっとして こんど
- ラナン イネ
ran=an _hine
下る(私) して
- ヌプリ スットム タ
nupuri suttom ta
山 すそ に
- サナン ヒネ サパン ヒネ
san=an hine sap=an hine
下る(私) して 下る(私) して
- 380 テケ アアニ カネ ヒネ サパン ヒネ
teke a=ani kane hine sap=an hine
その手 (私)持ち も して 下る(私) して
- コタン… イシカラ エトコ ウン ニシパ
kotan... Iskar etoko un nispa
村 石狩川 の上流 の 旦那さん
- オロ タ ヘノイエアン ヒネ
oro ta henoye=an hine
の所 に 寄る(私) して
- ので
- 「早くお食べなさい。
- 家に着いてから
- ゆっくり話を
- しましよう」
- と言って
- 一緒に食事をしてから
- すぐに彼の手を取って
- 山を下りました。
- 山すそに向かって
- ずっと下りて
- 手を取って山を下りて行きました。
- 石狩の上流にある村の旦那さん
- のところに立ち寄って

タップネ タブネ ネ ヒ アイェ ワ オラノ
 tapne tapne ne hi a=ye wa orano
 このようなわけ である こと (私)言っ て こんど

このようなわけだと説明しました。

ネ イシカラ エトコ ウン ニシパ カ
 ne Iskar etoko un nispa ka
 その 石狩川 の上流 の 旦那さん も

するとその旦那さんは

385 イヨクンヌレ ネ ヤ… コロ
 iyokunnure ne ya... kor
 驚く だ か ながら

驚いて

オロ タ シニアン イペアン イネ オラ
 oro ta sini=an ipe=an _hine ora
 そこ で 休む(私) 食事をする(私) して こんど

そこで休んで食事をしてから

“ イシカラ プトウ ウン ニシパ
 “ Iskar putu un nispa
 石狩川 の河口 の 旦那さん

「石狩の河口の旦那さんが

ポ エポタラ ヒ
 po epotara hi
 子 を心配する こと

子供を心配する気持ちに

ウネノ ネ クス
 uneno ne kusu
 同じ だ から

変わりはないのだから

390 トウナシノ エチホシツパ ヤク ピリカ ピリカ”
 tunasno eci=hosippa yak pirka pirka”
 急いで (お前達)戻る と 良い 良い

急いであなたたちは帰りなさい」

セコロ ネ コタン… ネ ニシパ イェ ワ
 sekor ne kotan... ne nispa ye wa
 と その 村 その 旦那さん 言っ て

とその旦那さんは言うので

オラ シニアン カ キ イペアン カ キ
 ora sini=an ka ki ipe=an ka ki
 こんど 休む(私) も し 食事する(私) も し

休んで食事をしてから

オラノ スイ サパン ヒネ
 orano suy sap=an hine
 それから また 下る(私) して

また川を下って行きました。

オラ ネ アウニ タ カ
 ora ne a=uni ta ka
 こんど その (私の)家 に も

私の家にも

395 ヘノイエアン カ ソモ キ ノ
 henoye=an ka somo ki no
 寄る(私) も しない で

寄らずに³⁵

35 主人公の村は石狩川の中流域にあるので、川筋を下って行くと河口にある連れの男性の家に行くには必然的に主人公の村を通ることになる。しかしこの男性の両親の心配する気持ちを考えて、自分の家には寄らずに急いで川を下って行ったということ。

サパン ヒネ
 sap=an hine
 下る(私) して

川を下って行って

ネ イシカラ プトウ タ サパン ヒネ
 ne Iskar putu ta sap=an hine
 その 石狩川 の河口 に 下る(私) して

石狩川の河口に下って行って

ナニ コタンコンニシパ ネ クス…
 nani kotankonnispa ne kusu…
 すぐ 村長 だ から

すぐに村おさなので…

ネ オツカイポ テケ アアニ カネ ヒネ
 ne okkaypo teke a=ani kane hine
 その 若い男性 の手 (私)を持ちも して

男性の手を取って

400 アフナン ルウエ ネ アクス
 ahun=an ruwe ne akusu
 入る(私) の だっ たところ

家に入って行きました。

ネ オンネ ウタラ
 ne onne utar
 その 老人 たち

その家の老人たちは

ウサメロク ヒネ オカ ヒネ
 usamerok hine oka hine
 並んで座っ て い て

ふたり並んで座っていて

イコホサリ イエラムトウイ カ キ ヒネ
 i=kohosari i=eramutuy ka ki hine
 (私に)向く (私に)驚き も し て

こちらを見ると驚いて

“アポホ ソモ ネ”
 “a=poho somo ne”
 (私の)息子 ではない

「息子ではないか」

405 セコン ネ ヒ クス
 sekor_ ne hi kusu
 と 言う ので

と言うので

“エポホ ネ ルウエ ネ”
 “e=poho ne ruwe ne”
 (お前の)息子 な の です

「あなたの息子さんです」

セコロ ハウエアナン。
 sekor hawean=an.
 と 言う(私)

と私が答えました。そして

“アシヌマ アナクネ イシカラ エトコ³⁶ ウン
 “asinuma anakne Iskar etoko un
 私 は 石狩川 の上流 の

「私は石狩川の中流の

36 イシカラ ホントム Iskar hontom (石狩川の中流) の言い間違い。

イポネ プ アネ”
ipone p a=ne”
息子である もの (私)である

息子です」

410 セコロ ハウエアナン ルウエ ネ アクス
sekor hawean=an ruwe ne akusu
と 言う(私) の だっ たところ

と言ったところ

ウコパラパラクパ コロ
ukoparaparakpa kor
互いに泣き ながら

みんな泣きながら

アトウイ カ カマ ヘ テレケ ヘ キパ ヒネ
atuy ka kama he terke he kipa hine
海 上 をまたぐ か 跳ねる か し て

海をも越えんばかりに跳んで来て

ポホ コテツテレケパ ワ オラノ
poho kotetterkepa wa orano
息子 に駆け寄っ て こんど

息子のところに駆け寄り

オロ タ ウコパラパラクパ コロ
oro ta ukoparaparakpa kor
そこ で 互いに泣き ながら

みんな涙を流しながら

415 ポホ エトウン テム… クンネレパ³⁷
poho etun tem... kunnerepa
息子 でふたり

息子と2人で抱き合った

ルウエ ネ ヒ クス オラ
ruwe ne hi kusu ora
の です だから こんど

のでした。

タップネ カネ ネ ワ アイエ
tapne kane ne wa a=ye
こういうわけ だ と (私)言う

私がこれまでのことを説明し

ウエンタラプ オルシペ ネ ヤ
wentarap oruspe ne ya
夢を見る 話 だ か

夢に見た話も

アイエ プ ネ クス オラノ
a=ye p ne kusu orano
(私)言う の だ から こんど

したので

420 ネ オンネクル カ
ne onnekur ka
その 老人 も

年寄りたちも

イコヤイライケ ヒ ネ ヤ キ コロ
i=koyayrayke hi ne ya ki kor
(私に)感謝する ことだ とか し ながら

私に感謝の言葉を言いました。

- オラ コタン コロ ウタラ カ ウウエカラパ ワ
 ora kotan kor utar ka uwekarpa wa
 こんど 村 の 人たち も 集まっ て
 そして村人たちも集まって来て
- オラノ ウコパラパラッパ コロ
 orano ukoparaparakpa kor
 それから 互いに大泣きする ながら
 みんな涙を流しながら
- ナニ ネア オツカイポ アエウオンネレ ネ ヤ
 nani nea okkaypo a=ewonnere ne ya
 すぐに その 若い男性 (私)顔を洗わせる だ とか
 すぐその男の顔を洗ったり
- 425 ミ プ アタサレ ネ ヤ キ アクス
 mi p a=tasare ne ya ki akusu
 着る 物 (私)着替えさせる だ とかし たところ
 着替えをさせたりしたところ
- ピリカ オツカイポ ネ ルウエ
 pirka okkaypo ne ruwe
 良い 若い男性 だ こと
 美しい青年だったことに
- アオクンヌレ カ キ コロ アナン イネ
 a=okunnure ka ki kor an=an _hine
 (私)驚く も し ながら いる(私) して
 私は驚きました。
- シネ アンチカラ アコレウシパ ワ
 sine ancikar a=korewsipa wa
 ひと 晩 (私)泊っ て
 一晩そこに泊まって
- ウコイタクパ ハウ アヌ コン ネ コロカ オラ
 ukoitakpa haw a=nu kor_ ne korka ora
 互いに話す 声 (私)聞き ながら だ けれど こんど
 みな話すのを聞いたのですが
- 430 “アオナ カ イエポタラ クス
 “a=ona ka i=epotara kusu
 (私の)父 も (私)心配する ので
 「父も心配しているので
- ホシピアン クス ネ”
 hosipi=an kusu ne”
 帰る(私) します
 帰ります」
- セコロ ハウエアナン コロ
 sektor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら
 と私は言って
- シネ アンチカラ アコレウシパ ヒネ
 sine ancikar a=korewsipa hine
 ひと 晩 (私)泊っ て
 一晩泊まって
- オラ エカニネ
 ora ek=an _hine
 こんど 来る(私) して
 帰って来ました。
- 435 アウニ タ エカニネ
 a=uni ta ek=an _hine
 (私の)家 に 来る(私) して
 家に帰って来て

アオナ エウン タプネ タプネ ネ ヒ
 a=ona eun tapne tapne ne hi
 (私の)父 ヘ このよなわけ だ こと

父にこのようなわけだと

アイェ アクス オラノ
 a=ye akusu orano
 (私)言っ たところ それから

話すと

アオナハ イコプンテカ イコプンテカ
 a=onaha ikopuntek a ikopuntek a
 (私の)父 何度も喜ぶ

父はたいそう喜びました。

“エカシカムイェ ピリカ
 “e=kaskamuye pirka
 (お前の)憑き神 良い

「おまえの憑き神が良く

440 エケウトウム ピリカ ワクス
 e=kewtumu pirka wakusu
 (お前の)心 良い だから

おまえの心が美しいので

カムイ チカシヌカラ エキ ワ クス
 kamuy cikasnukar e=ki wa kusu
 神 から守られる (お前)した からこそ

神が守ってくれたのだ。

イシカラ エトコ³⁸ ウン シネ ポ⁴ タクフ
 Iskar etoko un sine po takup
 石狩川 の上流 の ひとり 息子 だけ

石狩川の河口のたったひとりの

コロ サンテケヘ エパ ワ
 kor santekehe e=pa wa
 の 子孫 (お前)見つけ て

後継ぎをおまえが見つけて

エトウラ ワ エエク ハウエ…
 e=tura wa e=ek hawe…
 (お前)連れ て (お前)来る 話

連れて来た…

445 エトウラ ワ エエク ヒ ネ ヤクン
 e=tura wa e=ek hi ne yakun
 (お前)連れ て (お前)来る の であれ ば

というのなら

ソンノ シアスルアシテ エネ ルウエ ネ”
 sonno siasur'aste e=ne ruwe ne”
 本当に 名高い (お前)である こと だ

本当におまえは自慢の息子だ」

セコロ アオナハ ハウエアン コロ
 sekor a=onaha hawean kor
 と (私の)父 言う ながら

と父が言って

エアラキンネ イコプンテカ イコプンテカ
 earkinne ikopuntek a ikopuntek a
 本当に 何度も喜んだ

たいそう喜んで

38 プトウフ putuhu 「河口」の言い間違い。

- ルウェ ネ ヒネ
ruwe ne hine
の であって
- 450 オラノ ネ エアンチカラ スイ
orano ne eancikar suy
そして その夜 また
- シンキアン ワ ホツケアン ルウェ ネ アクス
sinki=an wa hotke=an ruwe ne akusu
疲れる(私) して 寝る(私) の だっ たところ
- ウエンタラプアン ルウェ ネ アクス
wentarap=an ruwe ne akusu
夢を見る(私) の だっ たところ
- クンネ コソソテ ウトムチウレ
kunne kosonte utomciwre
黒い 上等な着物 を身につける
- クンネ チパヌプ エパウヌ カネ アン⁶⁹ メノコ
kunne cipanup epaunu kane an menoko
黒い かぶり物 を頭につけ て いる 女性
- 455 イサム タ アニネ
i=sam ta an_hine
(私の)そばに い て
- イエホシノ アン ヒネ
i=ehosino an hine
(私に)背を向けて い て
- トイコヘプトウトウ ヒネ アン ヒネ オラ
toykohepututu hine an hine ora
ひどくふくれっ面をし て い て こんど
- エネ ハウエアニ。
ene hawean_hi.
このように言った
- “ニ… カムイ オツ タ カ アン
“ni... kamuy or_ ta ka an
神 の所 にも いる
- 460 アイヌ オツ タ カ アン
aynu or_ ta ka an
人間 の所 にも いる
- イウオロ オツ タ カ アン ペ
iwor or_ ta ka an pe
狩り場 の所 にも いる もの
- いました。
- そしてその夜はまた
- 疲れたので眠ったところ
- 夢を見ました。
- 黒い上等な着物をまとして
- 黒いかぶり物をした女性が
- 私のそばにいて
- 私に背を向けて
- ひどくふくれっ面をしていて
- このように言いました。
- 「神の国でも
- 人間の国でも
- 山にいるものでも

39 エゾマツの神と同じ装束で現れているが、こちらはケソラプの神である。ケソラプはこの物語中では悪神として描かれているが、力の強い神であることは間違いない。偉い神同士、双方の神の装束が同じ表現になったのであろう。

タン ウコ… 何ったべ? アン ペ…
tan uko... 何ったべ? an pe...

ウコヤイカツカラ ペ ネ ワクス
ukoyaykatkar pe ne wakusu
互いに恋をする もの だ から

みんな恋をするというのに

アシヌマ ケソラブ アネ ワ
asinuma kesorap a=ne wa
私 ケソラブ (私)であっ て

この私、ケソラブ鳥が

465 カムイ オルン インカラン コロ
kamuy or un inkar=an kor
神 の所 で 見る(私) ながら

神の国を見渡しても

アヤイコトムカ プ カ イサム。
a=yaykotomka p ka isam.
(私)ふさわしい 者 も いない

私にふさわしい者はいません。

アイヌ オルン インカラ コン
aynu or un inkar kor_
人間 の所 で 見る と

人間の国を見ると

タン オツカイポ パテク
tan okaypo patek
この 若い男性 だけ

この若者だけが目に止まり

アコオンルプシ ワ クス エク ウウエイ…
a=koonrupus wa kusu ek uwei...
(私)非常に欲しがる だから 来る

どうしても欲しくなり

470 アシコイワクテ ルウエ ネ。
a=sikoiwakte ruwe ne.
(私)来させる こと である

おびき寄せたのです。

タヌクラン アナクネ アウク フミ
tan ukuran anakne a=uk humi
今 夜 は (私)奪う 感じ

今夜こそは魂を奪ってやろうと

クナク アラム コロ エカン アクス
kunak a=ramu kor ek=an akusu
と (私)思い ながら 来る(私) したところ

思ってやって来たところ

ヒナク ワ カ
hinak wa ka
どこ から か

どこからか

エエラムアン ワ エエク ワ
e=eramuan wa e=ek wa
(お前)わかつ て (お前)来 て

おまえがそれと知ってやって来て

475 オラ イシリコチヨツチャ ルウエ
ora i=sirkocotca ruwe
こんど (私を)ひどく射る こと

私をズブリと射たのでした。

ネ ア コロカ トウアイオアイ アニ
 ne a korka tuay'oay ani
 だっ た けれど 特別な毒矢 で

でも、特別な毒矢で

アチヨツチャ プ アナクネ
 a=cotca p anakne
 (人)射る もの は

射られた者は

イマカケ オシライエ カ
 imakake osiraye ka
 その後ろ にそらす も

矢を後ろにそらすことが

エアйкаツ ペ ネ プ ウン。
 eaykap pe ne p un.
 ができない もの な の だ

できないものなのです。

480 イキアン アイネ
 iki=an ayne
 する(私) したあげく

私は矢を受けても

ライアン アナク ソモ キ コロカ
 ray=an anak somo ki korka
 死ぬ(私) は しない けれど

不死身ですが

ネ アイ オムツテツ カネ
 ne ay omuttekk kane
 その 矢 をつがえる して

その矢をつがえて

イシリコチヨツチャ プ ネ クス
 i=sirkocotca p ne kusu
 (私を)ひどく射る もの だ から

私をズブリと射たので

ネ アイ アエタイエ コヤイクス ワ
 ne ay a=etaye koyaykus wa
 その 矢 (私)引き抜く ことができなく て

その矢を引き抜くことができず

485 オラノ ネン ネン アカラ アイネ アエタイエ。
 orano nen nen a=kar ayne a=etaye.
 それから どうにか (私)する あげく (私)引き抜く

手を尽くしてようやく引き抜きました。

イユニン ヤイコトウヤシアン コロ
 iyunin yaykotuyasi=an kor
 痛み 自分は安心だ(私) と

痛みはもう心配ありませんし

ネ アイ エタイエ ルウエ ネ ア コロカ
 ne ay etaye ruwe ne a korka
 その 矢 を引き抜く こと だっ た けれど

矢も抜けたのですが

ネ オツカイポ エネ アコオンルプシ ペ
 ne okkaypo ene a=koonrupus pe
 その 若い男性 こうも (私)非常に欲しがる もの

その人間の若者がどうしても欲しいのです。

アイヌ オツカイポ ネ アクス
 aynu okkaypo ne akusu
 人間 若い男性 だっ たところ

そこで

- 490 スクプ ホントム タ アウク ワ
 sukup hontom ta a=uk wa
 育つ 半ば で (私)奪っ て
 人生の半ばで私が魂を奪って
- カムイ オツ タ
 kamuy or_ ta
 神 の所 で
 神の国で
- シンノ ウコロ シンノ ウコロ⁽⁴⁰⁾
 sinno ukor sinno ukor
 本当の 結婚 本当の 結婚
 本当の結婚を
- アキ クス ネ ナ。
 a=ki kusu ne na.
 (私)し ます よ
 するつもりです。
- スクプ ホントム オマ⁽⁴¹⁾ パクノ
 sukup hontom oma pakno
 育つ 半ば に入る まで
 それまで
- 495 オナ ウタリ カシオイキパ ヤク ピリカ ナ”
 ona utari kasioykipa yak pirka na”
 父 たち を養う と いい よ
 父たちを養っていたらいいでしょう」
- セコロ アン… ネ メノコ
 sekor an... ne menoko
 と いう その 女性
 と、その女性が
- ハウェアン ヤク アタカラ ヒ クス
 hawean yak a=takar hi kusu
 言う と (私)夢に見る だから
 言う夢を見たので
- “ソモ アンペ ネ”
 “somo anpe ne”
 ない 本当のこと である
 「そんなばかな」
- セコロ ハウエアナン コロ
 sekor hawean=an kor
 と 言う(私) ながら
 と言って
- 500 マッコサヌアン フミ ネ テツ コロ
 makkosanu=an humi ne tek kor
 パツと起きる(私) 感じ だ さっと ながら
 パツと飛び起きたかと
- ヤイヌアン アクス
 yaynu=an akusu
 思う(私) したところ
 思うと
- ネ メノコ カ ネプ カ イサム
 ne menoko ka nep ka isam
 その 女性 も 何 も いない
 その女性は影も形もありませんでした。

40 シンノ ウコロ sinno ukor 本当の・結婚。なぜ2回重ねて言っているのかは不明。

41 マツ mat にも聞こえるが未詳。

- ルウエ ネ アクス アオナハ
 ruwe ne akusu a=onaha
 こと だったところ (私の)父
 父が
- “マク ネ ルウエ ネ ヤ?”
 “mak ne ruwe ne ya?”
 どうした の だ か
 「一体どうしたのだ」と
- 505 セコロ イウコウウエペケンヌ イ クス
 sekor i=ukouwepekennu _hi kusu
 と (私に)尋ねる ので
 私に尋ねるので
- タップネ カネ ウエンタラプアン
 tapne kane wentarap=an
 こういう 夢を見る(私)
 こんな夢を見た
- ルウエ ネ ヤ アイエ アクス オラノ
 ruwe ne ya a=ye akusu orano
 の だ とか (私)言っ たところ こんど
 のですと言うと
- アオナハ パシロタ ア パシロタ ア
 a=onaha pasrota a pasrota a
 (私の)父 何度ものしる
 父はケソラブ鳥をさんざんにののしりました。
- エチウッカウン??⁴²
 eciukkaun??
- 510 “ハウエ ネ ヤクン
 “hawe ne yakun
 そういうこと ならば
 「それならば
- イシカラ プトウ タ サプアン ワ
 Iskar putu ta sap=an wa
 石狩川 の河口 に 下る(私) して
 石狩川の河口に下って行って
- カムイ オルン アエイヨンヌツパ クス ネ”
 kamuy or un a=eiyonnuppa kusu ne”
 神 の所 に (私)告げ口する つもりだ
 神に告げ口をしてやる」
- セコン ネ ヒネ オラノ
 sekor_ ne hine orano
 と いっ て こんど
 と言って
- アコタヌ ウン ウタラ
 a=kotanu un utar
 (私の)村 の 人たち
 村の
- 515 シイタツコロ ウタラ アシレン ヒネ オラ
 siitakkor utar a=siren hine ora
 本当に雄弁な 人たち (私)を連れる して こんど
 雄弁な者たちを引き連れて
- サパン ヒネ
 sap=an hine
 下る(私) して
 川を下って行きました。

42 未詳。

イシカラ プトウフ タ サパン ヒネ
 Iskar putuhu ta sap=an hine
 石狩川 の河口 に 下る(私) して

石狩川の河口に行って

タプネ タプネ ネ ヒ アイェ アクス オラノ
 tapne tapne ne hi a=ye akusu orano
 このようなわけ だ こと(私)言っ たところ こんど

このようなわけだと言ったところ

イシカラ プトウ ウン ニシパ ネ ヤツカ
 Iskar putu un nispa ne yakka
 石狩川 の河口 の 長者 であつても

石狩川の河口の旦那さんも

520 パシロタ ア パシロタ アイネ
 pasrota a pasrota ayne
 何度ものしつ たあげく

ケソラブ鳥をさんざんにののしって

“ヤクン ネノ ネイ パクノ
 “yakun neno ney pakno
 ならば そのように いつ までも

「では相変わらずいつまでも

ネ ケソラブ ネ ワ ネ オツカイボ
 ne kesorap ne wa ne okkaypo
 その ケソラブ であつ て その 若い男性

そのケソラブ鳥が若者に

カテカラ ワ ウク ワ ネ ヤクン
 katekar wa uk wa ne yakun
 に惚れ て 奪つ て である なら

惚れて魂を奪ってやるというなら

アツテイネモシリ
 atteynemosir
 地下の冥府

地下の冥府に

525 オナ トウラ ウヌ トウラ アツテイネモシリ
 ona tura unu tura atteynemosir
 父 と一緒に 母 と一緒に 地下の冥府

父神や母神と一緒に

アシリコオテレケ クス ネ”
 a=sirkooterke kusu ne”
 (私)けり落とす つもり だ

けり落としてやるからな」

セコロ アン ペ
 sekor an pe
 と いう こと

と

アオナ ウタラ ハウエオカパ コロ オカ。
 a=ona utar haweokapa kor oka.
 (私の)父 たち 言い ながら いる

父たちが口々に言いました。

ネ ケソラブ オルン パテク ソモ キ ノ
 ne kesorap or un patek somo ki no
 その ケソラブ の所 に ばかり しない で

そのケソラブ鳥のところばかりでなく

530 カムイ オピッタ エウン イヨンヌツパパ
 kamuy opitta eun iyonnuppapa
 神 みんな へ 告げ口をする

神々みんなに告げ口をしました。

インネ パウエトク ウタラ パテク
inne pawetok utar patek
大勢の 雄弁な 人たち ばかり

大勢雄弁な者たちが

オカイ ペ ネ クス
okay pe ne kusu
いる もの だ から

そろっているの

カムイ オルン イヨンヌツパ ロク ヒネ オラ
kamuy or un iyonnuppa rok hine ora
神 の所 に 告げ口をし た そして こんど

皆で神に告げ口をして

オカケ アン ヒ オラ
okake an hi ora
その後 ある こと そして

その後で

535 ホツケアン ルウエ ネ アクス
hotke=an ruwe ne akusu
寝る(私) の だっ たところ

眠ると

スイ ウェンタラパン ルウエ ネ アクス
suy wentarap=an ruwe ne akusu
また 夢を見る(私) こと だっ たところ

また私は夢を見ました。

スイ ネア メノコ イサム タ アン ヒネ
suy nea menoko i=sam ta an hine
また その 女性 (私の)そばに いる して

またあの女性が私のそばにいて

エネ ハウエアニ。
ene hawean hi.
このように言った

このように言いました。

“タネ アナクネ ネウン ネ ヤツカ
“tane anakne neun ne yakka
今 は どう であつても

「もうどうやっても

540 ネ アイヌ オツカイポ アウク カ エアイカブ ノ
ne aynu okkaypo a=uk ka eaykap no
その 人間 若い男性 (私)奪い も できない で

あの人間の若者を奪うことはできない上に

カムイ ウタラ ウウエカラパ ワ オラノ
kamuy utar uwekarpa wa orano
神 たち 集まっ て こんど

神々が集まって

アイコパシロタ アイウコキツキク。
a=i=kopasrota a=i=ukokikkik.
(人が私を)ののしる (人が私を)皆で叩く

私をののしり私を叩きました。

アオナハ ポ ヘネ
a=onaha po hene
(私の)父 なおさら

中でも父は

イトイコキツキク コロ
i=toykokikkik kor
(私を)ひどく叩く ながら

私をひどく叩いて

- 545 イコパシロタ ア イコパシロタ ア
 i=kopasrota a i=kopasrota a
 (私を)何度ものしる
 何度ものしり
- アツテイネモシリ イコオテレケ クナク イェ コロ
 atteynemosir i=kooterke kunak ye kor
 地下の冥府 (私を)けり落とす と 言い ながら
 地下の冥府にけり落としてやると言って
- アオナハ ポ ヘネ
 a=onaha po hene
 (私の)父 なおさら
 父はなおいっそう
- イコパシロタ ア イコパシロタ ア
 i=kopasrota a i=kopasrota a
 (私を)何度ものしる
 私を叱りました。
- ルウエ ネ クス
 ruwe ne kusu
 の だ から
 なので
- 550 タネ アナクネ エネ アコン ルスイ ペ
 tane anakne ene a=kor_ rusuy pe
 今 は このように (私)持ち たい もの
 あんなに欲しかった
- アイヌ オツカイポ ネ ア コロカ
 aynu okkaypo ne a korka
 人間 若い男性 だった けれど
 人間の男性でしたが
- タネ アヤイラミカラ⁴³ ワ
 tane a=yayramikar wa
 もう (私)あきらめる して
 今はもうあきらめて
- クス ネ ナ… ワ…
 kusu ne na... wa...
 つもりだ よ して
- ヤイカタ カ カムイ オツ タ
 yaykata ka kamuy or_ ta
 自分 も 神 の所 で
 自分も神の国で
- 555 アヤイラメコテ オツカヨ
 a=yayramekote okkayo
 (私)思いを寄せる 男性
 私が思いを寄せる男性と
- トゥラノ アナン クス ネ ナ。
 turano an=an kusu ne na.
 と一緒に 暮らす(私) つもり だ よ
 結婚するつもりです。
- アイヌ オツカイポ カ アイヌ メノコ
 aynu okkaypo ka aynu menoko
 人間 若い男性 も 人間 女性
 人間の若者も人間の女性と

43 ヤイラミカラ yayramikar という語は未見。ヤイラムキツカラ yayramikkar 「あきらめる」と言おうとしたものか。

トゥラノ オカ ヤク ピリカ ナ”
 turano oka yak pirka na”
 と一緒に 暮らす と いい よ

結婚したらいいのです」

セコロ アン ウェンタラプ
 sekor an wentarap
 と いう 夢を見ること

という夢を

560 スイ アキ ルウェ ネ ヒネ
 suy a=ki ruwe ne hine
 また (私)する の であって

また見たので

アイェ ルウェ ネ アクス
 a=ye ruwe ne akusu
 (私)を言う こと だっ たところ

それを(父たちに)言うと

オカ ウタラ カ ウェンタラプ ルウェ ネ
 oka utar ka wentarap ruwe ne
 いる 人たち も 夢を見る こと である

そこにいた人たちも夢を見た

ヤク イェパ コロ オラノ
 yak yepa kor orano
 と 言い ながら こんど

と口々に言って

パシロタ カ キパ ヒ オラ エアシリ
 pasrota ka kipa hi ora easir
 ののしり も し てから 初めて

ののしりました。

565 サケ アカラ カ キ ヒネ オラ
 sake a=kar ka ki hine ora
 酒 (私)作り も し て から

私たちは酒をつくって

ネ スンク トノ マツ エウン
 ne sunku tono mat eun
 その エゾマツ 神 妻 へ

あのエゾマツの神の奥方のところへ

インネ ウタラ アネ ヒネ パイエアン ヒネ
 inne utar a=ne hine paye=an hine
 大勢の 人たち (私達)になっ て 行く(私) して

大勢で行って

ネ スンク トノ マツ オロ タ
 ne sunku tono mat oro ta
 その エゾマツ 神 妻 の所 に

あのエゾマツの神の奥方のところへ

パイェアン ワ オラノ
 paye=an wa orano
 行く(私) して それから

行って

570 アオナ ウタラ ホリピ⁴⁴ トウラ
 a=ona utar horipi tura
 (私の)父 たち 踊り とともに

父たちは踊りながら

44 神に祈る際に踊りの所作を伴うことがある。

カムイコヤイライケ ヒ
 kamuykoyayrayke hi
 神に感謝する こと

神に感謝の言葉を

イエ ロク イエ ロクパ コロ
 ye rok ye rokpa kor
 何度も言い ながら

何度も言いました。

イナウ ネ ヤツカ ポロンノ
 inaw ne yakka poronno
 木幣 であっても たくさん

木幣もたくさん

アセ ワ パイエアン ペ ネ クス
 a=se wa paye=an pe ne kusu
 (私)背負って 行く(私) もの だ から

持って行ったので

575 ニテケヘ ワノ トウママハ ネ ヤ
 nitekehe wano tumamaha ne ya
 木の枝 から 木の幹 だ とか

木の枝から幹まで

イナウコタタク⁴⁵ ワ… ルウエ ネ ヒネ
 inawkotaktaku wa ruwe ne hine
 木幣をつけ して こと であって

木幣をつけて

オラノ スンク カムイ パテク ソモ キ ノ
 orano sunku kamuy patek somo ki no
 そして エゾマツ 神 ばかり しない で

それからエゾマツの神ばかりでなく

イウオロコロカムイ ネ ヤツカ
 iworkorkamuy ne yakka
 狩り場の神 であっても

狩場の神や

カムイ オピッタ アウコノミ シリ ネ
 kamuy opitta a=ukonomi siri ne
 神 みんな (私)に皆で祈る 様子 である

神様みんなに祈ります

580 ヤク アイエ コロ
 yak a=ye kor
 と (私)言い ながら

と言って

オロ タ カムイノミアン ネ ヤ
 oro ta kamuy nomi=an ne ya
 そこ で 神に祈る(私) だ とか

そこで祈りの儀式をし

ウサ シラリ ネ ヤツカ サケ ネ ヤツカ
 usa sirari ne yakka sake ne yakka
 いろいろ酒粕 で も 酒 で も

酒粕も酒も

アチャラパ⁴⁶。
 a=carpa.
 (私)をまく

まきました。

45 神へ捧げるイナウ inaw 「木幣」をエゾマツの木のそこかしこにつけたということ。こうすることで神は神格をますます高めることになる。

46 神への供物。神が最も喜ぶとされるもののひとつ。祈りながらまくという行為により神に届くとされる。

スンク トノ マツ アコヤイライケ。
 sunku tono mat a=koyayrayke.
 エゾマツ 神 妻 (私)に感謝をする

エゾマツの神の奥方に感謝しました。

585 アン クシ ケライボ
 an kus keraypo
 ある おかげで

そのおかげで

イシカラ エトコ⁴⁷ ウン イボネ プ
 Iskar etoko un ipone p
 石狩川 の上流 の 息子である 者

石狩川の河口の息子が

アシクヌレ プ ネ クス
 a=siknure p ne kusu
 (私)生かす の だ から

生きられたので

ネ スンク トノ マツ アコヤイライケ ヒ
 ne sunku tono mat a=koyayrayke hi
 その エゾマツ 神 妻 (私)感謝をする こと

そのエゾマツの神の奥方に感謝をしますと

ヤイカタ カ アイエ。 アオナ ウタリ カ
 yaykata ka a=ye. a=ona utari ka
 自分で も (私)言う (私の)父 たち も

私自身も祈り、父たちも

590 イエ ロク イエ ロクパ ヒネ オラ ホシツパアン。
 ye rok ye rokpa hine ora hosippa=an.
 を何度も言っ て こんど 帰る(私)

何度も祈ってから帰って来ました。

イシカラ エトコ⁴⁸ ウン ニシパ ネ ヤツカ
 Iskar etoko un nispa ne yakka
 石狩川 の上流 の 長者 で も

石狩川の河口の旦那さんも

イトウラ カネ ワ
 i=tura kane wa
 (私を)連れ も して

一緒に行きました。

ヤイライケアン ヒ
 yayrayke=an hi
 感謝する(私) こと

感謝を伝えるに

スンク トノ マツ オルン
 sunku tono mat or un
 エゾマツ 神 妻 の所に

エゾマツの神の奥方のところに

595 インネ ウタラ ネ パイエアン ヒネ オラノ
 inne utar ne paye=an hine orano
 大勢の 人たち で 行く(私) して こんど

大勢で行って

ホシツパアン ヒ オラノ アナクネ
 hosippa=an hi orano anakne
 帰る(私) してから は

帰って来てからは

47 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

48 プトゥフ putuhu 「河口」の言い間違い。

ネプ アエラナツ カ ソモ キ ノ
 nep a=eranak ka somo ki no
 何 (私)困る も しない で

何を困ることもなく

オカアン アイネ
 oka=an ayne
 暮らす(私) したあげく

暮らしました。

ネ イシカラ プトウ ウン オツカヨ ネ ヤツカ
 ne Iskar putu un okkayo ne yakka
 その 石狩川 の河口 の 男性 で も

その石狩川の河口の男性も

600 ピリカ メノコ オラ エアシリ エトウン。
 pirka menoko ora easir etun.
 良い 女性 そして 初めて で結婚する

やがて美しい女性と結婚しました。

ヤイカタ カ メノコ アエトウン ワ
 yaykata ka menoko a=etun wa
 自分 も 女性 (私)で結婚する して

自分も女性と結婚して

オカアン ラポツケ
 oka=an rapokke
 暮らす(私) そのうちに

そのうちに

アオナ ウタラ カ コシマツ カ ヌカラパ
 a=ona utar ka kosmat ka nukarpa
 (私の)父 たち も 嫁 も 見る

父たちも嫁を見て

ポ カ ヌカラパ ヒ オラ オンネ。
 po ka nukarpa hi ora onne.
 子供 も 見 て から 老死する

孫も見てから年をとり

605 アオナハ カ ピリカ アオンネレ。
 a=onaha ka pirka a=onnere.
 (私の)父 も 良い (私)看取る

天寿を全うして死にました。

イシカラ エトコ⁴⁹ ウン ニシパ カ
 Iskar etoko un nispa ka
 石狩川 の上流 の 長者 も

石狩川の河口の旦那さんたちも

ピリカ アオンネレ キ
 pirka a=onnere ki
 良い (人)看取る する

天寿を全うし

オカ タ ポシレシクテアン ワ
 oka ta posiresikte=an wa
 その後 で 子供がたくさんできる(私) して

後で子供がたくさんできて

ウタシパ ウコパヨカアン
 utaspa ukopayoka=an
 お互いに 互いに行き来する(私)

私たちはお互いに行き来して

49 プトウフ putuhu 「河口」の言い間違い。

- 610 ウコシネウパアン。
ukosinewpa=an.
 互いに訪ね合う(私) 訪ね合いました。
- サケ アコロ コロ
sake a=kor kor
 酒 (私)持つ と 酒が手に入ると
- アコイクタサ イコイクタサ ワ
a=koikutasa i=koikutasa wa
 (私)酒を酌み交わす (私に)酒を酌み交わして 互いに酌み交わしながら
- オカアン ロク ヒネ オンネアン ナ。
oka=an rok hine onne=an na.
 暮らす(私) だった して 年をとる(私) だよ 年をとっていったのでした。
- アポ ウタリ カ オンネ ポロ ヒ オラ
a=po utari ka onne poro hi ora
 (私の子)たち も 年をとる 大きくなっ て から 息子たちも大きくなり
- 615 ヤイカタ オンネアン エトコ タ
yaykata onne=an etoko ta
 自分 老死する(私) 前 に 私も死ぬ前に
- スンク トノ マツ ノミパ クニ
sunku tono mat nomipa kuni
 エゾマツ 神 妻 に祈る ように エゾマツの神の奥方に祈るよう
- アコイタクムイエアン⁶⁰ クス…
a=koitakmuye=an kusu…
 (私)に言い置く(私) ので 子供たちに言い聞かせました。
- アコイタクムイエ ヤカナクネ
a=koitakmuye yak anakne
 (私)言い置く と は それは
- “ネイ パクノ エチ… スンク トノ マツ
 “ney pakno eci=… sunku tono mat
 いつ までも (お前達) エゾマツ 神 妻 「いつまでもエゾマツの神の奥方が
- 620 エチエプンキネ クス ネ ナ”
eci=epunkine kusu ne na”
 (お前達を)守る します よ おまえたちを守ってくれますよ」
- セコロ アン ペ アポ ウタラ
sekor an pe a=po utar
 と いう こと (私の子)たち と子供たちに
- アコイタクムイエ コロ アナン アイネ
a=koitakmuye kor an=an ayne
 (私)言い置き ながら いる(私) したあげく 言い聞かせつつ

50 2項動詞に人称接辞が前後についていると思われる例。あるいはアコ…イタクムイエアン a=ko… itakmuye=an と言い直しているのかも知れないが、音声を聞く限りでは途切れがないのでそのまま記した。

オンネアン ペ ネ ア クス アイェ セコロ
onne=an pe ne a kusu a=ye sekor
年をとる(私) もの だっ た ので (私)言う と

死んでいくのでお話ししますと

シノ ニシパ イソイタク セコン ネ。
sino nispa isoytak sekor_ ne.
真の 長者 物語る と さ

ひとりの旦那さんが物語りましたとさ。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

上田トシの民話 1

発行日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。

